



2023年8月



2023-2024年度
トランス統一学校区
権利と責任に関する年次告知





Torrance Unified School District

2335 PLAZA DEL AMO
P.O. BOX 2954
TORRANCE, CALIFORNIA 90509-2954

TELEPHONE (310) 972-6500
WWW.TUSD.ORG

BOARD OF EDUCATION
JEREMY GERSON
JAMES HAN
BETTY LIEU
ANIL MUHAMMED
JASMINE PARK

SUPERINTENDENT
TIMOTHY H. STOWE, Ed.D.

トーランス統一学校区のご家族の皆様へ

2023-2024年度が始まるのは楽しみであり、トーランス統一学校区が今年度、お子様の教育のパートナーとなることをうれしく思います。

当学校区は、75年前の1948年7月1日の投票により、トーランス統一学校区として正式に認可されたました。私たちは、すべての教職員の献身的な努力のおかげで、継続的に成功を収めてきました。私たちは、すべての生徒がそれぞれの可能性を最大限に発揮できるよう、日々全力を尽くしています。

今年は TUSD にとって重要な節目の年であり、75 周年を祝うことで一年をスタートさせます。私たちの継続的な成功は、長年にわたる並外れた教師、管理者、そして一般職員の努力と献身の証しです。私は、TUSDが成功という偉大な伝統を維持するために、彼らが果たしてきた役割に心から感謝しています。そして、ご家族の皆様にも、ご協力に深く感謝申し上げます。

この年次通知書には、生徒、保護者、ご家族の権利と責任、および州や学校区の方針に関する重要な情報が記載されています。新学期に備え、ご一読ください。本年度もお子様方にとって安全で実り多い一年となることを確信しておりますとともに、皆様のサポートとご協力に感謝いたします。

新学年度開始後も、一年を通して最新情報をお伝えしていきますので、以下の方法で、最新の情報を得ていただくよう、お願いいたします：

- トーランス統一学校区のウェブサイト定期的にチェックする: tusd.org
- 当学校区の生徒情報システムである **PowerSchool** にログインしてお子さんを登録し、1年を通じて学習進捗状況をモニターする。
- **Facebook** : [TorranceUnifiedSchoolDistrict](https://www.facebook.com/TorranceUnifiedSchoolDistrict) や **Instagram**: [TorranceUSD](https://www.instagram.com/TorranceUSD) で当学校区をフォローする

よろしくお願いたします。

ティム・ストウ教育博士
教育長

2023-2024年度 権利と責任に関する

年次告知

トーランス統一学校区

内容目次:

非差別に関する声明	頁1
管理上の告知	頁2
生徒の適切な使用と著作権に関する方針	頁9
統一苦情手続き	頁13
カリキュラムに関する告知	頁15
大学およびキャリア教育	頁16
ホームレスと里子の青年教育	頁19
健康関連の告知	頁21
生徒サービスに関する告知	頁27
安全に関する告知	頁31
性的嫌がらせに関する方針	頁35
安全な学校に関する情報	頁39
特殊教育に関する告知	頁48
学校区カレンダー	頁49

規定および法律の項の略語のリスト:

略称	正式なタイトル
5 CCR	Title 5, California Code of Regulations (タイトル5、カリフォルニア規則コード)
34 CFR	Title 34, Code of Federal Regulations (タイトル34、連邦規制基準)
40 CFR	Title 40, Code of Federal Regulations (タイトル40、連邦規制基準)
AR	Torrance Unified School District Administrative Rule (トーランス統一学校区管理規則)
BP	Torrance Unified School District Board Policy (トーランス統一学校区理事会方針)
BPC	Business and Professions Code (ビジネスと知的職業に関する規定)
CC	Civil Code (民法)
EC	California Education Code (カリフォルニア教育規定)
HSC	California Health and Safety Code (カリフォルニア健康安全法)
PC	California Penal Code (カリフォルニア刑法)
VC	California Vehicle Code (カリフォルニア交通法)
WIC	California Welfare and Institutions Code (カリフォルニア福祉機関法)
USC	United States Code (合衆国法典)



使命宣言

トーランス学校区の使命は、生徒全員が、個々の人生において成功するための準備を確実にできるようにすることにあります。私たちは、将来国際的な社会に貢献する一員となる個人の可能性を最大限に伸ばし、生涯学習を継続する姿勢の育成に全力を尽くします。

トーランス統一学校区
生徒サービス事務局

保護者への告知

カリフォルニア州教育規定は保護者に対し、一定の権利と指定された情報を告知することを義務付けています。このような規定項目の要旨がこの告知に含まれています。これらの法律のさらに詳細な情報は学校の管理者に請求することができます。トーランス統一学校区緊急・災害情報カードへの保護者の署名をもってこの告知が受領された承認とみなします。

記載されている活動はすべて、毎年学校開始時に開始し、学年度を通して継続します。記載された活動について、あるいはお子さんがそれらの活動に参加することについて、現時点でなにか反対がある場合は、お子さんが通学する学校長に手紙でその旨をお伝えください。

非差別に関する声明

トーランス統一学校区は、教育に関わるすべての個人が平等なアクセスと機会を与えられる、安全な学校環境を提供することに全力を尽くしています。学校区のアカデミックプログラムおよびその他の教育的サポートプログラム、サービス、そして活動では、個人に関して、実際の人種、肌の色、先祖、国籍、在留資格、民族意識、年齢、宗教、結婚あるいは両親のステータス、身体障害や精神障害、性別、性的指向、ジェンダー、ジェンダー認識、またはジェンダー表現；このような特性の1つまたは複数の表れ；または、これらの実際あるいは外見上の1つまたは複数の特性をもつ人物あるいはグループと関係があることに基づいて、その者に対する差別、嫌がらせ、脅迫、そしていじめがあってはならないとしています。特に、州の法律は、登録、カウンセリング、そして、体育授業、運動およびスポーツへの参加に関して、ジェンダーに基づく差別を禁止しています。トランス・ジェンダーの生徒は、そのジェンダー認識に一致した、男女別の学校のプログラムや活動（例：運動チーム、スポーツ競技、フィールドトリップ）に参加し、ジェンダー認識に一致した施設を利用することが許されるものとします。学校区は、英語能力に欠けることが、学校区のプログラムに入ったり参加したりすることへの障壁とはならないことを保証します。違法な差別、嫌がらせ、脅迫、いじめに関する苦情は、学校区の統一苦情手続きを通して調査されます。このような苦情は、その差別について最初に知った日から6ヶ月以内に提出されなければなりません。詳細に関しては、Dr. Dylan Farris - Chief Personnel Officer - Human Resources, Torrance Unified School District、2335 Plaza del Amo, Torrance, CA 90509 または (310) 972-6071にお問い合わせ ください。

教育における非差別に関する連邦法、規制について、あるいはこれらの規定に対する学校区の順守については以下の機関に問い合わせることもできます:

Office of Civil Rights (公民権事務局)
U. S. Department of Education (合衆国教育省)
50 United Nations Plaza,
Mail Box 1200, Room 1545
San Francisco, CA 94102
(415) 486-5555
Email: OCR.SanFrancisco@ed.gov

一般的な告知と規定 **EC§48980(h)**

管理上の告知:

40 CFR§763.93 - アスベスト管理計画

トーランス統一学校区では、学校の建物に使われているアスベストを含む建材に関する管理計画を維持し、毎年更新しています。アスベスト管理計画のコピーを希望する場合は、管理サービス部の副教育長にお問い合わせください。

EC§49091.14; 49063 - 学校便覧の提供

各学校は毎年、カリキュラムの便覧を作成しなければなりません。これには、学校により提供されるすべてのコースについて、タイトル、コース概要および指導目標が含まれなければなりません。便覧のコピーを希望する場合はカリキュラム・ディレクターにお問い合わせください。

EC§32210; CC§1708.9 - 学校の敷地内での礼節

いかなる公立の学校または公立の学校のいかなる集会であっても、故意にその秩序を乱す者は、軽罪に問われ、最大五百ドル（\$500）の罰金を課されます。いかなる者も、保護者が自身の未成年の子供に対して行動している場合を除き、公立または私立の学校の敷地内に入ろうとしている、あるいは敷地から出ようとしている人物に対し、故意に、けがをさせる、脅す、力で妨害する、力を使うと脅す、物理的に妨害する、または非暴力的に物理的に妨害する、あるいはそのような試みをするのは違法です。

EC§67455 - スポーツ選手で高等教育のスポーツプログラムを目指す生徒

州の法律の下により、高等教育のスポーツ組織によって容認された不正行為を目撃したまたはその犠牲となった生徒は、プログラム、参加者、またはスタッフに関して生徒スポーツ選手としての権利の侵害を報告する、申し立てる、あるいはその他の形で報告を援助する権利があります。そのような報告をする権利は、「**生徒スポーツ選手の権利章典**」によって保障されており、報告が誠実に正直に行われていれば、その結果として報復や恩恵の削除を受けることがあってはなりません。

EC§221.9 - 競争競技

2015-16年度以降毎年、競争競技を提供する小学校および中高等学校は、学年度の終わりに、以下の情報を公表しなければなりません：

1. 学校在籍生徒総数、男女別
2. 学校在籍生徒で、競争競技に参加している生徒の数、男女別
3. 男子チームと女子チームの数、スポーツと競技レベル別

学校は、上記の情報を学校のウェブサイトに掲載することにより、公表しなければなりません。学校が管理するウェブサイトがない場合、学校は、情報を学校区に提出し、学校区のウェブサイトに掲載されるようにします。情報は学校別でなければなりません。

「競争競技」とは、コーチ、理事組織をもち、練習を行い、決まったシーズンに競技会に参加し、競技をその主要目的とする活動を指します

EC§200; 220; 224; 234.1; 234.7 教育の公平性：在留資格と市民権に関するステータス

公立学校にいる者はすべて、在留資格、障害、ジェンダー、ジェンダー認識、ジェンダー表現、国籍、人種または民族、宗教、性的指向、または、髪型などのその他の具体的な特性に関わらず、学校で権利と機会を公平に与えられ、州の財政援助を得るあるいはその恩恵を得る、または、州財政援助を受ける生徒がいる学校によって実施されるいかなるプログラムや活動においても、これらの特性に基づいて差別されることはないものとする。学校当局は、生徒または生徒の家族に関して市民権や在留資格に関する情報や書類を収集することは禁じられている。学校は、実際あるいは見かけの特性に基づいた差別、嫌がらせ、脅し、そしていじめを禁止し、その苦情を受け取り、調査するプロセスを採択する方針を採択するものとする。学校区または郡教育局の教育長およびチャーター・スクールの校長は、移民法執行の目的で、役人、職員、あるいは法執行機関により、情報や学校へのアクセスの依頼があった場合、個人を特定する可能性のある情報の秘密性とプライバシーを守る形で、速やかに地方教育機関の理事会に報告するものとする。学校は、生徒記録の緊急連絡先情報を最新に保つよう、保護者に協力を促すべきである。

教育の公平性: 移民と市民権に関するステータス (続き)

学校区の職員が、生徒の保護者が生徒の世話をできない状態であることに気づいた場合、職員は、緊急連絡先情報または生徒の保護者からの指示を使って、生徒の世話をしてくれる者を探す、できるだけ努力をするべきである。学校がこの情報を使っても世話をしてくれる人が見つからず、ほかに術がない場合は、児童／家族サービス局 (Department of Children and Family Services) に連絡することができる。理事会または学校は、保護者に対し、子供は、在留資格や宗教的信念に関わらず、無料で公教育を受ける権利があるという情報を、必要に応じて提供するものとする。学校と学校区は、2018年7月1日までに、カリフォルニア司法長官によって作成されたモデル方針を採択する。この方針は、在留資格に関わらず、公立校が安全で利用可能であることを確かにするために公立校での移民法の執行を制限するものである。在留資格に関わらず、コミュニティ・カレッジのブリッジ・プログラムに入っている生徒は、同時登録パスウェイコースを通して提供されるインターンシップに完全に参加するために、ソーシャルセキュリティ番号がない場合は、個人の納税者番号を使うことができる。卒業に向けて生徒全員に提供される適切な履修コースや、条件を満たす生徒全員が参加できるインターンシップの機会が、在住資格のために阻止されることはないものとする。

高等教育における公平性に関する法律 (Equity in Higher Education Act) により、障害、ジェンダー、ジェンダー認識、ジェンダー表現、国籍、人種または民族、宗教、性的指向、あるいはその他の特性に関わらず、すべての人は公平な権利と機会を与えられ、そのような機会を使って高等教育の学資援助に公平に申請することができ、申請は、生徒の在留資格に基づいて拒否されることはないとされています。ただしこれは、最終的な資格が保証されるということではなく、単に、差別されることなく学資援助に申請することができることを意味します。

「教育における性の公正に関する法律」により、州大会や全国大会に参加しようとする生徒について、男性か女性かということに基づく差別は免除されています。そのため、性別によって差別するようなプログラムがある場合、公的資源の使用を禁止することで、すべての生徒に平等な教育機会を提供するというカリフォルニア州の目標を推進しています。

EC§51512 - 音を聴いたり音や映像を記録するための電子機器

生徒を含むいかなる者も、教師および校長の事前承諾なしに、教室において、音を聴いたり音や映像を記録するための電子機器を使うことは、授業および校内の規律に影響するため、禁止されています。生徒以外で違反した者は、軽罪に問われます。違反した生徒は、適切な懲戒処分を受けるものとします。

EC§48901.5 - 電子信号装置

生徒を含むいかなる者も、教師および校長の事前承諾なしに、教室において、電子信号装置を使うことは、授業および校内の規律に影響するため、禁止されています。唯一使用が許されるのは、資格をもつ医師により、その生徒が、健康と安全のためにそのような装置を使わなければならないと判断された場合のみです。違反した生徒は、適切な懲戒処分を受けるものとします。

スマートフォンの使用は、学校区、チャーター校、および郡の学校は、生徒が学校にいて、スタッフの監督、管理下にあるときは禁止することができます。健康や特殊教育に関連して、その制限や使用に関して一般の生徒とは基準が異なる場合がありますが、その場合は書面によって示し、守秘義務の理由で、生徒の記録に維持されなければなりません。

EC§49501.5, 49495 - カリフォルニア全生徒への給食提供プログラム

TUSDのすべての学校は、カリフォルニア・ユニバーサル・ミール・プログラムを通じて、毎日の朝食と昼食を無料で提供します。給食は無料ですが、各家庭には、給食申請書を提出することが強く勧められています。給食申請書で収集される情報により、各学校が、低所得家庭の生徒たちの学習サポートのための適切な資金を得ることができ、該当するご家庭は、特定の費用のディスカウントなどの恩恵を受けることができます。この資金によってサポートされるその他の領域としては、介入指導、追加的な学習カウンセリング、社会情緒面のカウンセリング、リーディング回復などがあります。1-6年生の生徒がいる学校では、保護者がつきそう未就学児にも、朝食と朝のスナックが提供されます。

申請方法：給食申請書はこちら。給食申請書を提出するのに、LINQ/Titanのアカウントは必要ありません。各家庭で1通の申請書を提出してください。

*トランス小学校またはシェリー・ハイスクールに在籍する生徒は、この2校はCommunity Eligibility Siteであるため、給食申請書ではなく、Educational Benefit Formに記入して提出してください。

ご質問がある、またはサポートが必要な方は、栄養サービス (310-972-6350) までご連絡ください。

EC§48980(c) - 短縮授業日および生徒不在/スタッフ専門能力開発の日

年次告知の中で、学校に在籍する全生徒の保護者に、短縮授業日（ミニマムデー）および生徒不在/スタッフ専門能力開発の日の日程を知らせることが義務付けられています。短縮授業日または生徒不在/スタッフ専門能力開発の日が学年度開始後に決まった場合は、学校は、影響を受ける生徒の保護者に対し、できるだけ早く、しかし、おそくともその日の1ヶ月前までに、通知するものとされています。

EC§11500; 11501; 11502; 11503 - 保護者参加-学校説明責任

トーランス統一学校区では、生徒の教育にポジティブなインパクトをもたらすような、保護者および家族の教育参加プログラムを提供しています。学校区が提供する保護者教育に参加し、保護者教育プログラムに関して保護者の意見を提出するには、どのように貢献できるかについて情報を得るために、保護者/コミュニティ参加コーディネーター- Gutierrez.nancy@tusd.org または (310) 972-6146 までご連絡ください。

LC§230.8 - 学校のミーティングや懇談会への保護者の参加

保護者は、学校のミーティングに参加するために仕事を休むと、雇用の差別を受けたり、雇用者に解雇されたりすることを恐れる場合があります。以下の労働に関する規定によると、親は、このような目的に使える時間が許されています。保護者の雇用者が従業員25人以上をもつ場合、保護者は、差別や解雇を恐れることなく、年に最大40時間までは、子供の学校のミーティングや行事に参加することが許されなければなりません。子供に関連する活動に参加する目的には以下が含まれます：1-12年生の入学登録、チャイルドケアまたは学校の緊急事態への対処、保護者の即時の注意を必要とする素行または懲罰の問題、突然の学校閉鎖、または自然災害。（「保護者」とは、親、法的保護者、継親、里親、祖父母または代理人を意味する。）雇用者が保護者を解雇する、解雇すると脅す、降格させる、停職にする、またはその他の形でその保護者を差別した場合は、その従業員は、復職、および、損失した収入あるいは福利厚生を棄権を受けることができる可能性があります。詳細は労働法230.8を参照。

農薬使用に関する通知

2000年9月に法律として施行されたThe Healthy Schools Act of 2000により、全ての学校は、保護者または学校区の職員に対し、学校内で農薬を使用する予定を書面で告知することとなっています。告知には各農薬製品の成分または有効成分を明示し、また農薬と農薬の代替製品についての詳細情報参照のため、インターネットアドレス (<http://www.cdpr.ca.gov>) が含まれます。

添付書類は2023 - 2024年度の使用スケジュールです。農薬は必要であれば使用し、スケジュール上の日付のみ散布されます。農薬についてのすべての情報が記載されています。農薬の使用が必要な場合は24時間前に使用箇所、使用される成分のタイプについての通知を掲示することとなっています。健康と安全のため緊急に農薬を散布しなくてはならない場合はこの限りではありません。この通知は農薬散布後72時間、該当箇所に掲示されます。

今年度の告知はこれのみです。トーランス統一学校区では、健康な学校環境を維持するため、必要不可欠な場合に限り農薬を使用しており、また農薬使用を制限するため、使用可能な新しい代替方法を常時模索しています。農薬使用の72時間前に個人的に通知を受けることをご希望の場合は、リンクをクリックして、“Official Request for Individual Pesticide Application Notification:”を選択してください：<https://rb.gy/iwn410>。ご質問がありましたら、校庭整備および運用部主任電話：(310) 972-6252までご連絡ください。

シロアリ防除は全校で必要に応じて金曜日に実施されます。

屋外のホリネズミ防除は全校で必要に応じて第一および第三火曜日に実施されます。

以下は、昆虫および雑草防除のために、必要に応じて屋外で殺虫剤散布が行われる日です。

学校	日（月曜日）		
District Administration Office/EMB	8月	2023	7, 14, 21, 28
Maintenance Yard	9月	2023	4, 11, 18, 25
North High School	10月	2023	2, 9, 16, 23, 30
South High School	11月	2023	6, 13, 20, 27
Torrance High School	12月	2023	4, 11, 18, 25
Torrance Triangle	1月	2024	1, 8, 15, 22, 29
West High School	2月	2024	5, 12, 19, 26
	3月	2024	4, 11, 18, 25
	4月	2024	1, 8, 15, 22, 29
	5月	2024	6, 13, 20, 27
	6月	2024	3, 10, 17, 24
	7月	2024	1, 8, 15, 22, 29

農薬使用に関する通知- 散布スケジュール (続き)

学校	日 (火曜日)		
Hull Middle School	8月	2023	1, 8, 15, 22, 29
North High School	9月	2023	5, 12, 19, 28
South High School	10月	2023	3, 10, 17, 24, 31
Torrance High School	11月	2023	7, 14, 21, 28
West High School	12月	2023	5, 12, 19, 26
	1月	2024	2, 9, 16, 23, 30
	2月	2024	6, 13, 20, 27
	3月	2024	5, 12, 19, 26
	4月	2024	2, 9, 16, 23, 30
	5月	2024	7, 14, 21, 28
	6月	2024	4, 11, 18, 25
	7月	2024	2, 9, 16, 23, 30

学校	日 (水曜日)		
Arnold Elementary	8月	2023	2, 9, 16, 23, 30
Arnold Launch Preschool	9月	2023	6, 13, 20, 27
Y.M.C.A. at Arnold	10月	2023	4, 11, 18, 25
Bert Lynn Middle School	11月	2023	1, 8, 15, 22, 29
Carr Elementary School	12月	2023	6, 13, 20, 27
Tykes at Carr Elementary	1月	2024	3, 10, 17, 24, 31
Fern Elementary School	2月	2024	7, 14, 21, 28
Hamilton Adult School	3月	2024	6, 13, 20, 27
Lincoln Elementary School	4月	2024	3, 10, 17, 24
Y.M.C.A. & Tykes at Lincoln	5月	2024	1, 8, 15, 22, 29
Madrona Middle School	6月	2024	5, 12, 19, 26
Seaside Elementary School	7月	2024	3, 10, 17, 24, 31
Y.M.C.A. at Seaside			
Victor Elementary School			
Y.M.C.A. at Victor			

学校	日 (木曜日)		
Anza Elementary School	8月	2023	3, 10, 17, 24, 31
Y.M.C.A. at Anza	9月	2023	7, 14, 21, 28
Aquatic Center	10月	2023	5, 12, 19, 26
Arlington Elementary School	11月	2023	2, 9, 16, 23, 30
Y.M.C.A. & Torrance Tykes at Arlington	12月	2023	7, 14, 21, 28
Calle Mayor Middle School	1月	2024	4, 11, 18, 25
Casimir Middle School	2月	2024	1, 8, 15, 22, 29
Griffith Adult School	3月	2024	7, 14, 21, 28
Hickory Elementary School	4月	2024	4, 11, 18, 25
Y.M.C.A. at Hickory	5月	2024	2, 9, 16, 23, 30
Jefferson Middle School	6月	2024	6, 13, 20, 27
Riviera Elementary School	7月	2024	4, 11, 18, 25
Y.M.C.A. at Riviera			
Shery Adult School			
Torrance Elementary School			
Tykes at Torrance			
Torrance High School Stadium			

農薬使用に関する通知- 散布スケジュール (続き)

学校	日 (金曜日)		
Adams Elementary School	8月	2023	4, 11, 18, 25
Y.M.C.A. & Tykes at Adams	9月	2023	1, 8, 15, 22, 29
Edison Elementary School	10月	2023	6, 13, 20, 27
Y.M.C.A. & Tykes at Edison	11月	2023	3, 10, 17, 24
Friendship Academy/Children's Center	12月	2023	1, 8, 15, 22, 29
Grounds Maintenance Yard	1月	2024	5, 12, 19, 26
Levy Adult School	2月	2024	2, 9, 16, 23
Magruder Middle School	3月	2024	1, 8, 15, 22, 29
Richardson Middle School	4月	2024	5, 12, 19, 26
Towers Elementary School	5月	2024	3, 10, 17, 24, 31
Y.M.C.A. at Towers	6月	2024	7, 14, 21, 28
Walteria Elementary School	7月	2024	5, 12, 19, 26
Y.M.C.A. at Walteria			
Wood Elementary School			
Y.M.C.A. & Tykes at Wood			
Yukon Elementary School			

トーランス統一学校区では、以下の化学物質を学校敷内で使用することがあります:

屋外

化学物質	用途	化学物質	用途
PT Wasp Freeze II Deltamethrin EPA番号432-772	ハチおよび ジガバチ	AQUAMASTER Glyphosate N-glycine EPA番 号524-343	雑草防除
GOPHER GETTER 2 Strychnine Alkaloid EPA番号36029-50003-AA	ホリネズミ	DIMENSION 270 G Dithiopyr EPA番号7001-375	雑草防除
RAT OUT GEL ガーリックオイル、白こしょう EPA 免除	ネズミ防除	ROUNDUP PROMAX Glyphosate, N-(phosphonomethyl) カリウム塩 の形のグリシン EPA番号524-579	雑草防除
BIRD OFF USA ゲラニオールオイル、ミネラルオイル、菜種油 EPA免除 *不快感があるときは石鹸と水で洗うこと	鳥防除	SPEEDZONE SOUTHERN Carfentrazone-ethyl 2, 4-D, 2-ethylhexylester Mecoprop-p acid dicamba acid EPA番号2217-835	雑草防除
SUSPEND SC Deltamethrin EPA番号432-763	雑草防除	ATRIMMEC PGR Dickegular - Sodium (sodium-salt of 2, 3:4) EPA番号2217-776	植物・樹木
DITRAC Diphacinone .005% EPA番号12455-145	ジリス	DACONIL Weather Stick Chlorothalonil 54.0% EPA番号50534-209-100	防カビ剤
RAMIK OATS Diphacinone (2-Diphenylacetyl-1,3-Indandione) .EPA Reg. No. 61282-24	ジリス	DITRAC All-weather blox Diphacinone 0.005% (CAS #82-66-6) EPA番号12455-80	ネズミ・マウス・ハ ツカネズミ

農薬使用に関する通知- 化学物質 (続き)

屋内

化学物質	用途	化学物質	用途
ADVION Ant Gel Indoxacarb 0.05% EPA番号100-1498	アリ	PHANTOM Chlorfenapyr: 4-bromo 21.45% EPA番号241-392	昆虫およびシロアリ
PT ALPINE Dinotefuran Pyriproxyfen Prallethrin EPA番号499-540	ノミとトコジ ラミの駆除	EcoEXEMPT IC ² Rosemary Oil, Peppermint Oil, Oil of Wintergreen, Mineral Oil USP, Vanillin EPA 免除	殺虫剤
ADVION Cockroach Gel Indoxacarb 0.6% EPA番号100-1484	ゴキブリ	DIATOMACEOUS EARTH Amorphous Silicon Dioxide EPA免除	昆虫・ダニ
ADVION Bait Arena Indoxacarb 0.5% EPA番号100-1486	ゴキブリ	Nisus DSV Octyl Decyl Dicycyl Dimethyl, Dioctyl Dimethyl EPA番号10324-80-64405	水害・煙害
ADVION Bait Arena Indoxacarb 0.1% EPA番号100-1485	アリ		

EC§48904 - 所有物損壊

保護者は、生徒が意図的に学校所有物に損害を加えたり、生徒に貸し出された学校所有物を返却しなかった場合、経済的責任を求められることがあります。学校はさらに、損害賠償金が支払われるまで生徒の成績、卒業証書、成績表を保留することができます。

EC§49073 - 生徒名簿情報

学校区は、州法および連邦法に従い、生徒名簿情報を開示します。名簿情報の主な目的は、学校の発行物にお子さんの学校記録を含めるのを許すことです。このような発行物には以下のようなものがありますが、これに限るものではありません：年次アルバム、オナー・ロールまたは表彰者のリスト、卒業プログラム、演劇の上演情報紙、スポーツ・プログラム。「名簿情報」には、以下の項目の1つ以上が含まれます：生徒の名前、住所、電話番号、Eメールアドレス、生年月日、専攻、公認の活動やスポーツへの参加、スポーツ選手の体重と身長、在籍期間、受けた学位と賞与、開示された場合に有害またはプライバシーの侵害とみなされない情報。学校区が名簿情報を開示してもよいと判断している組織には、以下が含まれますがこれに限るものではありません：保護者と教師の会（PTA）、中等教育後機関、将来の雇用主、あるいは軍新兵募集担当者。雇用者、将来の雇用者、学校での個人写真や卒業時の記念品が目的の業者、新聞、雑誌、ラジオ、テレビを含むがこれに限らない報道機関代表者を除き、民間の営利組織には、情報が開示されることはありません。名簿情報は、生徒の名簿情報を学校区が開示することを許可しないという、書面による通知を保護者が提出している場合を除き（オプトアウトの書類は生徒の学校またはTUSD家族歓迎／登録センターにあります）、保護者の事前の了解なしに開示することができます。ホームレスと識別された生徒に関する名簿情報は、保護者、あるいは親権を与えられた生徒が名簿情報開示の承諾を書面により提供しない限り、開示されません。

EC§49063; 49069; 20 USC §1232g; 34 CFR §99.7 - 生徒の記録 - 権利の告知

手書き、印刷、テープ、フィルム、マイクロフィルムまたはその他のどのような形態であれ、生徒の発達および教育的進歩の履歴に関する累積的記録が維持されなければなりません。学校区は、このような記録のプライバシーを保護します。保護者には以下の権利があります：1) 学校によって管理される生徒の教育的記録を閲覧する、2) 不正確、あるいは誤解を招くと保護者が信じる記録の訂正を学校に要請する、そして、3) 教育的記録に記載された情報の公表に関してある程度の力をもつ。合理的な教育的関心をもつ学校関係者は、職業上の責任を果たすためにその記録を見る必要がある限り、保護者の許可なしに閲覧することができます。生徒が登録を希望、または意図するほかの学校の職員からの要請があれば、学校区は教育的記録を保護者の同意なしに開示することができます。

トランス統一学校区は、保護者の同意がある、または、裁判所の命令、あるいは召喚状で求められた場合を除き、移民法執行の目的で第三者に対して生徒情報を開示することはしません。生徒の市民権の有無、在留資格、出生地、または、国籍を示すその他の情報は、保護者の同意または裁判所の命令がない限り開示されません。

保護者が生徒の教育的記録の閲覧を希望する場合は、書面により、歓迎/登録センターの生徒サービス部ディレクター記録管理者宛 (Custodian of Records-Director of Student Services at Family Welcome Enrollment Center, 2336 Plaza del Amo, Torrance, CA 90509) に要請しなければなりません。学校区は、要請を受け取ってから (5) 営業日以内に、記録を提供することになっています。生徒の記録の写しを希望する場合は、1ページ単位の理にかなった費用を払うことで入手できます。

生徒の記録に異議を唱える場合は、書面により、歓迎/登録センターの生徒サービス部ディレクター記録管理者宛 (Custodian of Records-Director of Student Services at Family Welcome Enrollment Center, 2336 Plaza del Amo, Torrance, CA 90509) に提出されなければなりません。保護者が学校の記録に異議を唱える場合は、その記録が以下のいずれかであることを示さなければなりません：1) 不正確である、2) 根拠のない個人的な結論または推論である、3) 観察者の専門能力を超えた結論または推論である、4) 記録上の観察の時間と場所に、記録上の人物が実際に観察した結果に基づいていない、5) 誤解を招く、6) プライバシーまたはその他の生徒の権利を侵害している。保護者は、学校区が合衆国家族教育的権利およびプライバシー法 (FERPA) の条項に違反していることに関して、合衆国教育省に苦情を申し立てる権利があります。この場合は、以下の宛先に書面で申し立ててください： Family Policy Compliance Office, U.S. Department of Education, 400 Maryland Ave., SW, Washington, D.C. 20202-4605。

EC§49073.6 - ソーシャル・メディアから得る生徒の記録

定義にあてはまるソーシャル・メディアから得られる、在籍中の生徒に関する情報を収集、あるいは記録の中で保持するためのプログラムを検討する学校区、郡教育局、チャーター・スクールは、提案するプログラムに関して、まず生徒および保護者に通知し、そのプログラムを採用する前に、理事会の通常公開会議で公に意見を述べる機会を与えることが義務付けられています。

プログラムが採用された場合、以下の情報が、年次告知の一部として保護者に提供されなければなりません。

1. 「ソーシャル・メディア」の定義
2. 収集あるいは保持された情報は、学校または生徒の安全に直接関連することの保証。
3. 収集あるいは保持された情報を見るために生徒または生徒の保護者が生徒の記録にアクセスするための手順の説明。
4. 生徒または生徒の保護者が、収集あるいは保持された情報の削除や訂正を要請するための手順の説明。
5. 収集あるいは保持された情報は、その生徒が18才になった日から1年、あるいは生徒が在籍しなくなってから1年のどちらか先に来た日までに破棄されるという通知。

EC§49077 - 裁判所命令に従った情報開示

生徒に関する情報は、裁判所命令または合法的に発行された召喚命令に従い提供されなければなりません。学校区は、召喚命令や裁判所命令に従い生徒の情報を開示することを、適切な時期に事前に保護者に知らせよう合理的な努力をしなければなりません。

EC§48900.1, BP 5144.4 - 保護者に対する学校出席要請

教師は、停学処分を受けた生徒の保護者に対して、授業の一部に参加することを求めることができます。保護者の参加は、生徒が停学を受けたクラスに限られます。この措置の実施については、書面による通知が保護者に送られます。保護者が妥当な事前通知を雇用者にした場合、雇用者は、保護者がこの義務を履行することに対して処罰することは許されません。

EC§32255 et seq. - 動物に害を与えたり傷つけたりするような使用行為を辞退する権利

動物解剖、あるいは動物または動物のある部分を傷つけたり破壊することに倫理的異議を持つ生徒は、異議を教師に伝えなければなりません。異議は生徒の保護者の文書により裏付けされなければなりません。

動物に害を与えたり傷つけたりする動物使用行為を含む教育プロジェクトへの不参加を決めた生徒は、教師が適切な代替教育プロジェクトが可能であると考えられる場合、その代替教育プロジェクトを受けることができます。問題となっている学習コースが求める知識、情報、経験を生徒が得るため、教師は生徒と話し合っ、代わりとなる教育プロジェクトを課すことができます。

EC§51101(a)(12); PC§§627.5; 627.6 - 学校訪問の手順

公立学校に在籍する生徒の保護者は、子供の教育において、お互いにサポートをし合い、敬意をもつパートナーとして、学校訪問の手順を含む、学校の規則について事前に知らされる権利があり、また、そのような機会をもつべきです。

学校は、訪問者登録の必要性、登録が必要な時間帯、登録場所、その場所までの行き方、そして、登録条件に違反した場合の罰則について説明した案内をすべての入り口に掲示する義務があります。

29 USC §794; 34 CFR §104.32 - 連邦リハビリテーション法セクション504とアメリカ障害者法

1973年の連邦リハビリテーション法 (Rehabilitation Act) セクション504とアメリカ障害者法 (42 USC 12101 et seq.) (Americans with Disabilities Act) は、障害に基づく差別を禁止しています。セクション504は、無料で適切な公教育を提供するため学校区に、障害を持った生徒を特定し評価することを義務付けています。視覚、聴覚、歩行、呼吸、労働、手動作業を行う、学習、摂食、睡眠、起立、持ち上げること、体をかがめること、読むこと、集中すること、思考、話すことを含む主要な生活活動の、1つあるいはそれ以上の活動を大幅に制限する身体、もしくは精神の障害を持つ個人は、障害を持たない生徒のニーズに合わせるのと同じように適切に、彼らのニーズに合うように考案されたサービスや援助を受けることができます。

セクション504の下で保護の資格がある生徒の保護者の権利に関する詳細、あるいは、そのような生徒の識別、評価、資格に関する質問がある場合は、セクション504コーディネーター；コーディネーター；メンタルヘルスとカウンセリング310-972- 6113までお問い合わせください。

注： 「主要な生活活動」 の定義は、2009年のADAへの修正によって拡張されました。

EC§49076.7 - ソーシャル・セキュリティ番号

生徒およびその保護者は、州または連邦の法律で義務付けられている場合を除き、ソーシャル・セキュリティ番号またはソーシャル・セキュリティ番号の下4桁を提供することを求められることはありません。書類で、保護者や子供のソーシャル・セキュリティ番号またはソーシャル・セキュリティ番号の下4桁を記入することが求められていて、この情報を義務付ける州／連邦の法律が特定されていない場合は、記入する前に、学校管理者に確認してください。

生徒の適切な使用と著作権に関する方針

I. テクノロジーの適切な使用

トールズ統一学校区は教育における電子的サービスの価値を信じ、そのようなサービスが学校区のカリキュラムや生徒の学習をサポートする潜在力を認識しています。当学校区で生徒と教師が電子情報システムを使用できることをお伝えできることは喜ばしいことです。このサービスを提供する目標は、情報資料の共有、新しいアイデアの創出、そしてコミュニケーションを容易にすることで、優れた教育を促進することにあります。

下記は、テクノロジーの適切な使用に関する語彙とガイドラインです。このガイドラインに従わないユーザーは、情報サービスへのアクセスが拒否されたり、懲戒処分あるいは法的措置の対象になる場合があります。（可能性のある懲戒処分は以下を含みません：保護者面談、クラスからの除籍、損害賠償、停学、警察署への委託、他校への調整転校。

1. 定義

学校区のテクノロジーには以下が含まれますが、これに限るものではありません：（アクセスがオンサイトかオフサイトか、あるいは、その器具や機器が学校区所有のものか個人所有のものかには関わらず）コンピューター、サーバーおよび無線コンピューター・ネットワーク・テクノロジー（WIFI）を含む学校区のコンピューター・ネットワーク、インターネット、Eメール、USBドライブ、無線アクセスポイント、ルーター、タブレット型コンピューター、スマートフォンおよびスマート・デバイス、電話、携帯電話、電子手帳、ポケベル、MPSプレーヤー、ウェアラブル・テクノロジー、緊急用無線を含む無線コミュニケーション機器、および／または今後テクノロジー革新で利用可能となるもの。

2. 特権

情報システムの使用は特権であって権利ではありません、不適切に使用した場合、これらの特権の喪失につながります。この特権の喪失に関する全ての決定は、学校区の審査を通して行われます。トールズ統一学校区は特定のユーザーアカウントを拒否、取り消し、あるいは一時停止することができます。

生徒の適切な使用と著作権に関する方針（続き）

3. 生徒の義務と責任

生徒は学校区のテクノロジーを安全に、責任をもって、そして教育的目的でのみ使用することが期待されます。学校区のテクノロジーを割り当てられた生徒は、それを常に適切に使う責任を負います。生徒はオンラインのサービス・アカウントの情報、パスワード、または、本人確認と認定の目的で使われるその他の情報を共有してはならないとし、また、自分が割り当てられたアカウントの下でのみそのシステムを使用するものとします。

生徒は、不適切な目的で学校区のテクノロジーを使うことは禁じられています。これには学校区のテクノロジーを使って以下の行為を行うことを含みますが、これに限るものではありません：

- a. 差別的、中傷的、わいせつな、性的に露骨な、または破壊的な素材にアクセスする、投稿する、掲示する、またはその他の形で使う
- b. ほかの生徒、スタッフ、またはその他の者を、いじめる、嫌がらせをする、恐れをいだかせる、または脅す（サイバーいじめ）
- c. ほかの生徒、スタッフ、またはその他の者を脅す、恐れをいだかせる、嫌がらせをする、または笑いのものにする意図をもって、その者の個人的情報（名前、住所、電話番号、ソーシャルセキュリティ番号、またはその他の個人情報）を公表する、使用する、あるいは広める
- d. 著作権、ライセンス、商標、特許、またはその他の知的所有権を侵害する
- e. 学校区のテクノロジーまたはその他の学校区の活動を意図的に妨害したり傷つけたりする（学校区の器具を破壊する、学校区のコンピューターにマルウェアを入れる、教師やその他の学校区職員の許可なくコンピュータープログラムを追加または削除する、共有コンピューターでの設定を変えるなど）
- f. 許可されていないソフトをインストールする
- g. 学校区またはその他のユーザーのデータを操るためにシステムにハッキングする
- h. 倫理に反する、あるいは、法律または理事会方針、管理規則、あるいは学校区の慣行に反する行為を行ったり手伝ったりする

4. プライバシー

学校区のテクノロジーは教育的使用が目的であるため、生徒は、学校区のテクノロジーを使用するにあたり、プライバシーを期待することはできません。

学校区は学校区のテクノロジーのすべての使用についてモニター、記録する権利があります。これには、インターネットやソーシャルメディアへのアクセス、学校区のテクノロジーから送付された、あるいは学校区のテクノロジーにより受信されたコミュニケーションまたはその他の使用が含まれますがこれに限るものではありません。このようなモニタリング／記録は不適切な、違法な、あるいは禁止された活動に関する記録の維持および分配、および／または調査を含むがこれに限らない法的目的で、事前通告なしに行われることがあります。生徒は、ほとんどの場合、学校区のテクノロジーの使用（ウェブ検索やEメール）は消去または削除することはできないことを認識する必要があります。

学校区のテクノロジーで作られたあるいは使われたパスワードはすべて、学校区に所有権があります。学校区のテクノロジー上で生徒によって作られたまたは使われたパスワードは、それにより妥当なプライバシーが期待されるものではありません。

5. 個人所有のデバイス

生徒が、学校区のテクノロジーに個人所有のデバイスを使ってアクセスした場合、その生徒は該当する理事会方針、管理規則、および適切な使用に関するこの同意書のすべてに従わなければなりません。個人所有のデバイスを使用した場合、そのデバイスの内容およびそのデバイスから送信またはそのデバイスに受信されたコミュニケーションは、法的な召喚状または公記録の要請に従い、公表される場合があります。

6. 学校区の責任／限度

- a. 学校区は個人と学校区のファイルの完全性を確保するため、セキュリティ手続きを開発、実行、維持するために、慎重なステップをふみます。学校区はコンピューターシステムの情報が他のユーザーから保護されていることを保証することはできません。
- b. 学校区はネットワークに付随するテクノロジー情報資源への、エラーのない、信頼できるアクセスを提供するよう試みます。
- c. 学校区は技術的なあるいはその他の故障で、喪失、損傷を受けた、あるいは使用できなかった情報に対し責任を負いません。
- d. 学校区は、学校区のサービスを介して入手した情報の正確性について責任を負いません。

7. ウェブ方針

- a. 教師／職員ウェブページ。教師はクラス活動あるいは他の教師に情報資料を提供するためにウェブページを作成することができます。教師にはクラスのサイトあるいは教育資料サイトを管理する責任があります。教師のウェブページは学校区と学校の優秀性を高めるような様式で作成されます。
- b. 生徒と課外活動のウェブページ。生徒はクラス活動の一環としてウェブサイトを作ることができます。生徒のクラス活動ウェブサイトに掲載する素材は、クラス活動の教育的目的に沿わなくてはなりません。課外活動のページは明確にその課外活動に関連してはなりません。

生徒の適切な使用と著作権に関する方針（続き）

- c. オンライン個人認識—ミドルスクール／ハイスクール 学業の達成や成功を認めるために、生徒や生徒の作品の画像をウェブページに掲載することがあります。生徒の画像、生徒の作品そして生徒の功績は、生徒のファーストネームと姓のイニシャルのみで認識されます。生徒のグレードはI.D.番号で表示することが許されます。このガイドラインを超えて生徒が認識される場合は、保護者の署名入りの許可を受けなくてはなりません。
- d. オンライン個人認識—小学校 学業の達成や成功を認めるために、生徒や生徒の作品の画像をウェブページに掲載することがあります。生徒の画像、生徒の作品そして功績は、保護者の同意を示す署名入りの許可書がある場合のみに掲載されます。
- e. 確立された教育目的あるいはこの方針、または生徒懲戒方針に反する素材の排除を要求することは、ユーザーの言論の自由を侵害するものとは見なされません。

II. 著作権法と公正使用

トーランス統一学校区はまた、印刷物、ビデオ／DVDそしてコンピュータソフトの教育的価値を強く信じており、学校区のカリキュラムや生徒の学習をサポートする、その潜在力を認識しています。著作権法と公正使用に対する職業的な責任を明確にすることを願います。またトーランス統一学校区カリキュラムハンドブックと理事会方針第6162.6号と第6162.8号に明示されているように、著作権法は重要であり、教育者はそれを理解しなくてはなりません。

1. 著作権の定義

- a. 「著作権とは、オリジナルの文学的または芸術的作品を、創作あるいは複製（コピー）する、公共の場で演じる、または公開するための独占的権利を指す。」（出典：Duhaime's Law Dictionary）。1989年3月1日以降に個人により独創的に創作されたほとんどすべてのものに著作権があり、告知がついているかどうかによらず、保護されています。

2. 公正使用の適用

- a. 公正使用条項：「公正使用」は合衆国著作権法の一部です。批評、コメント、報道、教育、学問、研究に使用する場合、著作権のある作品を使用、コピーをすることは許可されます。公正使用であるかどうかは以下の要因により判断されます：
 - i. 使用の目的と特性、これには商業的な特性を持つ使用かあるいは非営利的な教育に関する目的かどうかが含まれます。例えば、ただ学校環境の中で使っているというだけでは不十分で、教育的な使用目的がなければなりません。
 - ii. 著作権作品の特性。注：公正使用は、高度に創造的な作品に対しては、本質的に大部分が事実に基づく作品と比較すると、より狭義に適用されます。
 - iii. 著作権作品全体との関連においての、使用された部分の量と実質性。これには、使用された部分の量と質の判断を含む。例えば、その個人が使用しているのはその作品の根幹ではなく、必要な部分のみであるか。
 - iv. 使用が、著作権作品の販売の可能性またはその価値に与える影響。
 - v. コピーすることがオリジナル作品の販売性を傷つけてはならない。
 - vi. ワークブックのような消耗品から素材をコピーすることは、公正使用とされるにはかなり不利となります。

3. 生徒のためのガイドライン

- a. 生徒は特定のコースにおいて生徒自身の教育的マルチメディアプロジェクトを制作する際には、法的著作権がある作品の一部をとり入れることができます。
- b. 生徒はそのコースで制作した自身のプロジェクトを発表したり展示することができます。
- c. 生徒はその作品を生徒の学業作品例として、将来就職や進学面接などで個人的に使うために自身のポートフォリオに残すことができます。

<u>公正使用範囲のガイドライン</u>	
<u>使用は最小限にとどめること</u>	
<u>動画メディア</u>	<u>10% あるいは 3分</u>
<u>テスト</u>	<u>10% あるいは 1,000語</u>
<u>詩</u>	<u>250語；同じ作家から 3 作以下；1つの作品集から 5 作以下</u>
<u>音楽、歌詞、ビデオ</u>	<u>10% あるいは 30秒</u>

写真とイラスト	1人の作家から5画像；出版された作品集から10%あるいは15画像以下
数値資料	10% あるいは2,500フィールドあるいはセル

4. ソフトウェアの著作権*

ソフトウェアの使用は公正使用には該当しません。著作権所有者から特定の許可を得ない限り、以下の事柄は違法です：

- a. シングルユーザー用にライセンスされたソフトウェアを購入し複数のコンピューターあるいはサーバーにアップロードすること
- b. 著作権のあるソフトウェアをインターネットあるいは電子掲示板からダウンロードすること
- c. 学校が購入したソフトウェアを自宅のコンピューターにアップロードすること

*Copyright © 2007 Intel Corporation - 非営利、教育目的に使用できます。

5. 著作権の必要要件—学校内での映画上映

- a. レンタルや購入可能な録画されたホームビデオとDVDは、家庭に限って上映する権利を有します。
- b. これらの映画は個人の家庭以外で上映するライセンスを含んではいません。
- c. 家庭以外の場所で上映、あるいはその他の目的で使用する映画は、そのような使用を特別に許可する別のライセンスがなくてはなりません。（合衆国規定、第17章）

6. その他の重要な規定

- a. ビデオやDVDのレンタルあるいは購入は、著作権のある作品を公共の場で上映する権利を持つものではありません。（合衆国規定 第17章 § 202）ビデオは別のライセンス無しに、家庭において「家庭団欒や社交」のために上映することができます、なぜならこのような使用は公共での使用とは考えられないからです。（合衆国規定 第17章 §101）。
- b. ビデオは非営利的教育目的と特定な狭義の「対面」教育活動においてライセンス無しに上映することができます。なぜなら法はこのような上映について限定した特例を設けているからです。（第110項）。
- d. 上記以外のビデオそして/あるいはDVDの公共の場での上映は、ライセンスで許可されない限り違法です。クラブ、ロッジ、工場、サマーキャンプそして学校のような半公共の場での上映でも、公共の場での上映であり、著作権規制の対象となります。（上院報告書No. 94-473、60ページ、下院報告書No. 94-1476、64ページ）

生徒および保護者の同意が毎年必要です。

保護者および生徒対象TUSD遠隔学習における適切なテクノロジーの使用に関する方針

保護者:

- 子供がオンライン学習している間、子供を監督し、教師に提出している内容が適切であることを確実にするのは保護者の責任です。
- 遠隔学習のバーチャル・セッションは生徒のためにデザインされています。学習環境への混乱を防ぐため、保護者は、テクノロジーに関して援助をしたり、そばにすることはできませんが、遠隔学習のバーチャル・セッションに能動的に参加するべきではありません。
- バーチャル・セッションの間、参加生徒に関連した秘密の情報または個人の特定が可能となる情報は、収集したり、話したり、共有してはなりません。
- どのような状況であれ、教師の許可なしで、音声／ビデオによるウェブ会議セッションの写真を撮ったり録音／録画することは許されません。
- 生徒に共有される内容は、指導の目的のみであり、ソーシャルメディアのプラットフォームやその他のいかなる形であれ、流通させてはなりません。

生徒:

- バーチャル・チェックイン・セッションの間は、ほかの生徒や先生を尊重する態度、礼儀正しい態度を示すこと。バーチャル・チェックイン・セッションの間、不適切、侮辱的、または脅威的なコメント；他人を装うこと、および／またはその場を乱すような行動は許されません。
- 参加者全員の安全と保護のため、生徒は、ウェブ会議に入るときは、カメラをオンにし、名前を示すことにより、自分が誰かを明確にしなければなりません。
- 生徒はビデオ会議セッションのスクリーンショットや写真を撮ったり、録音／録画をすることは許されません。

生徒の適切な使用と著作権に関する方針（続き）

- ログイン認証情報およびウェブ会議のリンクは共有してはいけません。ログイン情報やリンクが共有されると、ほかの生徒や先生の守秘権利が侵害され、許可のない者がクラスに参加したり、クラスを乱す行動につながる可能性があります、生産的でポジティブな学習環境が損なわれる恐れがあります。
- 遠隔学習のバーチャル・セッションを乱す行動をしたり「不法侵入」をした生徒は、TUSDの懲戒マトリックスに従い、適切な処分を受けます。処分の結果、一時的にあるいは永久にテクノロジーへのアクセスができなくなる可能性があります、そうすると、生徒は遠隔学習バーチャル・セッションに参加できなくなります。
- 生徒は[教育理事会方針5131](#) --素行に記された規定に従わなければなりません。その他の該当する方針には以下（参照）が含まれます:

[理事会方針5137](#) - ポジティブな学校環境

[理事会方針 5145.3 管理上の規則 5145.3](#) - 差別/嫌がらせのない環境

[理事会方針 5131.2 管理上の規則](#) - いじめ

Google Workspace for Education (G-Suite)

TUSDがGoogle for the Google Workspace for Education のアカウントに提供する個人情報、および、これらのアカウントに関連付けられる生徒からの個人情報をGoogleがどのように収集し、利用し、開示するかについて記載した告知は以下のリンクから見ることができます: [G-Suite Notice](#)

EC§51513; 51514 - 調査

性、家庭生活、倫理観、および宗教に関連する年齢相応の質問を含む、生徒の健康に関する行動やリスクを測るための、匿名、任意、秘密のテスト、アンケート、調査などを含む、研究および評価のためのツールは、保護者が書面にて以下のことを通知されていれば実施してもよい: 1) そのテスト、アンケート、または調査が実施されること、2) 生徒の保護者は、そのテスト、アンケート、または調査を閲覧する機会が与えられること、そして、3) 書面による保護者の承諾。生徒の性的指向やジェンダー認識に関する質問がすでに含まれるアンケートから、そのような質問を削除することはないものとする。

EC§4221.61 - 第9章

1972年の教育法改正の第9章は、連邦および州の差別防止に関するいくつかの法律の1つで、連邦資金を受けている教育的プログラムや活動における平等を確実にするものです。具体的には、第9章は、男子/女子生徒や職員、トランスジェンダーの生徒、そして性別の固定概念からはずれている生徒を、性的嫌がらせを含む、性に基づく差別から守るものです。カリフォルニアの法律ではまた、ジェンダー、ジェンダー表現、ジェンダー認識、および性的指向に基づく差別も禁止されています。第9条の下では、生徒は、親、家族、あるいは婚姻関係に関するステータスに基づいて差別を受けることがあってはならないとされ、また、妊娠している、あるいは子供をもつ生徒は、その生徒が参加する資格のある課外活動を含む、いかなる教育的プログラムの参加からも、排除されることはないものとされています。第9章について詳しい情報、あるいは、第9章の違反についての苦情提出に関しては、www.tusd.org/parents/title-ixをご覧ください。

BP 1312.3 - 統一苦情手続きに関する年次告知

トランス統一学校区では毎年一度、生徒、職員、生徒の保護者、学校区顧問委員会、学校顧問委員会、私立学校の適切な担当者、およびその他の利害関係者に対し、当学校区の統一苦情手続き（UCP）の過程を通知します。UCP年次告知は、当学校区のウェブサイトで見ることができます。

学校区は主に、連邦および州の法律や規定に従う責任があり、これには、保護されたグループに対する違法な差別、嫌がらせ、脅しやいじめ、そして、UCPが適用されるすべてのプログラムやアクティビティが含まれます。

UCPが適用されるプログラムおよびアクティビティ

- 妊娠中および育児中の生徒のための特別配慮
- 成人教育
- 放課後の教育と安全
- 農業職業専門教育
- 職業専門教育および職業専門トレーニングプログラム
- チャイルドケアおよび幼児教育プログラム
- 補償教育
- 連結分類別援助プログラム
- 教育的内容のないコース時限

統一苦情手続きに関する年次告知（続き）

- 第210.3項で定義されているように、州の財政援助により直接資金を受けている、あるいはそのような援助を受けたり恩恵を受けている、教育機関によって実施されるプログラムや活動において、教育規定200および220、政府規定11135の下で特定されている保護されたグループに対する、差別、嫌がらせ、脅し、またはいじめ。これには刑法422.55において認識される特性を実際にもつ、あるいは、個人がこのような実際あるいは認識上の特性をもつ個人またはグループと関係がある場合を含む。
- 里子制度の下にいる生徒、ホームレスの生徒、軍人家庭の生徒、および、以前少年裁判所の監察下にあり、現在学校区に在籍する生徒の教育的および卒業に関する要件
- **Every Student Succeeds Act**（全生徒の成功に関する法令）
- ローカル・コントロールと説明責任に関する計画(LCAP)
- 季節労働者家庭の生徒の教育
- 体育教育指導の時間
- 生徒への課金
- 授乳中の生徒への合理的配慮
- 地区職業センターと各種プログラム
- 生徒達成のための学校計画
- 学校安全計画
- 学校委員会
- 州立プレスクール
- LEAのライセンス免除の中の州立プレスクール健康と安全に関する問題、および、カリフォルニア教育局（CDE）の州公立校指導教育長（SSPI）またはその代理人が適切とみなす、その他の州または連邦の教育プログラム。

UCP苦情の提出

UCP苦情は、違反があったとされる日から1年以内に提出されるものとする

ローカル・コントロールと説明責任に関する計画（LCAP）に関する苦情の場合、違反が起こったとされる日は、確認者がLCAPまたは、当機関により採択された年次更新を承認した日とする。

公立校に在籍する生徒は、教育的活動に参加するのに課金されることはないものとする。

生徒への課金に関する苦情は、学校長または学校区教育長またはその代理人に提出してもよい。

課金またはLCAPに関する苦情の場合、苦情提出者が、主張する違反について証拠、または、証拠につながる情報を提供できれば、匿名で、つまり、本人が識別できる署名なしで提出してもよい。

トーランス統一学校区の責任

里子システムにいる生徒、ホームレスの生徒、軍人家庭の生徒、および、以前少年裁判所において現在学校区に在籍する生徒のための、教育的および卒業の要件については、この告知に加え、通常の告知も掲載するものとする。

苦情提出者に対し、UCPの適用範囲内のプログラムに関する苦情の調査報告書を教育局（CDE）に上訴する機会があることを助言する。

適切であれば、差別、嫌がらせ、脅し、いじめに関する州法または連邦法の下で利用可能な、禁止命令、接近禁止命令、またはその他の救済策や命令を含む民放救済策について、苦情提出者に助言する。

当学校区のUCP手順のコピーは無料で提供される。

問い合わせ先

UCP適用範囲内の苦情は、以下の苦情処理責任者に提出してください：

Chief Personnel Officer, Human Resources Department, 2335 Plaza del Amo, Torrance CA 90501 - 310-972-6071

上記の担当者は、トーランス統一学校区で調査される法律やプログラムについて十分な知識があります。

EC§35186 - ウィリアムズ苦情申し立て方針と手続き

すべての学校は、十分な教科書および教材を提供しなければなりません。英語学習生を含む生徒全員に、教科書または教材、またはその両方が、家庭でまたは放課後使えるようにゆきわたっていなければなりません。学校の施設は衛生的、安全で、修理がゆきとどいていなければなりません。教師の不在状態または不適当な割り当てがあってはなりません。これらの領域で学校に問題があり、学校が修正的措置をとらない場合は、統一苦情オフィサー - 人事部シニアディレクター - から、苦情申し立て用紙を入手できます。保護者、生徒、教師、またはいかなる市民でも、これらの問題に関して苦情を申し立てることができます。しかし個人は、気になることがあれば、学校に対応する機会を与えるために、苦情申し立て用紙に記入する前に、学校長にもちかけることが強く勧められます。

カリキュラムに関する告知:

EC§48980(k); 52244 - アドバンスド・プレースメント (AP) テスト - 州の資金

ハイスクールの生徒は資格条件を満たす場合、APテストの受験料の資金援助を受けることができます。詳しくは、学校のカウンセラーにお問い合わせください。

EC§69432.9 - Cal Grant プログラム

Cal Grantは大学のための資金で、返済の必要がありません。資格を得るためには、生徒は資格基準と経済的要件を満たし、さらに、最低GPAの要件を満たす必要があります。Cal Grantは、カリフォルニア大学、カリフォルニア州立大学、カリフォルニアのコミュニティ・カレッジに使うことができます。カリフォルニアの独立したその他の大学、職業専門カレッジや技術専門カレッジでCal Grantを受け付ける学校もあります。

生徒の学資援助申請を助けるため、12年生のすべての生徒は自動的にCal Grantの申請者とみなされ、12年生の生徒全員のGPAが、学校または学区の職員によって、締切日である10月1日までにコンピューター上でカリフォルニア生徒援助委員会 (CSAC) に送付されます。生徒、あるいは18才未満の生徒の保護者は、生徒のGPAをコンピューター上でCSACに送付されることを望まないことを示す書面による要請を学校長に提出することができます。生徒が18才になるまでは、保護者のみがオプトアウトを要請できます。18才になっている場合は、本人のみがオプトアウトを要請でき、また、それ以前に保護者がオプトアウトをしている場合は、逆にオプトインの申請をすることができます。

EC§48412; 5 CCR§11523 - カリフォルニア・ハイスクール熟達度試験

カリフォルニア・ハイスクール熟達度試験 (CHSPE) は、公立学校で教えられる基本的なリーディング、ライティング、および数学の能力を評価する、任意のテストです。CHSPEに合格した生徒は、州教育理事会より、熟達認定書 (Certificate of Proficiency) を授与されます。熟達認定書を受けた生徒は、保護者の承認が確認されれば、ハイスクールをはやく出ることができます。熟達認定書は、ハイスクール卒業証書 (ディプロマ) と同等ですが、通常のハイスクール卒業に必要なとされるコースをすべて修了することと同じではありません。大学に進学する予定の生徒は、希望する進学先のアドミッション・オフィスに問い合わせ、熟達認定書がアドミッションの要件に合うかどうかを確認してください。

CHSPEは、テスト実施日に以下の要件の1つを満たしている場合にのみ受けることができます: 1) 16才以上である; 2) 10年生に1学年度以上在籍した; 3) CHSPEの定期実施日があるセメスターの終わりに、10年生の1学年度在籍を終える (定期実施日は毎年秋と春の実施日)。25才未満のホームレスまたは里子である生徒には受験料は課さないものとする。テスト実施日や登録締切日を含む詳しい情報に関しては、以下のウェブサイトをご覧ください: <http://www.chspe.net/>。

EC§221.5(d) - 進路指導と進路計画における男女均等性

7年生に始まり、学校職員は、コース選択や進路計画の面で生徒を援助していきます。これには、さまざまな職業の可能性の探求、そして、性別ではなく個人の興味や能力に基づいたキャリアにつながるコースの選択が含まれます。保護者もこのようなカウンセリング・セッションや決定に参加できるように、通知がなされます。

EC§48980(m) - 職業専門教育コース

EC 51225.3(a)(1)(E)によって課されている卒業要件を満たすのに職業専門コースを許すことを選択している学区は、以下の告知を提供しなければなりません:

1. 学区のハイスクール卒業要件、および、それぞれの要件が、カリフォルニア州立大学およびカリフォルニア大学の入学要件を満たす要素となる、あるいはそのような要因にならないことについての情報。
2. 学区が提供する職業専門コースで、カリフォルニア州立大学およびカリフォルニア大学の入学要件を満たす要素となるコースの完全なリスト、そして、それぞれのコースが具体的にどの大学入学要件に該当するかの説明。

大学進学と職業専門教育

大学入学要綱. 大学入学要綱は、単科大学か総合大学か、公立か私立か、カリフォルニア州内か州外かなどによって違いがあります。大学は基本的には、学生の願書进行评估する際に、プログラムの厳しさ、GPA、そして統一テストの成績などを考慮します。場合によっては大学は、候補者の評価の要素として、課外活動、エッセイ、推薦状や面接などを考慮することもあります。大学入学のための必須教科は、基本的にカリフォルニア大学 (University of California) の要件に沿っています。最低限必要なのは：英語：4年、社会科：2年、外国語：2年、科学：2年、数学：3年（代数1、幾何学、代数2）、視覚および舞台芸術：1年です。これらは最低必要教科です。より競争の激しい大学には、3年以上の外国語、オナーズレベルの数学や科学、アドバンスト・プレースメント (AP) や大学レベルのコースなどが期待されます。さらに、カリフォルニア大学では、ライティングを伴うACT、またはエッセイを伴うSATのスコアが求められます。SAT科目別テスト (SAT Subject Test) は要件ではありませんが、競争率の高い専攻やプログラムの場合は、熟達度、精通度をみるために、SAT科目別テストが求められる場合もあります。

コミュニティ・カレッジに入るには、ハイスクールの卒業証書 (ディプロマ) またはそれに相当するものを取得している、あるいは、18才以上であることが必要です。コミュニティ・カレッジに行って、CSUやUCに編入することもできます。

大学入学要綱についてより詳しい情報を得るには、以下のウェブページをご覧ください：

www.cccco.edu - これは、カリフォルニア州コミュニティ・カレッジ・システムの公式ウェブサイトです。カリフォルニア州のすべてのコミュニティ・カレッジのリンクがあります。

<https://www2.calstate.edu/> - このオンラインサイトは、生徒やその家族に対し、CSUシステムに関する援助を提供するものです。オンラインでの願書提出が可能で、さらに、すべてのCSUキャンパスへのリンクがあります。

www.universityofcalifornia.edu - この巨大なウェブサイトは、UCのすべてのキャンパスに関して、入学要綱、オンラインでの願書提出についての情報を提供するもので、すべてのUCキャンパスへのリンクもあります。

www.assist.org - このオンライン生徒トランスファー (編入) 情報システムは、カリフォルニアの公立の単科大学や総合大学で取得した単位を別の大学にトランスファーするときどのように使えるかについての情報を提供します。

<https://doorways.ucop.edu/list/site> - UCとCSUへの入学要件を満たすとしてUCにより認定されたハイスクールのクラス：

職業専門教育 (CTE) の説明. 生徒は、職業専門教育 (CTE) を通じて、職業のオプションを探求することもできます。これらは、学校で提供される、特定の職業準備や仕事の準備に特に焦点をおいたプログラムやクラスです。このようなプログラムやクラスは、アカデミック・コースに統合されており、アカデミック面での達成をサポートします。生徒は以下のウェブページを参考にすることで、職業専門教育についてより詳しく知ることができます：www.cde.ca.gov/ci/ct/gi/.

ハイスクールの単位となる可能性もあるCTEのクラスはエル・カミノ・コミュニティ・カレッジ <http://www.elcamino.edu> および南カリフォルニア地区職業センター www.scroc.com を通じて提供されています。TUSD外のクラスについては、生徒がカウンセラーに相談してください。クラスによっては、登録する前に、学校管理者の許可が必要な場合があります。

アカデミック・カウンセリング: TUSDのカウンセラーは各ハイスクールにおいて、春のプログラム決定時期に、4年制大学、2年制大学、職業専門校、あるいは就職といった、中等教育後のそれぞれの計画に合った適切なクラスを選択する手助けをするために、全生徒と個々に面談します。学年ごとの保護者のタペやプレゼンテーションは保護者や生徒に大学進学、学資援助、そして卒業後のオプションなどについて情報を提供します。

カウンセラーとは、始業前、放課後や昼食時に会うことができます。授業時間中におけるカウンセラーへの面会予約も、その時間の教科担任の署名された許可書があれば可能です。すべてのハイスクールのウェブサイトで、それぞれのクラスを説明した冊子 (Course Description Booklet) を見ることができ、その中で、大学入学やTUSDの卒業要件に関する情報も提供されています。

各ハイスクールのキャリア・センターでは、大学進学と職業の両方に関する最新の情報が提供されています。

EC§51225.8 - 連邦学資援助

州法の下で、学校区は、生徒が12年生を始める前に、連邦学資援助の無料申請書 (FAFSA) またはCalifornia Dream Actの申請書に適切に記入し提出する方法について、最低1回、情報を得る機会を確実にしなければなりません。学資援助は、締め切り日に従って、申請書先着順に決められるため、この情報提供は時宜を得て行われなければなりません。家庭および生徒の個人情報すべて、州および連邦のプライバシーに関する法律により保護されます。トランス統一学校区では、年次学資援助説明会 (Annual District Financial Aid Night) にてこの情報を提供します。今年度の日程と会場に関しては、各ハイスクールにお問い合わせください。

5 CCR§3831 - ギフテッド（才能に恵まれた）の生徒のためのプログラム(GATE)

学校区は、GATEプログラムに関して文書による計画を作成し、一般閲覧ができるようにする義務があります。計画には以下のことが含まれます：1) 一般的なゴールおよび生徒が達成することが期待される具体的な目標を含む、プログラムの目的の論理的根拠；2) GATE生徒の学校区の識別方法の論理的根拠；3) 該当する場合は、転校生で、前の学校でGATEと識別された生徒をGATEとして認め、プログラムに配置することを考慮することに関する手続き；4) 教育規定52206項で特定された時間、特別全日クラスに参加している、特殊サービスを受けている、あるいは特殊活動に参加している生徒に関して、提供されるサービスおよび含まれる活動；5) プログラムのさまざまな構成要素を評価するための計画；6) 学校区のGATEプログラムを毎年の見直しに基づいて改良する手順；7) 教師および監督者に必要とされる能力の特定を含む、ニーズアセスメントに基づくスタッフの専門能力開発；8) 学校区のGATEプログラムを計画、評価、実施するための方針について提案をすることに保護者が常に参加することを確かにするための手順；9) GATEプログラムへの生徒の参加または不参加を保護者に通知する手順；および10) 予算に関連した基本方針。

カリフォルニア大学進学指導イニシアティブ (CCGI)

トーランス学校区は、カリフォルニア州内のすべてのハイスクール12年生が大学進学後の明確な目標を持って卒業できるよう、カリフォルニア州内の学校区と連携しているCCGI（カリフォルニア大学進学指導イニシアティブ）と提携しています。

このシステムの特徴の一つは生徒の成績記録の確認で、トーランス統一学校区、カリフォルニア・コミュニティ・カレッジ (CCC)、カリフォルニア州立大学 (CSU)、カリフォルニア大学 (UC) が、生徒の履修データを検証し、「A-G」要件に向けた進捗状況を確認できるようにするものです。この提携により、生徒は大学進学やキャリア設計をサポートする専用のツールやリソースにアクセスできるようになります。また、生徒はこのプラットフォームからFAFSAやCalifornia Dream Actの申請を開始し、追跡することができます。これらのリソースは、生徒の成績証明書データが学校区の生徒情報システムからCaliforniaColleges.eduにアップロードされた場合にのみ提供されます。

州および連邦政府の生徒プライバシー保護法に従い、当学校区では、当学校区による生徒情報の公開をオプトアウトする機会を提供しています。[ここをクリックするか、bit.ly/3AISzXaにアクセスして](#)、CaliforniaColleges.edu の成績表情報機能へのあなたのお子さんの個別のアクセスを削除する決定を確認してください。オプトアウトすると、ハイスクールにいる間に活用される計画や情報ツールにアクセスできなくなりますので、ご注意ください。

EC§ 51930-51939 - ヘルス・リテラシー

TUSD ヘルス・リテラシーの使命: トーランス統一学校区の使命は、個々のそして全ての生徒が人生において成功を収めるための準備を確かにすることにあります。この使命を達成するため、学校は生徒のヘルスリテラシーを育てる方針、活動、カリキュラムを考案しています。

ヘルス・リテラシーの定義: ヘルスリテラシーとは、健康についての情報やサービスを入手、解釈し、理解する個人の能力、そしてその情報やサービスを健康増進のために使いこなす能力として定義されます。

保健教育の内容標準の概要: キンダーガーデンから12年生までを通じての包括的な健康に関する内容標準は、生徒が健康的な判断ができるように、事実に基づく一貫した健康知識を提供するものです。(カリフォルニア公立学校のための保健教育内容標準、2008年)。保健教育標準は、健康に関する6つの内容領域の中で教えられ、生徒の学年に応じて適宜配分されています。

1. 栄養と運動: キンダー、2、4、5、7、8年生とハイスクール
- 2a. 成長と発達: キンダー、1年生、3年生
- 2b. 成長、発達、性的健康: 5、7、8年生とハイスクール
3. けがの防止と安全: キンダー、1、4、6、7、8年生とハイスクール
4. アルコール、タバコ、おおびその他の薬物: キンダー、2、4、6、7、8年生とハイスクール
5. 精神・情緒面の健康、および社会面での健康: キンダー、2、3、6、7、8年生とハイスクール
6. 個人的健康とコミュニティの健康: キンダー、1、3、5、7、8年生とハイスクール

保健教育: 学年度中に、TUSDのすべての学校で、5年生、ミドルスクール、ハイスクールの生徒は、成長、発達、性的健康、HIV/AIDS防止に関する包括的教育に参加します。このプログラムは、生徒の保健および/またはサイエンスのクラスでのプレゼンテーションの形で行われ、医学的に正確で、年齢相応で、生徒全員が対象です。すべてのプレゼンテーションは、学習内容である健康に関する概念について保護者やその他の信用できる大人とコミュニケーションを続けることを促すものとなっています。

成長、発達、および性的健康は5、7、8年生とハイスクールで学習しますが、5年生では、州の「保健教育フレームワーク」(2019)と標準に重点がおかれます。5年生の「成長、発達および性的健康」(カリフォルニア公立学校のための保健教育内容標準 2009)の重要な概念は以下のとおりです。

保健教育（続き）

- 思春期と身体的発達個人によってかなり異なり、それでも正常であることを説明する。
- 個人的衛生管理と、思春期に関連する健康と安全の問題を認識する。
- 人間の生殖周期、出産、成長、加齢、および死について説明する。
- 人間の生殖器系の構造、機能、および主要な部位を説明する。
- 思春期に起こる身体面、社会面、情緒面での変化を認識する
- ヒト免疫不全ウイルス（HIV）と後天性免疫不全症候群（AIDS）を含め、性感染症（STI）を定義する
- HIVにはどのように感染するのか、また、どのように感染しないかを説明する。

7年生より、[カリフォルニア健康な青少年に関する法律:CHYA](#)（教育規定51930–51939）により、包括的性教育とHIV防止教育が、少なくともミドルスクールで1回とハイスクールで1回、生徒に提供されることが義務付けられています。

CHYAは、以下の5つが主要目的です:保健教育（続き）

- 生徒が性的および生殖的な健康をHIVやその他の性感染症から守り、また、意図しない妊娠を避けるために必要な知識とスキルを生徒に提供する
- 思春期の成長と発達、体のイメージ、ジェンダー、性的指向、恋愛関係、結婚や家族について、健全な考え方を育てるために必要な知識やスキルを提供する
- 性的関心は人間が成長するうえで正常な部分だということの理解を促す
- 統合的で、包括的で、正確で、偏見のない性的健康とHIV防止に関する指導を生徒が受けることを確実にし、そのための明確な手段とガイダンスを提供する
- 健全、肯定的で、安全な恋愛関係と行動に必要な知識とスキルを生徒に提供する

EC51950と51950の修正議会法案1227により、生徒が7年生より年齢に応じて、健全な恋愛関係について学び、虐待（性的虐待と人身売買を含む）防止教育を提供されることが義務付けられています。生徒はこれらの問題、そして、肯定的同意、恋愛関係における暴力、いじめ、性的嫌がらせ、メディアの影響などといった、関連トピックについて学びます。

保護者は、生徒が指導を受けないことを要請する書面を学校管理者に提出することで、指導を受けさせないよういすることができます。包括的性的健康教育とHIV予防教育で使用される教材のプレビューの機会が学校で提供されます。学年別の情報については、学校から通知されます。

EC§57144, 51745, 51745.5, 51746 および56026- インディペンデント・スタディ

インディペンデント・スタディ（IS）は選択制であり、強制されることはありません。ISを提供する学校区は、インディペンデント・スタディコースの方針を定めるか、または、対面で提供されるものと同等の課題を完了するためのカリキュラム時間を設けなければなりません。さらに、短期（15学校日未満）および長期（15学校日以上）は、各学校区の理事会が採択した方針に従って、ISに参加する必要があります。ISの同意書に署名する者は、短期ISの場合は10日以内に、長期ISの場合は事前に署名し、個々の生徒のニーズに基づき、障害のある生徒への公平なアクセスを含め、最新情報を提供される必要があります。トランス統一学区がどのようなISオプションを提供しているかについての詳細は、学校管理者にお問い合わせください。

EC§51225.1; 51225.2 - 季節労働者家庭の生徒および移民して間もない生徒：卒業要件と継続的教育のオプション

通知は保護者と生徒が理解できる言語で、移民から30日以内に提供されるものとする：生徒が州で定められた最低履修要件を満たし、ディプロマを取得する資格ができたとき、生徒、および教育的権利の保持者に以下のすべてを通知するものとする：ハイスクールの3年目か4年目に他国あるいは他学校区から編入した生徒はハイスクールの卒業要件を満たせば居住地の学校区によって発行されたディプロマを受ける権利があること。居住地の学校区は、その生徒が最後に在籍した学校からディプロマを発行し、それ以前に在籍した学校、そして、合衆国以外の国で十分な成績で履修したクラスの単位を認めるものとする。学校区または特別認可校は、編入後に、教育理事会または特別認可校または補習教育校により採用されたクラスを履修したりその他の要件を満たすことが、中等教育後教育機関に入る力に影響することを説明する。カリフォルニア・コミュニティ・カレッジを通して可能なトランスファーの機会に関する情報。該当する場合、ハイスクールで、ディプロマ取得の要件を達成するために生徒または教育権利保持者に5年目のクラス取得を許すオプション。学校区または特別認可校が期限内の通知を怠った場合、生徒は、当初の編入後であったとしても、通知を受けた時点で、ディプロマを受ける資格があること。

季節労働者家庭の生徒および移民して間もない生徒：卒業要件と継続的教育のオプション（続き）

さらに、州の最低限の履修コースと、学区の理事会または特別認可校により採用されたその他の要件に加え、以下の両方を行われなければならない：生徒に、クラスを履修し、理事会により採用されたその他の要件を満たすオプションについて知らせる。生徒が18才以上の場合は生徒の同意、生徒が18才未満の場合は生徒のために教育的決定をする権利を保持する者の同意を受けて、クラスを履修したり理事会によって採用された要件を満たすために、ハイスクール5年目を許す。生徒が18才以上の場合は生徒本人に、生徒が18才未満の場合は生徒のために教育的決定をする権利を保持する者に対し、地方教育機関によって運営される学校または特別認可校に入ることを考え、継続的な指導を受け、有効なディプロマを受けてハイスクールを卒業することを助言する。ニューカマー・プログラムに参加している生徒が学区の卒業要件から免除される場合は、その生徒が「ニューカマー・プログラムに参加している生徒」の定義にもはや当てはまらなくなっても、学校に在籍している、あるいは、ハイスクールの3年目か4年目に、特別認可校を含む別の学校、あるいは別の学区に再び転校したとしても、その免除は引き続き有効となる。季節労働者家庭の生徒および保護者は、この免除を受けることを唯一の目的として、転校を要請することはできないものとする。

EC§41601.6 - 季節労働者家庭の生徒の教育-延長学年度

TK-6年生で、「季節労働者家庭の子供- migrant child」と識別される生徒は、夏休み、冬休み、またはその他の学期の継ぎ目に、2つの公立学校に在籍することが許されます。この場合の2つの公立学校は、親が1つの農業の仕事から次の農業の仕事に移った場合に、前に通っていた学校とこれから通う学校の両方の学校を指します。

EC§51225.1; 51225.2 - 軍人の家族: 履修コースと卒業の要件

軍人の家族の場合は、お子さんは、学区の卒業のための履修要件のうち、カリフォルニア州の卒業要件を超える部分を免除される場合があります。お子さんの学校のカウンセラーとアポイントメントをとり、卒業に関してお子さんのオプションを確認してください。トランス統一学区外の学校で履修したコースに関しては、フルまたは部分的単位が認められます。

EC§51430 - ハイスクール・ディプロマの遡及的授与: 国外退去した、または強制送還された生徒

トランス統一学区の理事会は、アメリカ国外に強制送還された生徒に対し、その生徒がハイスクール2年目を十分な成績で修了していれば、ディプロマを授与することができる。アメリカ国外からの編入単位は、オンラインまたは外国のクラスと通じての履修と見なされる。

EC§35256; 35258 - 学校の説明責任報告書

トランス学校区は、カリフォルニア教育規定の要件に従い、各学校の説明責任報告書（School Accountability Report Card-SARC）を作成しています。SARCは、それぞれの学校について、施設に関する情報、義務付けられたテストのスコア、学校全体の生徒とスタッフに関する人口統計学的情報を含む、さまざまな情報を提供するものです。SARCは、オンラインで<http://www.tusd.org/schools/reports>より取得することができます。ハードコピーは保護者から要請があれば提供されます。テストや説明責任についてさらに詳しいことに関しては、テストング事務局(310)972-6150までお問い合わせください。テストング事務局は教育サービス部の一部で、チーフ・アカデミック・オフィサーの監督の下にあります。

EC§51950 - 性的虐待と性目的の児童売買の防止

トランス学校区は、性的虐待および性目的の児童売買防止に関する教育を提供することが許可されています。これには、性的虐待および性目的の児童売買の頻度や本質、リスクを減らすための方法、健全な境界を保つ方法、何か起きたときにそれを確実に報告する方法が含まれます。保護者は、性的虐待や性目的の児童売買の防止教育を取り入れたクラス、そして、そのような教育に関連した評価に子供を参加させないように、書面により要請することができます。

EC§51900.6 - 性的虐待や性的暴力に関する意識向上および防止

トランス統一学区は、キンダーガーデンから12年生までの生徒に対し、性的虐待や性的暴力に関する意識向上および防止について、年齢に応じた指導を提供することが許可されています。保護者は、性的虐待や性的暴力に関する意識向上および防止策を取り入れたクラスに子供を参加させないように、書面により、要請することができます。

ホームレスおよび里子の児童の教育

EC§48204; 48853; 48853.5; 51215.1; 51225.2 - 里子児童の教育

LCFFの下では、里子児童とは、家庭から取り上げられたか否かにかかわらず、少年扶養裁判所（CA WIC § 300; § 602）の申し立ての対象であり、少年裁判所の管轄下にある里子または保護観察中の少年に適用される。AB1055 (Ramos)はまた、アメリカ先住民族部族、コンソーシアムまたは部族、または部族組織の裁判所の扶養児童も含み、郡裁判所制度を通じて特定される里子と同じ権利の保証を与えられる。

里子児童の教育（続き）

法律により、すべての地方教育機関は、以下の目的で、里子児童の教育リエゾンの担当者を指名することが義務付けられている： 1) 里子児童の適切な教育プログラム配置、学校への登録、および学校からのチェックを確実にし、促進する；そして2) 里子生徒が学校/学校区を移るときに、単位、記録、成績が適切に転送されることを確実にするのを助ける。学校区の里子生徒リエゾン担当者には、Family Welcome Enrollment Center (310)972-6280を通じて連絡することができます。

里子児童の教育的権利には以下が含まれます：

- 制限ができる限り少ない教育プログラムに安定的に配置され、すべての生徒がアクセスできる、学習リソース、サービス、および課外活動へのアクセスが与えられる。
- 元の学校に残る権利。元の学校とは、生徒が直近に在籍していた、あるいは里子システムに入ったときに在籍していた学校、あるいは、過去15ヶ月に在籍した学校と定義される；そして、里子制度にいる間、同学年の生徒と共に進級する権利。
- 認可された児童施設、認可されたフォスターホーム、または、福祉と施設の規定（Welfare and Institutions Code）の下で誓約またはプレースメントに従った家族の家のいずれに住んでいるにしても、上記の定義による元の学校、または、里子児童が現在住んでいる場所の学校に直ちに登録する権利。
- 裁判が終わった後、学年度の終わりまで、上記の定義による元の学校に残る権利。
- 生徒がハイスクール在籍中に裁判が終わったとしても、ハイスクール卒業まで、上記の定義による元の学校に残る権利
- 学校間の適切で迅速な転校手続き。これには、地方教育機関と郡のプレースメント機関との間の調整、里子生徒の教育的情報や記録の、次の教育的プレースメント場所への転送が含まれる。
- 里子生徒が、裁判所やプレースメント幹旋機関によるプレースメント変更の決定、または、確認された裁判所への出廷あるいは裁判所命令による活動が理由で、学校を欠席した場合、それによって成績を落とされることがあってはならない。
- 里子生徒が十分な成績で修了したコースに対して部分的単位を与えられ、またそのような単位が認められること。里子生徒は、ハイスクール卒業に間に合うように要件を修了できることがかなり確実であると判断される場合を除き、すでに修了したコースの一部を再履修することを求められることのないものとする。
- 生徒が十分な成績で修了したコースの再履修を求められることはない。
- 里子生徒がハイスクール2年目以降に転校し、単位が不足しており、その学校区の卒業要件を期限内にすべて満たすことができない場合、州の縮小卒業要件を満たすことで、4年で卒業できる可能性があることを通知される。
- 里子生徒の弁護士と郡児童福祉機関からの代表者が、里子生徒が関与する懲戒手続きに関連した停学ミーティング、問題の現れに関するミーティング（該当する場合）、および、退学処分に関する公聴会のエクステンションへの招待を受ける。
- 継続学校への強制的な転校、停学、退学に必要な保護者への通知に加えて、里子の弁護士とソーシャルワーカー、そして該当する場合は、里子の部族のソーシャルワーカーと郡のソーシャルワーカーに通知すること。
- 弁護士やソーシャルワーカーには、面談の要求やすべての書類の閲覧など、保護者と同じ権利がある。
- 統一苦情手続きの下で、地方教育機関の法違反に関する苦情を提出する。

42 USC§11432; EC§48853; 49069; 51225.1; 51225.2; 69432.7; 69519; 69731; 69956; 70032; 78220; 88931 - ホームレス児童教育; ファイナンシャル・エイドに応募する権利

ホームレスの児童や青年のためのマッキニー-ヴェント・ホームレス援助法により、ホームレスの学齢児童は、ホームレスではない生徒に提供されるのと同じ無料で適切な公教育を受ける権利があります。すべての学校区は、このような生徒を援助するためのリエゾン担当者を使命しなければなりません。学校区のホームレス青年リエゾンは、Family Welcome Enrollment Center (310)972-6280 を通して連絡をとることができます。

ホームレス生徒は、誕生時（Early Head StartプログラムとHead Startプログラム）から22才（特殊教育生徒）までで、固定した、定期的で適切な夜間の居住地をもたない生徒と定義され、一時的に以下の状況にある生徒も含まれます：緊急シェルターや仮住まいシェルター；放棄された建物、駐車した車両、またはその他の、人が寝るための通常の施設ではない施設に住んでいる、経済的困難（失業、立ち退き、または自然災害が原因など）のために住居を失い、別の家族と同居している、ホテルまたはモーテルに住んでいる、トレーラー・パークまたはキャンプ場に家族と住んでいる、病院に置き去りにされた、ほかに住むところがないため、学齢で未婚の母または妊婦のためのホームに住んでいる；放棄された、家出した、あるいは、家を追い出された青年または季節労働者の青年で、上記にあてはまる状況で住んでいるためにホームレスとしての資格がある。

ホームレス児童教育; ファイナンシャル・エイドに応募する権利 (続き)

ホームレスの生徒には以下の権利があります:

- 元の学校か現在の居住地の学校に行く権利。元の学校とは、生徒が直近に家があったときに在籍していた、あるいは、過去(15)ヶ月に在籍した学校と定義されます;そして、ホームレスを経験している間、同学年の生徒と共に進級する権利
- 学校の選択または登録に関して論争が起きた場合は、保護者は、Family Welcome and Enrollment Centerの学校区ホームレス・リエゾン担当者に連絡をとり、学校区の論争解決方針に従うことにより、学校の決定に異議を唱える権利があります
- 即時の学校登録。これは、「クラスに出席し、学校活動に完全に参加すること」と定義されています。学校は、通常は義務付けられている、学校記録や予防接種記録、あるいはその他の書類がないことを理由に、生徒の登録を遅らせたり拒否したりすることはできません
- 生徒が受ける資格があるプログラムやサービスについて保護者に案内することは、学校区ホームレス・リエゾン担当者の責任です。このような案内には以下が含まれますが、これに限るものではありません: 栄養、特殊教育サービス、個人指導、英語学習生プログラム、才能のある生徒のための教育 (GATE) プログラム、プレスクール、始業前や放課後のサービス、あるいは、学校や学校区により提供されるその他のプログラム
- 学校区は、保護者/単身青年の要請により、可能であれば、元の学校への通学手段が提供されることを確かにしなければならず、地域の児童福祉機関の同意がある場合を除き、通学手段の経費の一部またはすべてを学校区が負担します
- 単身青年; 子供をもつティーンで保護者と住んでいない、または、家出をした、あるいは家から追い出された生徒にも、これと同じ権利があります
- ホームレスの生徒でハイスクールの2年目以降に転入し、単位が大幅に不足していて、学校区の定めた卒業条件に従うと4年で卒業できない場合、縮小された州の要件で卒業することが可能です
- 学校区は、十分な成績で修了したコースに対して部分的単位を与え、認めることが義務付けられています
- ホームレス状態にある生徒には、ハイスクール卒業後の教育を受けるためのファイナンシャル・エイドを申請する権利があります。

健康関連の告知:

傷害/健康保険

生徒の安全は、我々の最大の関心事のひとつです。それでも、事故は起こりますし、医療手当て (救急車での搬送、手術、入院等) は高額となり得ます。トランス統一学校区は、これらの費用を負担する責任を負わないということをご承知願います。しかしながら、皆様とお子さんの便宜上、お子さんの学校は、何千校も他の学校と同様に、生徒のための、低価格の傷害/健康保険プログラムを自主購入する手段を提供しています。このプログラムは、この分野を対象とした保険に40年の経験があるMyers-Stevens & Toohey & Co., Inc が取り扱っています。詳細と申し込み用紙は、学校で入手できるパンフレットに記載されています。注意してお読みください。

いくつかのプランが提供されており、一学校年度の料金は約 \$ 16 (Dental Accident Plan) から始まります。補償範囲を学校関連の傷害 (スポーツを含む) のみに限定することができ、また週 7 日 / 2 4 時間の補償を選択することもできます。加えて Student Health Care Plan (お子さんが他の健康保険に加入していない場合、このプランをお勧めします) と、ご家族全員に対する pharmacy discount program (薬剤割引プログラム) が提供されています。現在お子さんが保険に加入していない、あるいは他の保険の「補償が無い部分を埋める」など皆様のニーズに合った選択を見つけることができるとことと思います。州法により、学校対抗競技に参加する生徒は、医療保険に加入している必要があります。

どの医師あるいはどの病院でも医療を受けることができる上、割引料金がある医療機関の幅広いネットワークへのアクセスもあります。お子さんが手術や入院を必要とする場合には特に、契約医療機関で治療を探せばさらに費用負担額を減らすことができますでしょう。

ご加入は、加入申込用紙に必要事項を記入、ご希望のプランを選択し、小切手、マネーオーダーあるいはクレジットカードで保険料金の支払いを同封し、指定の宛先にお送りください。お子さんはいつでも加入できますが、選択したプランを最大限に生かすために早期に加入を考慮されることをお勧めします。加入申込書は学校で入手可能です。また、オンラインでも加入できます

<https://www.myers-stevens.com/enrollment-page/>

註 - 加入手続きが完了後、補償を確認するIDカードがご自宅に届きます。多くの保護者がより高い補償範囲限度に関心を示されるため、最高5年間、最高 \$ 500,000 / 傷害まで補償される、新しく出来た Supplemental Catastrophic Injury Plan に関する情報も同時にお手元に届きます。

ご質問は、Myers-Stevens & Toohey へ、(800) 827-4695にお電話ください。英語以外の言語でのサポートが必要な方には、バイリンガル担当者がお手伝いいたします。

HSC§124241 - カリフォルニア青少年フットボール法

州法の下で、6-12年生でフットボールの試合に参加する生徒には、自校でのホームゲームでも他校でのアウェイゲームでも、試合中に、免許をもった医療専門家がいることが義務付けられています。これには、体育のクラスや、ミドルスクールまたはハイスクールで提供される課外活動以外の、フットボール校内試合は含まれません。

EC§49475 - 脳震とうおよび頭部のけが

脳震とうとは、頭部を打ったり強い振動を受ける、あるいは、頭以外の部分に受けた衝撃が頭部に伝わることによって起こる脳損傷です。脳震とうは、ほとんどの場合が軽いケースですが、すべての脳震とうは、重傷である可能性があり、認識して適切に処置をしなければ、長期にわたる脳障害や死を含む合併症につながる可能性があります。スポーツプログラムを提供することを選択している学校区、チャータースクール（特別認可校）、または私立学校は、活動中に脳震とうまたは頭部のけがをしたと思われる生徒は、学校が提供するそのスポーツ活動から直ちに退去させ、その日は活動に戻さないようにしなければなりません。その生徒は、認可された医療専門家の診断を受け、その医療専門家の書面による許可を受けるまで、運動活動に戻ることはできません。認可された医療専門家が、その選手が脳震とうまたは頭部のけがをしていると判断した場合、その選手は医療専門家の監督のもと、7日以上段階的な復帰プロトコールに従わなくてはなりません。

1年に1度、最初の練習または競技会までに、脳震とうおよび頭部のけがに関する情報シートに、スポーツをする生徒と保護者が署名して提出することが義務付けられています。この規定は、通常の授業時間内または体育の授業の一環として運動をする生徒には適用されません。

EC§46010.1 - 内密の医療サービス

学校の権威者は、保護者の承認なしに内密で医療サービスを受ける目的で、7-12年生の生徒に対し、欠席を認めることができません。

EC§49476 - 規制薬物：オピオイド

学校区または特別認可校は毎年、スポーツ活動に参加する生徒に対し、処方箋オピオイドに関する具体的な情報用紙を提供しなければなりません（セクション5の例を参照）。学校の権威者は、スポーツ参加者に対し、毎年、オピオイド使用の危険性と副作用に関する情報を提供しなければなりません。保護者とスポーツに参加する生徒は毎年、この書類を受け取ったことを示す署名をしなければなりません。

糖尿病(2型)に関する情報

2010年7月1日より、カリフォルニア教育規定第49452.7項により、学校区は、2型糖尿病について保護者に情報を提供することが義務付けられています。疾病管理センター（CDC）によると、2000年以降に生まれた子供の3人に1人が生涯に2型糖尿病を発症すると推定されています。2型糖尿病は、体がエネルギーを得るために糖（グルコース）を使う能力に影響します。インシュリンは、グルコースまたは糖を体内の細胞に「運ぶ」のを助けるために使われるホルモンです。2型糖尿病では、膵臓で作られるインシュリンに体が抵抗し、その結果、過剰分泌につながり、時間の経過とともに、膵臓がインシュリンをまったく分泌しなくなってしまうことがあります。数年前までは2型糖尿病は子供が発症することはまれでしたが、近年増加しており、特に肥満のティーンエイジャーへの発症がめだっています。

危険因子には、肥満、家族に糖尿病の人がいる、運動不足、特定の人種/民族グループ、思春期などが含まれます。2型糖尿病の危険因子や危険信号が見られる、あるいは本人が気づいた場合は、スクリーニング（テスト）を受けることが勧められます。危険信号には、食欲増加、説明できない体重減少、口やのどの渇き、頻尿、疲労感、視覚のぼやけ、傷がなおりにくい、女子では生理不順や顔の多毛、高血圧または血中脂質値異常などがあげられます。さらに、黒色表皮症（AN）も危険信号のひとつです。これは皮膚の部分的変色で、特に首のうしろ、脇下、指の関節などに見られ、黒っぽく、おうとつがある場合とない場合があります。ANは、インシュリン抵抗と高インシュリン値の表れである可能性があります。

トランス統一学校区の看護師は引き続き、生徒との触れ合いおよび定期的なスクリーニングのときに、黒色表皮症やその他の危険信号や症状に注意していきます。お子さんに、ANやその他の2型糖尿病の危険信号が見られた場合、医師の診察を受けることを勧める通知が学校看護師より送られます。健康的な生活をおくることは、2型糖尿病の予防と治療の助けとなります。低脂肪、低カロリーの食品を選び、適切な体重を維持し、毎日最低60分は運動するようにすることは、この病気の予防、治療の助けとなります。食事療法と運動をしても十分な効果がない場合は、治療薬を医師に処方してもらうことが必要となるかもしれません。

カリフォルニア教育局からの正式で詳しい情報は、www.cde.ca.gov/ls/he/hn/type2diabetes.aspでご覧ください。ご質問、ご懸念がありましたら、学校区看護師または医師におたずね下さい。

EC§49414 - アナフィラキシーの緊急治療

アナフィラキシーとは、食品、医薬品、虫さされ、ラテックスまたは運動といった、アレルギーを引き起こすものに遭遇したあとに起こることがある、重大な場合によっては命にかかわるアレルギー反応です。症状としては、気道の狭窄、発疹やじんましん、吐き気や嘔吐、脈拍低下、めまいなどがあげられます。アナフィラキシー反応の約25%は、それまでに食品やその他のアレルギーの診断を受けたことのない生徒に、就学時間中に起こるとされています。エピネフリンを直ちに投与し、緊急医療サービスに連絡をしなかった場合、死に至ることもあります。症状を認識し、早急に対処することが命を救うことにつながります。最近のEC49414への変更により、学校区は、学校看護師および訓練を受けた職員にエピネフリン自動注射を提供し、アナフィラキシーの症状を起こしている生徒に、アレルギー経歴のあるなしに関わらず、エピネフリン自動注射を使用することを許可することが義務付けられています。

HSC§124085; 124100; 124105 - 入学時健康検査

州の法律により、生徒の保護者は、1年生に入ってから90日以内に、その生徒が過去18ヶ月以内に、医師による健康診断を受けたことを証明する書類を提出することが義務付けられています。これに従わなかった、あるいは、免除を提供しなかった場合は、生徒は最大5日間学校から排除されることがあります。条件を満たす生徒は、Child Health Disabilities Prevention Program (児童健康障害防止プログラム) を通して、無料で健康診断を受けることができます。

EC§49452.9 健康保険

この項により、公立学校は、2021年1月1日まで、健康保険のオプションと加入手続き援助についての情報を保護者に提供するために、登録書類に情報項目を追加するか、現存の登録用紙を改正することが義務付けられています。学校は、子供と家族のための低価格健康保険のオプションに関する基本的な情報を説明したファクト・シートを登録書類に含めることもできます。

お子さんと家族は、無料または低価格の健康保険に入る資格があるかもしれません。健康保険のオプションと加入手続き援助に関する詳しい情報については、Covered California (800) 300-1506に直接連絡するか、www.CoveredCA.comをご覧ください。さらに、カリフォルニアの法律により、19才未満の低所得家庭の子供は、在留資格に関わらず、年度内のいつでもMedi-Calに加入することができます。家族は、地方の郡人事サービス事務局に直接出向くか、電話、オンライン、申請書の郵送、または地域のヘルス・センターで申請することができます。Medi-calへの加入に関する詳しい情報はwww.health4allkids.orgで見ることができます。

EC§32221.5 - スポーツ選手のための健康保険

州の法律の下、学校区は学校のスポーツチームのすべてのメンバーが、医療費および病院費用をカバーする傷害保険に入っていることを確かにする義務があります。この保健に関する要件は、学校区が、医療費および病院費用をカバーする健康保険またはその他の健康に関する福利厚生プログラムを提供することにより満たすことができます。生徒によっては、無料または低価格の州または連邦政府が出資している健康保険プログラムへの参加資格がある場合があります。このようなプログラムに関する情報に関しては、(800)300-1506にお問い合わせください。

EC§49452-49455 - 健康に関する検査

以下の検査が、学年度中に、資格をもった学校看護師によって無料で実施されます：

- 視力：キンダー、2、5、8、10年生（色覚検査は1年生男子）
- 聴力：キンダー、2、5、8、10年生

すべての検査は、その家庭の宗教的信念に反する場合を除き、義務付けられています。このような宗教的信念がある場合は、それを書面で説明したものを学校の保健室に提出してください。

生徒の保護者が希望する場合、医師、外科医、医師助手、検眼医、または聴力検査医（聴力の場合）から、視力と色覚を含む、聴力と視力の検査結果を記載した証明書を提示することにより、検査を免除されることができます。

HSC§120325; 120335; 120365; 120370;120375; EC§§49403; 48216 - 予防接種

生徒は特定の伝染病に対する予防接種を受けていなければなりません。これらの予防接種には、ジフテリア、インフルエンザ菌b型、B型肝炎、麻疹、おたふく風邪、百日咳、ポリオウィルス感染症、風疹、破傷風、および水痘（みずぼうそう）が含まれます。生徒は、各年齢と学年に合った予防接種の条件を満たしていなければ、学校に行くことができません。学校区は、地域の保健事務局と協力して、学齢児童に対する伝染病の予防と管理に必要な手段をとらなければなりません。

州法は児童が通学を始める前に以下の予防接種を受けることを義務付けています：

- (a) トーランス統一学校区に新規通学するトランジショナル・キンダーガーデンから12年生の生徒は全員、ポリオ、ジフテリア、百日咳、破傷風、麻疹、おたふく風邪、風疹、B型肝炎および水痘の予防接種証明を提出しなくてはならない。
- (b) 7年生の生徒は全員、2回目水痘の予防接種および百日咳の追加接種（Tdap）の証明も提出しなくてはならない。

以下の場所で、無料または低価格で予防接種を受けることができます：

MLK JR. Center for Public Health 詳細は、(310)354-2300または(323)568-8100に電話をするか、以下のリンクをご覧ください：
<http://publichealth.lacounty.gov/chs/NurseClinic.pdf>

Partners for Healthy Kids Mobile Medical Clinic 毎月第2火曜日に学校区事務局で利用できます。詳しい情報と予約は、(424)210-7024までお電話ください。

その他のクリニックの場所と月別日程表については、以下をご覧ください。

https://s3-us-west-2.amazonaws.com/images.provhealth.org/Providence-Images/PFHK_Calendar.pdf

予防接種（続き）

- 在宅教育私立校の児童、または、TUSD以外のインディペンデント・スタディ・プログラムに入っている生徒で、教室での指導を受けない生徒に関しては、予防接種は義務付けられていません。しかし、保護者は、生徒の予防接種記録を学校に引き続き提供しなければなりません。予防接種の条件が理由で、生徒が個別教育プログラムで決められた特殊教育や関連サービスを受けられなくなることはありません。
- 2016年1月1日より、いかなる学校の生徒の保護者も、現在義務付けられている予防接種に関して、個人的信念に基づく免除申請を提出することはできなくなります。2016年1月1日より前に学校に提出された個人的信念に基づく免除は、その生徒が7年生で、次の学年幅に進級するまで引き続き有効です。
- 2020年1月1日以前に学校で申請された医療免除は、生徒が次の学年幅に進級するまで有効です。2020年1月1日以前に発行された医療免除は、カリフォルニア州医師会またはカリフォルニア州整体師会から懲戒処分を受けている医師または外科医によって発行されたものでない限り、取り消されることはありません。

2021年1月1日以降、CAIR-ME (<https://cair.cdph.ca.gov/exemptions/home>) を通じて申請された予防接種の医学的免除のみが受理されます。医療免除は、カリフォルニア州医師会またはカリフォルニア州整体師会から懲戒処分を受けている医師または外科医によって発行されたものでない限り、取り消されることはありません。医学的免除が取り消された場合、子供は出席を続けることができます。ただし、登校を続けるためには、取り消してから暦上30日以内に、条件付き登校許可で決められた、予防接種のスケジュールを始めなければなりません。ただし、その30日以内に不服申し立てが提出された場合は例外で、その場合は、出席を継続することができ、不服申し立てが支持されない限り、また、支持されるまでは、予防接種の義務に従う必要はありません。生徒の予防接種の医学的免除に関する情報は、以下からも入手できます：<http://www.shotsforschool.org>

完全に予防接種条件を満たしていない生徒は、その生徒が特定の病気にさらされ、予防接種証明の書類で、上記の伝染病の1つに対する予防接種証明がみられない場合、一時的に学校またはその他の機関から排除されることがあります。

EC§48206.3; 48207; 48208 - 一時的障害をもつ生徒への指導

一時的な障害をもつ生徒で、通常の授業、または、生徒が入っている代替的教育プログラムへの出席が不可能である、あるいは勧められない場合は、生徒の家庭での個人指導を1日に1時間受けることができます。詳しいことに関しては(310)972-6117までお問い合わせください。

一次的な障害があり、病院（州立病院を除く）またはその他の入院施設に滞在する生徒は、その病院が所属する学区の学校に行くための居住地要件を満たすと見なされます。病院またはその他の入院施設が所属する学区に対し、一時的障害がある生徒がいることを通知することは、保護者の責任です。学区は通知を受け次第、5就業日以内に、その生徒がEC 48206.3に従い個別指導を受けることができるかを判断し、受けることができると判断された場合は、5就業日以内に指導を提供します。一時的障害のある生徒は、居住地に基づく学区または特別認可校に残って、入院していないときは通常クラスに参加することができますが、両方の学校環境での合計指導日が5日を超えることはなく、出席は重複がないものとします。必要であれば、一時的な医師の指示に基づき、居住地に基づく学区は、病院で指導を受けていない日に、家庭で指導を提供することができます。学校出席監督者は、その生徒が通常の学校プログラムに戻るまで、通常学校プログラムの欠席が免除されることを確かにしなければなりません。生徒の病気が不治の病である場合は、通常の卒業証書（ディプロマ）とは明確に区別された、ハイスクール名誉ディプロマが、居住地の教育理事会、郡教育局または特別認可校より授与されることができます。

EC§222 - 授乳中の生徒

授乳中の生徒には、プライバシーが保護された安全な部屋で、十分な時間、母乳を搾乳するニーズに対処することが許され、電源へのアクセス、および搾乳した母乳を安全に保管する場所が提供されます。この項が順守されていない場合は、ローカルレベルの教育機関に苦情を申し立てることができ、苦情を申し立てた後も法に従った配慮がなされない場合は、生徒は、以下のウェブサイトより、カリフォルニア教育局に報告することができます：
<http://www.cde.ca.gov/re/cp/uc>

EC§49472 - 提供されない医療および病院サービス

トランス統一学校区は、学校活動、学校への出席またはスポーツ活動に関する事故でけがをした生徒のための医療サービスまたは病院のサービスは提供しません。

HSC§120440 - 医療記録の共有

生徒の医療記録からの情報を予防接種システムに提供する予定の学校区は、以下のことを生徒または保護者に知らせる義務があります。

1. 医療的情報は、地域の保健局および州保健サービス局と共有されることがある
2. 学校が情報を共有する、州保健サービス局または予防接種登録システムの名前と住所
3. 地域の保健局および州保健サービス局と共有される情報は極秘に扱われ、お互いの共有、および、要請があれば、医療提供機関、学校、チャイルドケア施設、自宅を利用したチャイルドケア、WICサービス提供者、郡福祉局、フォスターケア機関、および保険会社とのみ共有される
4. 同様に、各プロバイダー、機関、施設は、共有された情報を極秘として扱い、特定された目的でのみ使用する
5. 生徒または保護者は、このように共有された予防接種関連の情報を検証し、間違いがあれば、訂正する権利がある
6. 生徒または保護者は、この情報が上記のように共有されること、あるいは、予防接種を催促する通知を受け取ること、またはその両方を拒否することができる。
7. 拒否した後も、医師は、患者ケアまたは市民の健康を守るために、この情報へのアクセスを維持することができる。拒否した後も、地域の保健局および州保健サービス局は、市民の健康を守るために、この情報へのアクセスを維持することができる

注：生徒または保護者は、記録の共有を許すことを拒否することができます。通知は、通常郵便によって提供することができます、返却フォームや連絡席電話番号など、拒否するための合理的手段が含まれなければなりません。

医療的情報の守秘義務に関する法律-CC56.10

学校連携サービスコーディネーターは、連邦健康保険要件に準拠した医療情報にアクセスできる。コーディネーターは、学校看護師、結婚・家族セラピスト、教育心理士、臨床カウンセラーの資格を有し、守秘義務を果たさなければならない。

EC§49423; 49423.1; 49480 - 医薬品投薬計画および処方薬投薬

定期的に医薬品を服用する生徒の保護者は、学校看護師あるいは保健サービスアシスタントに、服用している医薬品、現在の服用量、管理医師名を知らせなければなりません。親または法的保護者の同意をもって、学校看護師は該当の医師に連絡をとることができ、医薬品が生徒の身体的、知的、社会的行動に与える可能性がある影響、そして、副作用、服用しなかった、または過度の服用を示す可能性のある行動的兆候や症状について学校職員に助言することができます。

通常の就学時間内に医師に処方された薬を投薬する必要がある生徒は、学校看護師またはその他の指名された学校職員の介助を受ける事ができます。学校看護師またはその他の指名された学校職員が、薬を投薬する必要がある生徒を介助するには、学校区は、薬の名前、投薬方法、服用量、服用時間の詳細を記載した医師の指示書、そして、その医師の指示書に従って学校区が生徒を補助することを要請する保護者からの書簡を受け取ってなければなりません。生徒は、投薬に関する方法、服用量、服用時間の詳細を記載した医師の指示書、そして、生徒が自己投与をするように要請する保護者からの書簡の両方を学校区が受け取っていれば、自動注射可能なエピネフリンもしくは吸入式喘息薬を携帯し自身で投与することができます。すべての要請は、学校看護師によって承認されなければなりません。書簡は最低でも年に1度、薬、用量、頻度、または服用理由に変更がある場合はより頻繁に提供されなければなりません。

EC§215; 49428 - メンタルヘルスと自殺防止

トーランス統一学校区では、生徒の安全と精神面の衛生は最優先とすることです。TUSDは、この2つについての防止と介入において努力をし、いくつかの包括的な対策をとっています。トーランス学校区では、カリフォルニア教育局の自殺防止方針のモデルに従い、生徒の自殺防止に関する方針を採択しました。生徒の自殺率は、学校関係者全員にとって懸念すべきものとなっています。学校区は、カリフォルニア州法により、年齢に応じた自殺防止教育を全生徒に提供することが義務付けられています (AB1767&2246)。

小学校とミドルスクールでも、生徒に必要な社会情緒的スキルを教えるために、社会情緒面学習カリキュラム を実施しています。Signs of Suicide (自殺の兆候) プログラムは、ミドルスクールとハイスクールで、うつや自殺の警告兆候を教え、自分自身や友達にそのような兆候が見られたときに、助けを求めることを促すよう指導するものです。ミドルスクールとハイスクールの全校において、生徒が誰かに相談する必要があると感じたときのために、生徒IDの裏面にホットラインの電話番号が記載されています。以下の電話番号が含まれます: 全国自殺防止ホットライン (800)273-TALK; 危機時テキストライン: 741741 "Home"とテキストを送る;自殺防止危機ライン1-877-727-4747; トレバー・ホットライン(866) 488-7386。生徒の安全と危機防止対策に関して引き続きの努力の一環として、Sandy Hook Promise Foundationと提携してSay Something Anonymous Reporting System (SS-ARS) (匿名報告システム)を提供しています。SS-ARSは、自己または他者に危害の恐れがあるときに、訓練を受けたカウンセラーが対応する危機時ラインに生徒や家族が週7日、1日24時間、匿名でいつでもアクセスすることができるものです。

さらに援助が必要な生徒のために、TUSDでは、社会情緒面、およびメンタルヘルスにおける多くのサポートを提供しています。カウンセラー、心理士、セラピスト、そして、メンタルヘルス関係のインターン (ソーシャルワークの修士、結婚・家族セラピーの修士、学校カウンセラーまたは学校心理士のインターン) がTUSD全般に配置されており、生徒の相談を受けています。

TUSDはまた、高次元のメンタルヘルス・サービスを必要とする、あるいは、学校外でのメンタルヘルス・サポートを希望する生徒のために、多くのコミュニティベースのメンタルヘルス機関とも提携しています。

保護者やその他生徒に関わっている者は、caresolace.com/torranceparents から直接Care Solaceを通じて、または、weserve@caresolace.orgにEメールを送ることでメンタルヘルスや薬物使用に関するサポートを受けることができます。カウンセリングまたはメンタルヘルスのサービスへのアクセスに関して援助が必要な場合は、生徒または保護者は、学校カウンセラーにご相談ください。

EC§49452.8 - 口腔衛生検診

歯科専門医によって実施された歯科検診の記録が、公立学校に始めて入るキンダーと1年生の生徒すべてに義務付けられています。歯科検診は、入学前12ヶ月以内、あるいは、生徒の初年度の5月31日までに実施されなければなりません。

EC§49451; 20 USC 1232h - 身体検査

保護者は毎年、保護者の署名入りの書類を提出することで、生徒の身体検査への同意を保留することができます。しかし、生徒がなんらかの伝染性または感染性の病気にかかっている可能性を示す十分な理由がある場合、その生徒は帰宅させられ、伝染性または感染性の病気がないと学校が確認するまで、学校に来ることは許されません。

EC§221.51; 222.5; 46015; 48205; & 48980 - 妊娠中および育児中の生徒

トーランス統一学校区は、妊娠中の10代の母親と父親に対し、性別に関わらず、同じように配慮を提供します。10代で親となった生徒は、妊娠、出産、想像妊娠、妊娠中絶、あるいは分娩後の回復という理由のみで、どのようなクラスからも課外活動からも除外されることはないものとします。身体的および精神的に、活動を続けることが可能かどうかは、医師またはナース・プラクティショナーのみが判断できます。妊娠中あるいは育児中の生徒は、個人的に選択した場合を除き、未成年妊娠者プログラムまたはその代替的プログラムへの参加を求められることはないものとします。親としての権利は、学校区の通常の生徒全員に提供されるのと同じように、年次告知またはセメスターの告知、歓迎資料パケット、オリエンテーション、オンラインまたは印刷物、またはインディペンデント・スタディのパケットの中で、オプションとして入れることができます。出産準備、10代で親となった生徒の産後の精神的および身体的な健康のニーズのケア、そして、新生児との絆を築くため、あるいは新生児または親を守るための医療的に認められたその他の時間として、8週間の育児休暇が認められます。それ以上の時間は、医学的に必要とみなされた場合、医師またはナース・プラクティショナーの処方箋により認められます。妊娠中、育児中の生徒は、与えられる育児休暇をすべて、あるいは部分的にでも、とらなければならないという義務はありません。育児休暇は学校区の出席部監督者により、正当な理由のある欠席として、インディペンデント・スタディに似た特異なコードにより認定されます。しかし、休暇中に学習課題は課されません。学校に戻ってきたら、親となった生徒は、休暇前にとっていたクラスに戻ることができます。休暇前と同様にすべての活動に完全参加する機会を達成するよう、学校カウンセラーまたは管理者と、補習計画と再登録について相談していきます。育児中の生徒は、卒業要件達成見込みがあり、必要であれば、5年目に登録することができます。育児中の生徒が代替的学習環境に入っている場合は、卒業するのに必要であれば、その環境に戻れる配慮がなされます。このような特別配慮を利用したことにより、生徒が学習上のペナルティを課されることはないものとします。育児中で養育権のある生徒は、子供が病気のときは医師の手紙を提出する義務はありません;子供の母親または父親の欠席は、出席管理者により、正当な理由の欠席とみなされます。

EC§33479 et seq - 突然の心臓停止

突然の心臓停止 (SCA) は、突然、思いがけなく心臓が止まることです。これが起きると、脳やその他の重要臓器への血液の流れが止まります。SCAは心臓発作ではありません；心臓の電気システムの機能不全で、犠牲者は倒れます。この機能不全は、心臓構造の先天的または遺伝的な異常によって起きます。SCAは、運動やスポーツ活動の間に起きやすいため、スポーツ選手はリスクが高くなります。スポーツ選手に症状が出た場合、明確でなく、混乱しやすいことがあります。多くの場合、このような警告サインを身体的疲労とみなしてしまいます。

数分以内に適切な処置をしないと、SCAは92パーセントの場合、死に至ります。スポーツ活動を実施する学校区、チャーター・スクール、または私立校において、スポーツ活動ディレクター、コーチ、トレーナー、または認可を受けた者は、スポーツ活動参加中あるいはそのすぐあとに、生徒が倒れたか気を失った、あるいは、倒れたか気を失ったことがわかっている場合は、その生徒にその活動から退場させなければなりません。スポーツ活動中にSCAのその他の症状があった生徒は、トレーナーまたは認可を受けた者が、その症状が心臓に関連していると合理的に信じた場合、その生徒を退場させることができます。活動の場を退場した生徒は、医師または外科医の診断を受け、書面による運動許可書を得るまで、その活動に戻ることはできません。通常授業時間中あるいは体育授業の一環として行われるもの以外の特定の種類のスポーツ活動に生徒が参加する場合、一年ごとに、SCAに関しての情報の受領と見直しの確認書に生徒と保護者が署名し、それが提出されなければなりません。

生徒サービスに関する告知:

EC§58501 - 代替学校

代替学校の通知

リフォルニア州法は、全学校区に代替学校を提供することを認可しています。教育規定第58500項は代替学校を、下記を実現するように運営される、学校内の学校または別設のクラスグループとして定義しています:

- (a) 自己信頼、主導力、親切、自発性、リソースを活用する力、勇気、創造力、責任感、喜びといった前向きな価値感を生徒が形成する機会を最大限に増やす。
- (b) 生徒が学習したいという意思に従って学習するとき、最良の学習ができることを認識する。
- (c) 生徒自身の動機を最大限にし、生徒が自分の時間に自身の興味に従うよう奨励するような学習環境を保つ。このような興味の対象は、生徒自身により完全にまた個人的に思いついたものでもよいし、あるいは生徒の教師が学習プロジェクトとして選んで提示したものから全面的または部分的に得たものでもよい。
- (d) 教師、保護者、生徒が協力して、学習過程と課題を構築する機会を最大限に増やす。このような機会は継続的、永続的過程でなければならない。
- (e) 生徒、教師、保護者が学校のあるコミュニティも含め、世界の変化に絶え間なく対応する機会を最大限に増やす。

保護者、生徒、または教師が代替学校を考慮するにあたり、より詳細な情報に興味がある場合に備えて、郡学校教育委員長、当学校区管理事務所、通学する各学校校長室には、法的資料が皆様への情報としておいてあります。この法は特に、興味をもつ者が各学校区の管理審議会に、学校区に代替学校プログラムを設立するよう要望することを許可しています。

出席:

トランス統一学校区では、保護者の皆様に、子供を学校に毎日通わせ、医療やその他のアポイントメントは、できるだけ、放課後または学校が休みのときにとるように勧めています。また、旅行などによる欠席は、学期中はできるだけ避けるようにしていただくことをお願いいたします。学校区の毎日の出席率が高いほど、学習能率が高まり、授業やアカデミックプログラムのために学校区が州から受ける資金も増えます。学校カレンダーは、伝統的な祝日を利用して旅行などを計画されるご家族への問題を最小限にし、結果として生徒の欠席を最小限に抑えるように作成されています。

欠席届

欠席をした場合は、再登校の際に、理由を書いた欠席届を学校に提出しなければなりません。病気、医療および歯科のアポイントメントによる欠席は正当な理由のある欠席とされます。書面による欠席届が提出されない場合は、正当な理由のない欠席として記録されます。

EC§48263; 48264 - 不登校生の逮捕/出席審理委員会

学校出席監督者、管理者または被指名人、保安官または保護監察官は、学校就業時間に、郡、市、または学校区内で、家から離れて、学校を休んでいる未成年者を逮捕あるいは一時的に保護することができます。常習的不登校である生徒は、学校出席審理委員会 (SARB) に委託されることがあります。

EC§60901 - 常習的欠席

学校出席監督者、管理者または被指名人、保安官または保護監察官は、学校就業時間に、郡、市、または学校区内で、家から離れて、学校を休んでいる未成年者を逮捕あるいは一時的に保護することができます。常習的不登校である生徒は、学校出席審理委員会（SARB）に委託されることがあります。

EC§§46014; 48205 - 正当な理由による欠席

生徒は、保護者の書面による欠席届を提出することで、宗教的な儀式に参加したり、道徳的あるいは宗教的指導を受けるために、正当な理由の欠席を認められます。

正当な理由で欠席をした場合、欠席の間の課題やテストを、合理的な時間内に十分な成績で完了すれば、成績を下げられたり、単位を落とされることはないものとします。

(a) 第48200項にかかわらず、生徒は以下の理由により欠席した場合、正当な理由による欠席とみなされます:

- 1) 本人が病気であるため。これには生徒のメンタルまたは行動面の健康のための欠席も含まれる。
- 2) 郡または市の健康係官の指示による自己隔離のため。
- 3) 指示された医療、歯科、検眼、カイロプラクティックサービスを受診する目的。
- 4) 生徒の肉親家族の葬儀に参列する目的。欠席期間は、葬儀がカリフォルニア州内で行われる場合一日、州外の場合は三日以内とする。
- 5) 法に従って陪審義務を遂行する目的。
- 6) 生徒が親権者である児童の病気、あるいは就学時間中に児童の医療機関の予約があるため。
- 7) 理事会で設定された統一的な標準に従い、生徒の欠席を保護者が文書で申請し、校長または指名された担当者が認めた場合、裁判所への出廷、葬儀への参列、本人の宗教の祝日を祝うあるいは儀式に参加、宗教的修養および雇用カンファレンスへの参加、もしくは非営利団体により提供された、立法上もしくは司法手続き上の教育カンファレンスへの参加、を含みこれに限らず、正当な個人的理由。
- 8) 選挙法第12302項に従い、選挙区委員会のメンバーとして奉仕する目的。
- 9) 肉親がEC § 49701の定義に従う現役の軍隊員で、戦闘地域または戦闘支援拠点へに召集された、任務休暇中である、あるいは、帰還したばかりである場合に、その肉親といっしょの時間を過ごすため。この段落に従って認められる欠席期間は、学区の教育長の裁量により決定されます。
- 10) 生徒がアメリカ合衆国の市民となるための帰化の儀式に参加するため。
- 11) 文化的な儀式または行事に参加する目的。
- 12) 第48260項の下位項目(c)の規定に従い、学校管理者の判断により認可された。

(b) この項の下に学校を欠席した生徒は、欠席中に逃した全ての課題やテストを受けることが許されなければならない、それらが適切に提供され、また合理的な時間内で十分にやり遂げられた場合は、全単位が与えられなければならない。生徒が欠席したクラスの教師は、どのテストや課題が、生徒が欠席中に逃したテストや課題に合理的に同等であるかを決定しなければならない。但し同一である必要はありません。

(c) この項の目的として、宗教的修養への参加は各セメスター4時間を越えてはなりません。

(d) この項に従う欠席は、平均日割り出席人数の計算上は欠席とみなされ、州から交付される助成金の対象とはなりません。

(e) この項で使われている「肉親家族」とは、親または法的保護者、兄弟姉妹、祖父母、あるいは、家庭で生徒と一緒に住む、その他の親戚または世話提供者を意味します。

遅刻

児童は、よい習慣づけの一部として、時間を守ることを奨励されるべきです。学校には時間どおりに登校することが期待されます。遅れる場合は、理由を書いた手紙を家庭から学校事務所に持参してください。正当な理由なしに30分を超える遅刻または欠席が1学年度に3回以上あった場合は不登校（truant）とされます。

EC§48260; 48262; 48263.6 - 不登校（Truancy）の定義

生徒は、欠席3回または30分以上の遅刻が3回、またはその組み合わせがあり、それらの欠席や遅刻に正当な理由がない場合に不登校とみなされます。1学年度に3回以上不登校が報告され、学区が家族と話し合う努力をした場合、生徒は常習的不登校とみなされます。生徒は1学年度で、登録日から当日までに10%以上正当な理由なく欠席した場合、慢性的不登校とみなされます。正当な理由のない欠席とは、EC§48205に当てはまらないすべての欠席をさします。

EC§48263; 48267 et seq; WIC§236; 601; 601.3; 653.5; 654; 651.5 -不登校の影響

「不登校」と識別された生徒は、利用可能なコミュニティのリソースを使っても不登校の問題が解決されない場合、保護観察官または地方検事代理により、被後見人とされることがあります。

トーランス統一学校区における通学選択肢

トーランス統一学校区では現在、キンダーガーデン（トランジショナル・キンダーガーデンを含む）と1年生から12年生に入学した生徒に、総合的な教育プログラムを提供しています。これらのプログラムは法定通学選択肢に従い、人数を限定して、学校区外に居住する生徒が利用することができます。以下に説明する追加的な通学選択肢は人数を限定して、生徒が利用することができます。

EC§48200; 48204; 48204 - 居住要件

6歳から18歳までの未成年者には義務教育が課されており、免除されている場合を除き、親または法的保護者の居住地の学校区内の学校に通わなければなりません。

生徒は代替的に、以下の条件のいずれかを満たす場合、ある学校区に在籍するための居住地要件を満たすことができます：福祉と福祉施設に関する規定のもとで、斡旋義務に従い、その学校区内に住む里親のもと、または認可された児童施設に住んでいる；里親のもとで暮らしているが、もともと通っている学校に残る；独立した生徒で、その学校区の境界内に住んでいる；学校区の境界内に住む成人後見人と暮らしている；または学校区の境界内にある州立病院に居住している；または、保護者が軍務についていて、正式な軍事命令に従い、州内の軍事施設に異動する、または異動が決まっている。

学校区の生徒が利用できる現在の法定通学選択肢と学校区レベルの通学選択肢は以下の通りです：

EC§35160.5(b) - オープン・エンrollment: 現在トーランス統一学校区の校区内に居住する保護者、および、EC§48204または§48209の規定に従い住居を確立している生徒の保護者は、トーランス統一学校区の希望する学校への入学を申し込むことができます。申請書の受け付けは、1月と2月に、翌年度の申請書が受け付けられます。入学者の抽選は、コンピューター処理の、公平な抽選システムによって行われます。学校の学区外から編入してくる生徒のために、学区内に現在居住している生徒がその学校に在籍できなくなることはありません。いじめの犠牲者である生徒は、同じ学年で空きがあれば、同学校区内のほかの学校に転校することが許されます。学校区内のほかの学校に空きがなければ、生徒は、居住地の学校区からの離脱が遅れることなく、他学校区の学校への許可を申請することができますが、他学校区に受け入れられるという保障はありません。別の学校区に入るための過程は、編入先の編入方針に従うものとします。「いじめの犠牲者」とは、第234.1項に記述された苦情申し立て手続きに従った調査により、その生徒がいじめの犠牲者であると判断され、また、そのいじめ行為が、居住地の学校区の生徒によるもので、その生徒の保護者が、そのいじめについて、書面による苦情を、学校、学校区の職員または地域の法執行機関に提出していることを意味します。「いじめ」とは、書面であるいは電子形態を使って、ひとりあるいは複数の生徒に向けられ、その結果により、分別のある者が自身または所有物に危害がおよぶことを恐れることになるような、無情な、あるいはまん延的な、物理的または言語的コミュニケーションを意味します。いじめは、肉体的または精神的健康に実質的に有害な影響をおよぼしたり、学業成果や、対面またはオンラインで学校によって提供されるサービス、活動、または特権に参加したりそれらの恩恵を受ける能力を妨害する場合があります。いじめは、オンラインでのいじめの作成または送信の中で、学校の内外で、電話やその他のデバイスで、ソーシャルネットワークのインターネットサイトまたは、バーンページでいじめの目的で、故意に、そして、同意なしに、別の生徒になりすますなど、メッセージ、テキスト、音声、動画、画像により示される場合があります。メッセージの共有や転送は、いじめの行動を助長します。この方針について質問がある場合は、Family Welcome Center(310)-972-6280に問い合わせてください。

EC§46600 et seq. - 学校区間の越境許可: 生徒の親または法定保護者は、他の学校区の学校への通学を申請するために、居住する学校区から離脱することを求めることができます。離脱あるいは入学許可の諸条件は居住する学校区と受け入れ側の学校区によって定められます。学校区は一人または複数の生徒について、最長5年間の学校区間の移動に同意することができます。同意書では転校への承認あるいは拒否についての諸条件を特定しなくてはならず、再申請基準、そして違反した場合に許可が取り消されることがあるという諸条件を含むことができます。同意書で特定されない限り、学校区間での転校は再申請する必要はなく、受け入れ側学校区の理事会は生徒が所属する学校に継続して通学することを許可しなくてはなりません。6月30日までに10年生を修了した生徒は、希望する学校から拒否されることなく、11年生と12年生を通じて在籍を続けることができ、校区内に住むその他の生徒と同様に扱われなければなりません。

学校区間の越境許可(続き)

同意があるか、または越境許可が発行されたかに関わらず、居住地の学校区は、現役の軍務についている者の子供である生徒が別の学校区への転校を希望する場合、提案される学校区が編入の申請を受け入れれば、転校を妨げることはできません。また、学校区は、いじめの犠牲者に対して、学校区内の越境許可が可能でないときに、学校区間への越境許可を妨げることはできません。「いじめの犠牲者」とは、第234.1項に記述された苦情申し立て手続きに従った調査により、その生徒がいじめの犠牲者であると判断され、また、そのいじめ行為が、居住地の学校区の生徒によるもので、その生徒の保護者が、そのいじめについて、書面による苦情を、学校、学校区の職員または地域の法執行機関に提出していることを意味します。

「いじめ」とは、書面であるいは電子形態を使って、ひとりあるいは複数の生徒に向けられ、その結果により、分別のある者が自身または所有物に危害がおよぶことを恐れることになるような、無情な、あるいはまん延的な、物理的または言語的コミュニケーションを意味します。いじめは、肉体的または精神的健康に実質的に有害な影響をおよぼしたり、学業成果や、対面またはオンラインで学校によって提供されるサービス、活動、または特権に参加したりそれらの恩恵を受ける能力を妨害する場合があります。いじめは、オンラインでのいじめの作成または送信の中で、学校の内外で、電話やその他のデバイスで、ソーシャルネットワークのインターネットサイトまたは、バーンページでいじめの目的で、故意に、そして、同意なしに、別の生徒になりすますなど、メッセージ、テキスト、音声、動画、画像により示される場合があります。メッセージの共有や転送は、いじめの行動を助長します。

居住地の学校区または転校先の学校区の職員により、EC 48900(r)の定義に従い、いじめ行為の犠牲者であると判断された生徒は、親または法的保護者の要請により、現存の同意書、あるいは、同意書がない場合は、学校区間出席同意書の作成を再考することにより、他学校区への越境許可に関して優先されなければなりません。

越境許可に関する情報は、トールランス統一学校区のエンrollmentのウェブサイト [Permits / Enrollment](#) をご覧ください。学校区間越境許可の決定に不服がある場合は、ロサンゼルス郡教育局 (LACOE) (562) 922-6233にお問い合わせください。

この告知に記述された学校出席のオプションについて詳しいことは、お近くの学校に問い合わせるか、生徒サービス事務局(310) 972-6280までご連絡ください。

EC§48980(n), 48929; BP 5116.2 - 生徒の非自主的転校

生徒は、刑法667.5(c)に定義される暴力的重罪、あるいは、刑法29805に列記されている軽罪の有罪判決を受け、その犯罪の犠牲者と同じ学校に在籍している場合は、別の学校区に転校させられることがあります。このような生徒を転校させる前に、教育長または代理人は、修復的司法、カウンセリング、またはその他のそのようなサービスを使って論争を解決することを試みなければなりません。教育長または代理人は、教育長または代理人とのミーティングを要請する権利があることを、生徒とその保護者に通知しなければなりません。いかなる論争解決プログラムにおいても、犠牲者の参加は任意であり、犠牲者は、論争解決への参加を拒否したことで、懲戒措置の対象となることはありません。校長またはその代理人は、その生徒を転校させるべきかどうかについての提言を、教育長または代理人に提出します。関与する生徒のためには転校が最良であると教育長または代理人が判断した場合は、教育長または代理人は、そのような勧告を理事会に提出し、承認を求めます。理事会は、保護者または成人生徒が書面により公開セッションによる審議を要請し、そうすることでその他の生徒のプライバシー権利が侵害されることがない限り、生徒の情報の秘密性を守るために非公開セッションで審議します。理事会の決定は最終的な決定となります。

EC§48204.1; 48204.2; BP 5111.1 - 居住地の調査

教育長または被指名者が、生徒の保護者が虚偽または信頼できない居住地証明を提供したと合理的に疑う場合、教育長または被指名者は、その生徒が学校区の居住地の要件を満たしているかどうかを判断するために合理的な努力をすることができます。調査は、教育長または被指名者が、保護者が虚偽または信頼できない居住地証明を提供したとする疑いを支持する具体的で明確な事実を認識できたときに開始することができます。

教育長または被指名者は、訓練を受けた学校区職員に調査を担当させることができます。調査には、公記録を含む記録の吟味、および/またはその生徒の居住地を知っているとされる者との面談などが含まれます。

調査には、調査対象となっている人物または場所をこっそり撮った写真やビデオ画像を含めることはできません。しかし、オープンで公の目に入るように行われる限り、テクノロジーの使用は禁止されていません。

調査に関わる職員または業者はすべて、調査の過程で接触または面談をする個人に対し、調査人であることを正直に打ち明けなければなりません。

安全に関する告知:

PC§11164 et seq. - 児童の虐待やネグレクトの報告

トーランス統一学校区は、生徒全員が保護者のもとで保護されることを確かにすることに力を注いでいます。学校区のすべての職員は、虐待やネグレクトを報告する義務があり、児童虐待やネグレクトがあったと合理的に疑われる場合には、法律により、児童虐待やネグレクトの報告をすることが義務付けられています。学校区の職員は、疑いを裏付けるために調査をしてはなりません。すべての苦情は、電話、対面で、または文書による正式な報告により、適切な地域の法執行機関（すなわち警察または保安官事務所、または郡福祉局/郡児童保護サービス）に申し立てなければなりません。苦情を申し立てる者の名前も報告自体も秘密で、公認機関以外には、開示することはできません。また、生徒の保護者も、学校で、学校職員またはその他の人物による児童虐待があったと疑う場合、苦情を申し立てる権利があります。苦情は、地域の法執行機関に申し立てることができます；また、保護者は、生徒サービスディレクターのJon Pearson (310)972-6270に連絡することにより、学校区に知らせることもできます

児童虐待には、学校に雇用されている、あるいは学校に従事する人物が、以下の理由により、合理的に必要な力を加えたことによって負わされただけが含まれません:

1. 人や所有物に危害や損害が加えられる恐れがあるような騒ぎを止めるため;
2. 自己防衛のため;
3. 生徒がコントロールできる範囲内にある武器やその他の危険な物体を取り上げるため;
4. 秩序を維持する、所有物を守る、生徒の健康や安全を守る、そして、適切な学習環境を維持するために、合理的に必要な程度の統制を行うため。

PC§626.9; 417.27; 12550; 12556; BP 5137.2; AR 5137.2 - 危険物

トーランス統一学校区は、認可された法執行あるいは保安のための職員以外のすべての者に対し、学校の建物、学校敷地やバスの中、学校外での、学校に関係した、または学校が実施する活動で、あるいは、学校の登下校中に、武器、模造銃器、またはその他のいかなる危険な器具をも、所持することを禁止しています。

禁止された武器および危険な器具には以下が含まれますが、これに限るものではありません:

1. 銃器：ピストル、リボルバー、猟銃、ライフル、「ジップガン」、「スタンガン」、レーザー銃、および、爆発またはその他の形での燃焼の力により、発射物を押し出すことのできる機器すべて
2. 銃弾または再装弾用の弾丸
3. ナイフ、かみそりの刃、およびボックスカッター：短剣、短刀、またはその他の、主に突き刺す目的で、固定した、研がれた刃のついた武器、主に突き刺す目的の刃がついた武器、2-1/2インチよりも長い刃がついた武器、刃を固定できる折りたたみ式ナイフ、刃が保護されていないかみそり（教育規定 48915）
4. 爆発物および/または発火装置：パイプ爆弾、時限爆弾、おもちゃのピストル、可燃性液体、およびその他の危険な装置
5. B Bやペレットのような金属の発射物を、空気圧、二酸化炭素圧、またはばねの力で押し出すような装置、あるいはすべてのスポット・マーカークン(PC 626.10)
6. その他の危険な装置、危機、または武器。特に刑法12020で定義されたもの。これにはブラックジャック、ばちんこ、こん棒、ヌンチャク、サンドクラブ、サンドバッグ、金属ナックル、または、武器としてデザインされた、1つ以上鋭いエッジの3つ以上の突起がある金属プレート、あるいは、死や重傷を引き起こすことのできるようなその他の危険な器具。
7. すべての模造銃器。これは、物理的な特性が現存する銃器に非常に似ているために、合理的な人物が、それが銃器であると信じてしまうような模造品と定義される (EC 48900)

PC§308 - 電子ニコチン供給システム（電子タバコ）

トーランス統一学校区では、すべての学校区の所有地および学校区の車輛内で、含有ニコチンの有無に関わらず、電子タバコ、Hookah Pen、シガリロ、およびその他の煙を放出する装置を含む、タバコ製品の使用を模倣する電子ニコチン供給システム（ENDS）の使用を禁止しています。ENDSは、多くの場合、タバコ、葉巻き、パイプの形をしていますが、中には、ペン、喘息用の吸入具や飲料容器など、日常使う物に見えるように作られていることもあります。このような製品は、ニコチンの蒸気化に限られたものではありません；マリファナ、コカイン、ヘロインなどの麻薬を蒸気化するのにも使われます。

ENDSを使用または所有している、あるいは、販売の申し出、臆立て、または交渉をする生徒は、懲戒措置の対象となります。特に、これは、ENDSは、健康安全法の第11014.5項に定義されているとおり、麻薬道具とみなされるためです。刑法第308項により、18才未満で、タバコ、巻きタバコ、シガレットペーパー、またはその他のタバコ使用に使うもの、あるいは、タバコ、タバコ製品、または、その他の規制薬物を、購入、受け取る、あるいは所有する者は、罰金七十五ドル（\$ 75）またはコミュニティサービス30時間を科されるとされています。

緊急時対策に関する情報

授業中に周辺地域で緊急事態または災害が起こった場合、トーランスの学校では、このような状況に対し、効果的に対応する準備が整っています。カリフォルニア州の公立の学校は、非常にきびしい建築基準を満たすように建設されており、自然災害のおりには、ご自身の家よりもかえって安全であるかもしれません。

生徒と職員の安全確保が何よりも優先されることを、保護者の皆様には確信していただきたいと思います。トーランス統一学校区では、トーランス警察署および消防署と協同して、3機関アプローチというものを開発、実施しています。このチームアプローチは施行されて何年にもなり、質問、事件、懸念に対して最良の答えを出すのに役立っています。カリフォルニアでは常に地震が起きる可能性があります。授業中に大きな地震やその他の災害が起こった場合、お子さんは学校で世話をします。トーランス統一学校区には、地震を含む大災害に対応するために作られた、詳しい災害時対応計画があります。

いかなる緊急事態であっても、保護者の方々の協力が必要です。

1. 学校に電話をかけないでください。緊急事態のコミュニケーションに電話線が必要です。
2. 深刻な事態または地震の際には、生徒は、生徒の緊急連絡先リストに載っている、本人確認ができ、責任のある大人が迎えにくるまで、学校にとどまることになります。学校でお子さんをひきとることを許可する保護者以外の人を決める場合に、必ず以下のことを考慮してください。
 - a. 18歳以上である。
 - b. 日中たいてい家にいる。
 - c. 必要であれば、学校まで歩いて行ける。
 - d. 子供が知っている。
 - e. この責任を承知しており、引き受けることができる。
3. ラジオをKFI 640 AM、KNXZ 1070 AM、またはKFWB 980 AMに合わせ、緊急事態の案内を聴きましょう。生徒が学校にとどまることになった場合、ラジオ局に連絡がいきます。電気サービスに影響がなければ、情報はケーブルで、TUSD Cable in Torrance, Channel 30を通して放送されます。さらに、(310) 972-6500に電話することで、毎日の学校活動についての情報を得ることができます。
4. 緊急時には学校の職員の指示に従うことがいかに大切かを、お子さんに日ごろから話しておいてください。

重大な緊急時には、生徒は学校の指定された集合ゲートで引き渡されます。保護者は学校緊急災害時計画(School Emergency Disaster Plan)について知り、生徒引渡しのプロセスに関して、理解をし、冷静を保つようにしてください。お子さんには、保護者または指名された人が到着するまで学校にとどまるように指示してください。地域の電話サービスが使えなくなる場合があるため、緊急カードには、州外で連絡をとれる人も記入してください。

生徒を学校にとどませるかどうかは、緊急事態の度合いによって、または学校周辺の道路が通行不能かどうかによって決定されます。この場合、ラジオ局に知らせがいきます。スクールバス運行中に大きな地震が発生し、道路が通行不能となった場合、生徒はバスにとどまり、運転手が学校および学校区の職員と無線で援助を求めることになります。お子さんが家でバスを待っている場合、道路が通行不能であればバスは来ないので、保護者の責任下にとどまることになります。大きな地震が午後のスクールバス運行中に発生した場合、運転手は生徒を家まで送る限りの努力をします。道路の状況によって、生徒を家まで送る、または朝、学校まで送ることができない場合、生徒は最寄りのトーランスの学校まで連れていかれ、その学校が、その生徒の学校に連絡をとり、居場所を知らせることになります。

お子さんの学校周辺で“有害物質放出”(化学物質流出)が発生した場合、その場で安全を確保するために、“Shelter-in-Place”という手段をとります。屋外にいる生徒および職員は全員教室に戻り、緊急事態発生中、外の空気が教室内にできるだけ入らないように努力がなされます。訓練時、または緊急事態発生中、“Shelter-in-Place”の札が教室の窓にはられるか、ドアの外にかけられます。“Shelter-in-Place”の訓練中または実際に発生中に学校に到着した生徒は、教室には入れないため、学校事務室または、事前に指定された場所に行きます。危険な状態がおさまったら、all clearの合図が出されます。以上のことを、どうか家族のみなさんと話し合っておいてください。事前に計画することで、実際に緊急事態が発生したときの不安が軽減されることとなります。

PC§626.9; 30310 - 学校近隣での銃保持禁止法

カリフォルニアでは、公立または私立の学校の敷地内あるいは1000フィート以内で、学校または学校区の管理者または被指名者の書面による許可がある場合を除き、銃器を保持することは禁じられています。これは、現役勤務中またはその範囲内で行動している、警察官、現役または円満退職した保安官、カリフォルニアまたは合衆国の軍人、または、武装車両兵には適用されません。また、銃器に弾が入っておらず、鍵をかけた容器に入っている、あるいは

学校近隣での銃保持禁止法 (続き)

車両の鍵をかけたトランク内にあれば、銃器を学校敷地内で保持することができます。この法律に違反した場合は、最大6カ月の郡禁錮刑、1000ドル以下の罰金、または禁錮刑と罰金の両方が課されることがあります。

EC§32221.5 (9-12) およびEC§ 49430, 48391, および49392 -銃の安全性

この項は、銃器は子供や青少年から遠ざけ、安全に保管するよう喚起するものです。子供や青少年の誤射は、事故、自殺に次ぐ死因の第3位です。カリフォルニア州の公立学校は、このような潜在的な危険から家庭を守るよう注意を喚起することを義務付けられています。脅威がある、あるいは脅威と思われる場合、公立学校は地元の警察と協力し、直ちに脅威の評価を行います。

PC§290 et seq. - メーガン法、性犯罪者の情報開示

カリフォルニアの登録された性犯罪者の情報はカリフォルニア州司法局インターネットウェブサイト <http://meganslaw.ca.gov/> で見ることができます。このサイトでは、自分自身や自分の家族を守る方法、性犯罪者の実態、よくある質問、およびカリフォルニア州の性犯罪者登録条件についても知ることができます。

BP 4119.22 - 生徒との交際禁止に関する方針

トランス統一学区は、すべての生徒、教師、およびスタッフのために、互いを尊重する、公平で、違法な嫌がらせや差別のない環境を提供することに尽力している。

大人と生徒の関係は、プロフェッショナルで互いの尊重のうえに成り立ったものであるべきである。有資格者、その他の一般職員、臨時コーチ、ボランティア、および訪問者を含むがこれに限らない、すべての大人は、学習を助長し、ポジティブな学校環境に貢献するような雰囲気を持続するようにふるまう責任がある。

教育理事会の方針により、大人と生徒の間では、プロフェッショナルでないまたは不適切であると合理的に感じられるような緊密な関係、または、書いたものや口頭での、あるいは身体的な、不適切な付き合いは一切禁じられている。大人は、プロフェッショナルでないまたは不適切な関係が存在するという印象を学区のスタッフ、その他の生徒、保護者、または世間に合理的に与えるような形で、生徒を楽しませたり、生徒と交際したり、生徒と過度な時間を過ごすてはならないものとする。許されない行動のその他の例としては以下が含まれるがこれに限るものではない：ドアを閉めた部屋で生徒と二人きりになること。ドアは常に開いた状態でなければならない。大人は、自身の子供以外は、ひとりの生徒だけを車に乗せてはならない。

また、教育理事会の方針により、生徒の年齢に関係なく、大人と生徒の間の性的関係、性的接触、または性的な意味合いのあるような行動は、一切禁じられている。これには、すべてのソーシャル・メディア・プラットフォームまたはそれに似たウェブサイト/テクノロジー、携帯電話、およびその他すべての形の電子的またはその他の形でのコミュニケーションが含まれる。この禁止は、大人と同性異性どちらの生徒にも適用される。さらに、この禁止事項は、性的行動を生徒と大人のどちらが最初に誘ったか、そして、その生徒がその性的行動を歓迎し、そして/または同様に応えたかどうかに関係なく適用される。

この方針により禁止されている関係は、学校長、管理者、または監督者に直ちに報告されるものとする。大人でも生徒でも、プロフェッショナルでない、または不適切な関係があると感じる場合、あるいは質問や懸念がある場合は、学校長、管理者、または監督者に報告することが奨励される。

この方針に違反した大人は、最大で解雇および/またはコーチやボランティアとしての特権の喪失を含む、懲戒処分の対象となるものとする。

<https://www.boarddocs.com/ca/tusd/Board.nsf/Public#>

20 USC§7912; BP4116.1 - 継続的に危険な学校

カリフォルニア教育局 (CDE) が、学区に対し、ある学校が「持続的に危険」と指定されたことを通知した場合、教育長または代理人は、その指定を受けた学校に在籍する生徒の保護者に対して、そのことを知らせ、転校のオプションと、転校を要請するにあたっての手続きや条件の情報を知らせる通知をしなければなりません。

EC§234; 234.1 - 安全に学習できる場に関する布告

トランス統一学区は、刑法422.55およびEC 220で明記された実際あるいは見かけの特徴、および、障害、ジェンダー、ジェンダー認識、ジェンダー表現、国籍、在留資格、人種または民族、宗教、性的指向、あるいは、これらの実際あるいは見かけの特徴の1つまたは複数をもつまたはグループと関わっていることに基づく差別、嫌がらせ、暴力、

安全に学習できる場に関する布告 (続き)

脅し、およびいじめのない学習環境を維持することに尽力しています。差別、嫌がらせ、脅し、またはいじめ を目撃した学校職員はすべて、安全をみはからって直ちに介入措置をとらなければなりません。学校区の学校内での 活動中または学校登下校中に、差別、嫌がらせ、暴力、脅し、またはいじめの行為を行った生徒は、退学処分を含む、懲戒措置を受けることがあります。事件を報告する、そして/または学校区の差別防止、いやがらせ防止、脅し防止、いじめ防止の方針のコピーを受け取るには、統一苦情手続きの書類を参考にするか、Chief Personnel Officer, 2335 Plaza del Amo, Torrance, CA 90501 (310) 972-6701までご連絡ください。

EC§39831.5 - スクールバスの安全

プレキンダーガーデン、キンダーガーデン、および1-6年生の生徒はすべて、スクールバスの安全に関する書面による情報（各生徒の家の近くのスクールバス乗り場のリスト、スクールバスの乗り場での一般的なルール、赤信号時の横断の説明、スクールバス危険ゾーン、そして、バス乗り場まで歩いて行き帰りをする際の注意など）を受け取ります。学校活動にスクールバスを利用する場合、出発の前に、スクールバスまたは学校活動のバスに乗る生徒全員が安全に関する指導を受けます。これには、非常口の場所、非常用具の場所と使用方法を含みますがこれに限りません。指導はまた、非常口のそばに座っている乗客の責任も含まれることがあります。

EC§35291; 48980; 48981 - 学校の規則

学校区は、その学校区の学校に在席する生徒すべての保護者に対し、生徒の規律に関する学校区の規則を見ることができることを知らせることができる。

EC§234.4; 32283.5 - 学校の安全: いじめ

トーランス統一学校区では、差別、嫌がらせ、脅迫、およびいじめの禁止に尽力を尽くしています。いじめやサイバーいじめを防ぐために、生徒指導にあたるスタッフ全員に対して、毎年一度トレーニングが実施されます。トーランス統一学校区では、差別、嫌がらせ、脅迫、および、ソーシャルメディア上のサイバーいじめを含むいじめの禁止に尽力を尽くしています。スタッフのトレーニングについて説明した教育的ウェブページのリストは、[Bullying Prevention Training & Resources - School Environment \(CA教育局\)](#) で見ることができます。保護者またはお子さんが、キャンパスで、学校の行事で、あるいは通学途中に、いかなる形でいじめを経験した場合は、学校管理者チーム、学校カウンセラー、または学生部長に相談し、そのような行動を識別し、やめさせるための援助を求めてください。

EC§32280 et seq. - 学校安全計画

トーランス統一学校区のすべての学校に、包括的学校安全計画があります。これには、災害時対策計画および緊急時の手順が含まれます。この書類は、各学校の事務室で閲覧することができます。火災時/緊急時のための訓練が、各学校で定期的に行われます。自然災害や人災はすべての人に影響を与えるため、家庭、学校、勤務先、そしてコミュニティで災害に備えておくことが大切です。保護者の皆様には、カリフォルニア教育局のウェブページ<http://www.cde.ca.gov/lr/ss/cp/pupilsafetyeducmat.asp>で提供されている、安全教育に関する資料に目を通すことをお勧めします。資料は複数の言語で見ることができ、家族が異なるタイプの緊急事態や危機に備えるために利用できます。

AR 5145.12 - 持ち物検査と没収

各学年度開始時と登録時に、教育長または被指名人は、生徒と保護者に、持ち物検査の可能性を通知しなければなりません。これには以下に関する学校区の方針と手順の通知が含まれます:

- 1) 生徒、生徒の持ち物、学校区の敷地内に駐車してある生徒の車、そして、ロッカーや机など、生徒の管理下にある学校区の所有物の抜き打ち検査の可能性。
- 2) 学校区の禁制品探知犬プログラム。

禁制品探知犬は、ハンドラーが同席してのデモンストレーションが目的である場合を除き、教室やその他の学校区の施設で、人がいる場合には使用できません。デモンストレーションの目的で使われる場合は、犬は生徒から離れていなければならない、個人の生徒の匂いをかがせることはできません。

検査を行う前に、生徒に対し、犬に匂いをかがせる部屋から退出するように指示をしなければなりません。生徒に対し、検査のために個人の所有物を残して出ることを強制することはできません。ただし、学校の職員が、ある所有物に対して合理的な疑いをもつ場合は例外です。

犬の正式なハンドラーのみが、犬の反応について判断することができます。犬が特定の物または場所に反応した場合、その物または場所を所有する、またはそれについて責任をもつ生徒を呼び、検査に立ち合わせなければなりません。犬が鍵のかかった車に反応した場合、その車を学校区の所有地にもたらした生徒を呼び、検査のために車の鍵をかけるように指示をしなければなりません。

学校のロッカーは生徒に割り当てられてもトーランス学校区の所有物です。ロッカーは、学校区が必要を感じたときにはいつでも、検査の対象となります。学校関係の目的以外に学校のロッカーを使うことは禁じられています。学校のロッカーを不適切に使用した場合は、ロッカーの特権を失う場合があります。

EC§231.5; 48980(g) - 性的嫌がらせ

トランス統一学校区は、性的嫌がらせのない学習環境および労働環境を維持することに全力を尽くしています。学校区内の、あるいは学校区からの人物に対して性的嫌がらせを行った生徒は、最高で退学処分を含む懲戒処分を受けることがあります。性的嫌がらせを許した、行った、あるいは報告を怠った職員は、最高で解雇を含む懲戒処分を受けることがあります。学校区の性的嫌がらせに関する方針および報告に関する手順を説明した書類は、学年度開始時に、この権利と責任に関する年次告知パケットの中で、提供されます。

BP 5145.7 - 性的嫌がらせに関する方針

教育理事会は、嫌がらせや差別がなく、安全な学校環境を維持することに尽力している。理事会は、学校や、学校主催あるいは学校関連の活動において、いかなる生徒に対する、いかなる者による性的嫌がらせも禁止する。理事会はまた、報告したり、苦情を申し立てたり、証言したり、その他の形で性的嫌がらせがあったことを申し立てる苦情をサポートする者に対し、報復行為や行動することを禁じる。

学校区は、学校の敷地内で、または、学校が主催するあるいは学校関係の活動で、別の生徒または大人により性的嫌がらせを受けたと感じる、あるいは、キャンパス外で性的嫌がらせを受けて、その影響がキャンパスでも続いていると感じる生徒には、すぐに、教師、校長、学校区のタイトルIXコーディネーター、またはその他の学校職員に連絡をとることを強く奨励する。性的嫌がらせに関する報告を受けた、あるいはそのような事例に気づいた職員は、タイトルIXコーディネーターに通知するものとする。

通知を受けたら、タイトルIXコーディネーターは、その苦情または主張がAR 5145.71-タイトルIX性的嫌がらせに関する苦情手続きかBP/AR 1312.3-統一苦情手続きのうち該当するものを通じて対応されることを確かにするものとする。苦情や主張がタイトルIXの苦情手続きの下で却下または拒否されても、州法の下では考慮される可能性があるため、タイトルIXコーディネーターは、AR 5145.71を実施する場合は、BP/AR 1312.3の条件も同時に満たすことを確かにするものとする。タイトルIXコーディネーターは、状況下で適切と思われる範囲内で、苦情提出者と被告に支援的な方策を提供するものとする。

教育長または代理人は、保護者への通知、学校区のウェブサイト、生徒とスタッフのハンドブックなどの手段を通して、生徒と保護者に対し、学校区の性的嫌がらせに関する方針を通知するものとする。学校区職員は全員、この方針についてトレーニングを受けるものとする。

指導/情報

教育長またはその代理人は、学校区の生徒全員が、性的嫌がらせに関する年齢相応の情報を得ることを確かにするものとする。このような指導と情報には、以下を含むものとする:

1. 性的嫌がらせは同性間で起こることもあり、性的暴力も含まれるという実態も含め、どのような行為や行動が性的嫌がらせとなるのか
2. いかなる状況においても、生徒は性的嫌がらせに耐える必要はないという明確なメッセージ
3. 性的嫌がらせの事実を見たことを、たとえその嫌がらせを受けたとされる被害者が不平を漏らしていないとしても、報告することを奨励する
4. 生徒の安全が学校区の第一の関心事であり、被害者とされる者、あるいは性的嫌がらせがあったと報告しているその他の人物が関与する別個の規則違反は、別個に対処され、性的嫌がらせの苦情がいかに受け付けられ、調査され、解決されるかには影響を与えないという明確なメッセージ
5. 苦情提出者の書式、期限、またはその他の正式な苦情提出に関する規定への違反に関わらず、苦情提出者、被告、または被害者といったどのような形であれ、生徒が関与する性的嫌がらせに関する主張はすべて調査が行われ、嫌がらせをやめさせ、再発を防止し、生徒に対する持続的な影響に対処するための迅速な処置がとられるという、明確なメッセージ
6. 学校区の苦情調査の手順、および、性的嫌がらせの報告をだれにすればよいかに関する情報
7. 性的嫌がらせの苦情に関する学校区の調査が続いている間に民事訴訟または刑事告発を起こす権利を含み、生徒および保護者が必要に応じて民事訴訟または刑事告発を起こす権利に関する情報
8. 学校区は、性的嫌がらせの苦情提出者または犠牲者である生徒、および/またはその他の生徒にとって、調査中の安全な学校環境を確かにするために、必要であれば、暫定的措置をとる、そして、このような暫定的措置がとられたときに、可能な限り、主張される嫌がらせの苦情提出者または犠牲者に不利になることはないという、明確なメッセージ

懲戒処分

性的嫌がらせの苦情の調査結果に基づき、この方針に違反して、性的嫌がらせまたは性的暴力に関与されたとされる生徒は、懲戒処分をの対象となるものとする。4年生から12年生の生徒の懲戒処分には停学や退学が含まれ、その処分の決定にあたっては、事件の状況全体が考慮されるものとする。

性的嫌がらせの苦情の調査の結果、生徒に対して性的嫌がらせまたは性的暴力を行ったとされる職員は、法律、および適切な団体協約に従い、解雇処分を含む、懲戒処分を科せられるものとする。

性的嫌がらせ (続き)

記録の保管

法に従い、教育長またはその代理人は性的嫌がらせ全件の報告を保管し、学校区が、各校内での嫌がらせ行為に関する監視、対処、再発防止に利用できるようにするものとする。

改訂: 2021年1月19日

<http://go.boarddocs.com/ca/tusd/Board.nsf/goto?open&id=A6DE145>

AR 5145.7 性的嫌がらせ

性的嫌がらせは、教育的環境において、同性または異性の者に対する、望んでいない相手への性的な誘いかけ、性的な行為、またはその他の、言葉による、視覚的または身体的な、性的な行動の、嫌がる相手への要求を含む行為が、以下の状況のいずれかにおいて行われた場合を含むが、これに限るものではない: (教育規定212.5; 5 CCR 4916)

1. 行為に服従することが、明示的あるいは暗黙的に、生徒の学業上の状態や進歩の条件とされた。
2. 行為への、生徒による服従または拒否が、その生徒に影響する、学業上の決定事項の理由として使われている。
3. その行為に、生徒の学業成績にマイナスの影響を与える、または、威圧的、敵対的、あるいは侮辱的な教育環境を作り出す目的あるいは影響がある。
4. 行為への、生徒による服従または拒否が、学校区のプログラムまたは活動で、あるいはそれらを通して受けることができる、恩恵やサービス、表彰、プログラム、または活動に関する、生徒に影響を与える決定事項の理由として使われる。

禁じられた行為がキャンパス外、または、学校関連あるいは学校が主催するプログラムや活動の外で起こった場合、その行為が、苦情提出者またはその行為の犠牲者にとって敵対的な学校環境を作るような持続的な影響がある場合、学校区方針に違反する性的嫌がらせとみなされる。

1972年の教育修正案のタイトルIXに特定された苦情手続きを適用する目的で、性的嫌がらせは、学校区内の学校が、状況と被告に対して相当なコントロール力をもつような教育的プログラムやアクティビティにおける、以下のいずれかにあたる行為と定義される: (34 CFR 106.30, 106.44)

1. 学校区職員が、望まれない性的行為に生徒が参加することを、学校区の援助、恩恵、またはサービス提供の条件とする
2. 合理的な者からみて、あまりにも重大で、まん延していて、客観的にみて侮辱的であるために、学校区の教育プログラムやアクティビティへの生徒の平等なアクセスが実質的に拒否されているとみなされるような、迷惑な行為
3. 20 USC 1092または34 USC 12291の定義に従う性的暴力、デート中の暴力、またはストーキング行為

性的嫌がらせの例

上記の定義に従い、学校区で禁じられていて、州法および／または連邦法の下で性的嫌がらせとなる可能性のある行為の例には以下のようなものがあるが、これに限るものではない:

1. いやらしい目で見ると、性的なふざけや誘い掛け
2. いやらしい性的な中傷、悪口、脅し、言語的虐待、軽蔑的な発言、または性的に下品な描写
3. 個人の体についてのあからさまな言語による発言、または過度に個人的な会話
4. 性的な冗談、軽蔑的なポスター、メモ、ストーリー、漫画、描画、絵、いやらしいジェスチャー、または、コンピューターを使って作られた性的な画像
5. 性的なうわさを広める
6. 男女いずれかが圧倒的に多いクラスに入っている生徒についての、からかうような、あるいは性的な発言
7. 体をもむ、つかむ、さわる、なでる、こするとといった行為
8. 個人の体や衣服に性的にさわる
9. 性別に基づいて、ある個人に対して、体の動きを妨げたり阻止したりする、あるいはその他の物理的干渉を行う
10. 性的に挑発的な物を誇示する
11. 性的暴力、性的暴行、または性行為の強制
12. 上述のようなコメント、言葉、または画像を含む電子的コミュニケーション

タイトルIXコーディネーター/コンプライアンス・オフィサー

学校区は、AR 5145.71 - タイトル IX 性的嫌がらせの苦情手続きに従って、1972年の教育修正案のタイトルIXに従うための努力の調整、さらに、AR 1312.3-統一苦情手続きの下で処理された性的嫌がらせに関する苦情の監督、調査、および/または解決の責任者として、以下の者を指名する。タイトルIXコーディネーターの連絡先は以下のとおり：

Chief Personnel Officer, 2335 Plaza del Amo, Torrance, CA 90501, (310) 972-6071, farris.dylan@tusd.org

告知

教育長またはその代理人は、生徒および保護者に対し、学校区はタイトルIXにより義務付けられているとおり、性に基づいて差別をしないこと、そして、タイトルIXの適用に関する学校区への問い合わせは、学校区のタイトルIXコーディネーターおよび/または、合衆国教育省市民権副書記官に委託されることがある(CFR 106.8)ということを知するものとする。(34 CFR 106.8)

学校区は保護者に対し、学校区のタイトルIXコーディネーターの名前、肩書、オフィスの住所、Eメールアドレス、および電話番号を通知するものとする。(34 CFR 106.8)

学校区の性的嫌がらせに関する方針と規則のコピーは:

1. 各学年度開始時に保護者に送られる告知に含まれる (教育規定48980; 5 CCR 4917)
2. 学校区事務局本部の建物内の目立つ場所、あるいは、学校区の規則、規定、手順、および行動規範などに関する通知が掲示されているその他の場所に掲示される (教育規定 231.5)
3. ポスターに要約したものを、各学校のすべてのトイレやロッカールームに目立つように、見やすい場所に掲示する。ポスターは、生徒が立ち入ることができ、よく訪れる公共の場所に掲示してもよい。これには、教室、廊下、体育館、講堂、カフェテリアを含むがこれに限るものではない。ポスターには以下のことを記載するものとする：性的嫌がらせの報告の規則と手順；性的嫌がらせを報告するのに連絡をとるべき学校職員の名前、電話番号、およびEメールアドレス；報告者、被害者、および加害者の権利；および学校の責任。(教育規定 231.6)
4. タイトルIXコーディネーターの名前または肩書および連絡先情報とともに、学校区のウェブサイト上の目立つ場所に、保護者や生徒にわかりやすいように記載される。(教育規定 234.6; 34 CFR 106.8)
5. 各クォーター、セメスター、または夏のセッションの開始時に新しく入る生徒のために行われるオリエンテーションプログラムがあれば、その一部として提供される (教育規定 231.5)
6. 学校区または学校の包括的規則、規定、手続き、および行動規範を明記する、学校または学校区の出版物に掲載される (教育規定 231.5)
7. タイトルIXコーディネーターの名前または肩書および連絡先情報とともに、生徒や保護者に提供されるハンドブックに含まれる (34 CFR 106.8)

教育長またはその代理人はまた、教育規定221.8にある権利を含み、教育規定230に記載されている性別に基づく差別および嫌がらせの定義を、学校区のウェブサイト上の目立つ場所に、保護者や生徒にわかりやすいように掲示するものとする。(教育規定 234.6)

苦情の報告

別の生徒、職員、または第三者による性的嫌がらせが自身または子供に対してあったと信じる、あるいは、性的嫌がらせを目撃した生徒または保護者は、教師、校長、学校区のタイトルIXコーディネーター、またはその他の学校職員にそのことを報告することが強く奨励される。このような報告を受けた場合、校長またはその他の学校職員は1学校日以内に、その報告を学校区のタイトルIXコーディネーターに転送するものとする。いかなる学校職員も、生徒が関与する性的嫌がらせに気づいた場合、1学校日以内に、気づいたことを、校長またはタイトルIXコーディネーターに報告するものとする。報告は、犠牲者が正式な苦情を提出するかどうか、あるいは、秘密性を要請するかどうかに関わらず、行うものとする。

性的嫌がらせの報告または苦情が、キャンパス外での行為に関わっている場合、タイトルIXコーディネーターは、その行為が、敵対的な学校環境を作る、あるいは作るのを助長する可能性があるかどうかを調べるものとする。敵対的な環境が作られる可能性があるタイトルIXコーディネーターが判断した場合は、その苦情に対して、その禁じられた行為が学校で起こった場合と同じように、調査、解決を行うものとする。

タイトルIX (続き)

性的嫌がらせに関して、口頭による、あるいは非公式な形の報告が提出されたら、タイトルIXコーディネーターは、生徒または保護者に対し、学校区の適切な統一苦情手続きに従い、正式な書面による苦情を提出する権利について知らせるものとする。

苦情の手順

生徒による、また、生徒に対する性的嫌がらせに関するすべての苦情と主張は、法律と学校区の手順に従って調査、解決するものとする。タイトルIXコーディネーターは、苦情を読んで、それに対処するのに適切な手順を判断するものとする。タイトルIXの下で性的嫌がらせの定義を満たす苦情はすべて、AR 5145.71 - タイトルIX 性的嫌がらせに関する苦情手続きに従って調査、解決されるものとする。その他の性的嫌がらせに関する苦情は、BP/AR 1312.3 - 統一苦情手続きに従って調査、解決されるものとする。

調査の後、性的嫌がらせがあったと判断された場合は、タイトルIXコーディネーターまたは、コーディネーターと話し合いをもった代理人は、その性的嫌がらせをやめさせる迅速な措置をとり、再発を防ぎ、救済策を実施し、その後の影響に対処するものとする。

改訂: 2022 年2月22日

<http://go.boarddocs.com/ca/tusd/Board.nsf/goto?open&id=A6M4C37E664B>

EC§32281 et seq; 35183 et seq; 49066; PC§ 186.22 - 生徒の服装に関する規定

教師、生徒、保護者の協力の下に、校長あるいは被指名人は生徒の服装と身だしなみを管理する、法、理事会方針、管理規定と整合する校則を定めるものとする。この学校の服装規則は定期的に見直すものとする。

各学校は生徒が、帽子しかし帽子に限らず、日光を防ぐ衣服を学校での屋外活動時に着用することを許可するものとする。

加えて、以下のガイドラインをすべての通常学校活動に適用するものとする:

1. 靴は常に着用しなくてはならない。小学生はヒールのない足を完全に覆う靴を着用しなくてはならない。
2. 衣服、アクセサリ、私物 (バックパック、ウェストポーチ、ジムバッグ、ウォーターボトル等) は、下品、不敬、あるいは性的な性格をもつ、あるいは薬物、アルコール、またはタバコ企業の広告、プロモーションや類似するものを示す、あるいは人種、民族、性的指向あるいは宗教に対する不寛容を支持するような、書字、イラストあるいはその他の種類のマークが無いものでなくてはならない。
3. サングラス、帽子、野球帽、その他の頭部を覆う衣服は屋内では着用してはならない。医療/宗教的に必要なかぶり物のみ、校長の許可を得て着用することができる。日光を防ぐ衣服は学校区と学校の服装と身だしなみの基準に従うものでなくてはならない。
4. 衣服は常に下着を隠してはなくてはならない。シースルーあるいは網状の生地、ホルタートップ、肩を出す衣服、襟ぐりが大きく開く衣服、へそが見える短い衣服と、太腿の中心より短いスカートと短パンは禁止されている。
5. 水着、パジャマ、ナイトガウンや不必要にサイズの大きい衣服は学校で着用するには適切ではない。
6. 体操服の短パンを体育以外の授業で着用することはできない。

コーチと教師は特定のスポーツ、そして/あるいは授業に特異的に必要とするものに適合するため、より厳しい着衣条件を定めることができる。

体育の授業を受ける生徒が、生徒の自主管理をこえる状況により、標準的な体育用運動着を着用しない場合は、生徒の成績に不利に影響を与えてはならない。

各学校の校長、職員、生徒、保護者は、生徒が課外授業あるいは特別な学校行事に参加する場合、適切な服装と身だしなみの規定を作ることができる。

TUSDの学校または学校活動では、ギャングに関連する衣服は禁止する。「ギャングに関連する衣服」とは、学校敷地内で着用されたり見せられたりすると、学校環境の健康と安全を脅かすと合理的に判断される衣服と定義される。

この項目で使用される「ギャング」は、公式あるいは非公式に、通称名あるいは識別目的の共通するサインやシンボルを持ち、主要な活動のひとつが犯罪行為を犯すことであるような、現在継続する組織、結社、あるいは3人以上のグループと定義される。

ギャング関連のシンボルは常に変化しているため、ギャング関連の衣服の定義は少なくとも各セメスターごとに見直し、関連する情報を得るたびに更新しなくてはならない。(承認7/26/04)

EC§35179.6 - 生徒の水泳時の安全

トールランス統一学校区は、プール周辺を含め、予定されているイベントにおいて、すべての生徒の安全を確保することに努めています。プールのスポーツのコーチには、プールで誤って溺れた場合に備えて、CPR の完全な訓練を受けていることが既に義務付けられています。アクアティックセンターやプール施設でイベントが開催される場合は、イベント期間中、有効なCPRトレーニングの証明書を持つ大人が少なくとも一人立ち会うことになっています。

HSC§104420; 104495; 104559; PC§308; BPC§22950.5 - キャンパスでのタバコ禁止

学校または学校区の敷地、建物、車両内および、生徒のスポーツ活動の場から250フィート以内でタバコおよびニコチン製品を使用することは禁じられています。タバコ製品には以下が含まれますがこれに限るものではありません：ニコチンまたはその他の気化液体を体内に送る、タバコ、葉巻、小型葉巻、噛みタバコ、パイプ・タバコ、嗅ぎタバコ、または電子デバイス（例：電子型のタバコ、葉巻、パイプ、またはHookah）。

トランス統一学校区理事会方針4010により、学校区所有の車両を含む、学校区の管理域内での喫煙および全てのタバコ製品の使用は、常に禁止されています。この禁止は、学校や学校が主催する活動または競技会にいる、全ての職員、生徒、訪問者、その他の人々に適用されます。これは学校区が所有、リース、あるいは借りている管理域内、あるいは学校区からリースまたは借用されている場所でのいかなる集会にも適用します。教育長または指名された担当者は、生徒、保護者、職員と一般市民にこの方針を案内しなければなりません。学校区構内にいる個人は全員この方針に沿い、またいかなる違反も適切な学校職員に報告する責任を分かち合います。学校区は禁煙を望む職員や生徒を援助する、クリニックやコミュニティー情報のリストを管理しなければなりません。

20 USC §7912 - 暴力的犯罪行為の被害者

通っている学校の敷地内で暴力的犯罪行為の犠牲者となった生徒は、公立のチャーター・スクールを含む、学校区内の安全な公立学校に転校する機会を暦上10日以内に提供されなければなりません。学校区内に別の学校がない場合は、学校区は、近隣の学校区と話し合っ、学校区間の越境を通じて生徒を受け入れてもらうなど、その他の適切なオプションを探求することが勧められますが、義務ではありません。刑法における暴力的犯罪の例としては、殺人未遂、重大なけがを負わせる乱暴行為、凶器を使った暴行、レイプ、性的暴行、強盗、恐喝、憎悪犯罪などがあります。詳しくは、生徒サービスおよび歓迎/登録センターディレクター、John Pearson (310)972-6270までお問い合わせください。

VC§21212 - 徒歩あるいは自転車での通学

徒歩あるいは自転車で通学する児童の保護者は、児童と共に学校への安全な道順を良く調べるのが求められています。歩行者は私有地を歩いて近道をするにはできません。児童は全員、登下校の途上で良い素行を示すことが望まれます。特定の標準に適合した、頭にしっかりフィットする自転車ヘルメットを装着しないで、18才未満の者が車道、自転車道、その他の公道自転車道、もしくはトレイルで、自転車、非電動スクーターに乗ること、あるいはスケートボード、インラインスケートやローラースケートをすること、または自転車、非電動スクーター、スケートボードに相乗りすることは禁止されています。

安全な学校に関する情報

トランス統一学校区の教育理事会、学校区管理者、および学校のスタッフは、安全な学校の概念に全力で取り組んでいます。カリフォルニア教育規定の中でも、学習プロセスを妨害するような要因がない状態を保つための条項は明確です。我々が期待する高いレベルで学習が起きるには、トランスのすべての学校において、安全で安心できる学習環境が提供されなければなりません。トランス統一学校区（TUSD）は、ロサンゼルス郡教育局（LACOE）により提供される、肯定的行動介入と支援（PBIS）に関するトレーニングに投資しています。PBISは、生徒の行動面、学業面、社会情緒面、および心の健康を支援するための、証拠に基づく段階的な枠組みです。PBISを忠実に実施することで、社会情緒面の能力、学業成就、学校環境を改善することができます。

その他の懲戒手段に効果がない場合、懲戒処分により、停学や退学処分となることがあります。このような懲戒処分について、以下のカリフォルニア教育規定に目を通してください：

EC§48900 - 生徒は、在籍する学校区の教育長または在籍する学校の校長が、その生徒が以下の下位項目(a)から(r)までのいずれかに従って定義される行動をしたと判断しない限り、学校から停学処分を受けたり、退学処分の勧告を受けることはないものとする：

- (a) (1) 他者に身体的傷害を負わせた、負わせることを試みた、または負わせると脅した。
- (2) 自己防衛のために例外として、他者に意図的に力または暴力を使った。
- (b) 銃器、ナイフ、爆発物、またはその他の危険物を保有、販売、あるいはその他の形で供与した。ただし、このような危険物の携帯について、生徒が有資格学校職員より、それを保有することに関して、校長または校長代理により同意を受けた書面により許可を受けている場合は例外とする。
- (c) 健康安全法第10部第2章（第11053項で始まる）に記載されている統制薬物、アルコール飲料、あるいは種類に限らず酔わせる効果があるものを違法に保有、使用、販売、あるいはその他の形で供与した、あるいは、その影響を受けていた。
- (d) 健康安全法第10部第2章（第11053項で始まる）に記載されている統制薬物、アルコール飲料、あるいは種類に限らず酔わせる効果がある物質の違法な販売を他者に申し出た、手配した、あるいは交渉し、そして、別の液体、薬物、または物質を販売、配達、またはその他の方法で供与し、その液体、薬物、または物質を統制薬物、アルコール飲料、または何らかの酔わせる効果がある物質として示した。

安全な学校に関する情報（続き）

- (e) 強盗または恐喝を犯した、あるいはそれを試みた。
- (f) 学校の所有物または私的所有物に損害を与えた、あるいは与えることを試みた。
- (g) 学校の所有物または私的所有物を盗んだ、あるいは盗むことを試みた。
- (h) タバコ、または、紙タバコ、シガー、ミニシガー、クローブタバコ、無煙タバコ、スナフ、ベテルを含むがこれに限らない、タバコまたはニコチン製品を含む製品を所有あるいは使用した。ただし、この項は、生徒が、自身に処方された製品を使用または保有することを禁止するものではない。
- (i) わいせつな行為を行った、あるいは常習的に不敬または下品な行動をとった。
- (j) 健康安全法の第11014.5項で定義される、麻薬道具を違法に保有した、あるいは、違法にその販売を申し出た、手配した、あるいは交渉した。
- (k)(1) 学校の活動を妨害した、あるいは、任務にあたっている監督者、教師、管理者、学校役員、あるいはその他の学校職員の正当な権限に対し、意図的に逆らった。

(2) 第48910項に記載された場合を除き、キンダーガーデンまたは1-3年生に在籍する生徒は、この下位項目に列記されている行動で停学処分を受けることはないものとし、この下位項目は、キンダーガーデンまたは1-12年生に在籍する生徒に関して、退学処分勧告の理由とはならないものとする。

- (l) 盗まれた学校の所有物または私的所有物を、盗品と知りながら受け取った。
- (m) 偽の銃器を保有していた。この項で使われる「偽の銃器」とは、銃器の模造品で、分別のある者にその模造品が銃器であると思わせるほどに、実際の銃器に物理的特性が類似しているものを指す。
- (n) 刑法の第261、266 c、286、288、288a、または289項で定義された性的暴行を犯した、あるいは試みた、あるいは、刑法第243.4項で定義された性的暴力を犯した。
- (o) 苦情の目撃者、または、学校懲戒の手続きでの目撃者である生徒を、その生徒が目撃者にならないようにすること、あるいは、目撃者となったことに対して報復すること、あるいはその両方が目的で、その生徒に嫌がらせをしたり、恐喝したり、脅したりした。
- (p) 処方薬ソマに関して、違法に販売を提供、手配、交渉した、または販売した。
- (q) ヘイジングに従事した、あるいは従事を試みた。この下位項目の目的で、「ヘイジング」とは、教育機関に正式に認められているか否かに関わらず、生徒のある組織への加入または再加入儀式で、以前在籍した、在籍中の、または志願者である生徒に、重大な身体的障害または個人的な不名誉または侮辱をもたらす可能性が高く、結果として身体的または精神的な害をもたらすようなものを意味する。この下位項目の目的で、「ヘイジング」には、スポーツチームのイベントや学校が認可したイベントは含まれない。
- (r) いじめの行為に関与した。この下位項目の目的で、以下の用語は以下の意味である：

(1) 「いじめ」とは、非情でまん延した身体的または言語的な行為で、書面または電子的行為により行われるコミュニケーションを含み、また、第48900.2、48900.3、または48900.4項で定義されるような、ある生徒または生徒グループにより行われた1つまたは複数の行為を含み、以下の効果の1つ以上が起きた、あるいは起きると合理的に予想できる、一人または複数の生徒に対して行われた行為を意味する：

- (A) 分別のある生徒または複数の生徒に対し、自分または所有物に害が及ぶと恐れさせる。
- (B) 分別のある生徒に対し、身体的健康または精神的健康への相当に有害な効果を経験させる。
- (C) 分別のある生徒に対し、学習面での相当な妨害を経験させる。
- (D) 分別のある生徒に対し、学校によって提供されるサービス、活動、または特権に参加する、あるいはそれらから恩恵を受ける能力への、相当な妨害を経験させる。

安全な学校に関する情報（続き）

- (2) (A) 「電子的行為」とは、電話、無線電話、その他の無線通信機器、コンピューター、ポケベルを含むがこれに限らない電子機器を使って、学校で、または学校から、以下を含むがこれに限らないコミュニケーションを作成、または通信する行為を指す：

- (i) メッセージ、テキスト、音声、動画、または画像。
- (ii) 以下を含むがこれに限らない、ソーシャルネットワーク・インターネットウェブサイトへの投稿：

(I) **Burn page**に投稿したり作成したりする。「Burn page」とは、段落（1）に列記された効果の1つ以上を目的として作成されるインターネットウェブサイトを意味する。

(II) 段落（1）に列記された効果の1つ以上を目的として、ネット上でほかの生徒になりすます。「なりすまし」は、生徒をいじめる目的で、意図的に且つ同意を得ずに行われ、さらに、その生徒が、なりすまされているのは自分だということが合理的にわかる、または合理的にわかった場合を指す。

(III) 段落（1）に列記された効果の1つ以上を目的として、偽プロフィールを作成する。「偽プロフィール」とは、架空の生徒のプロフィール、または、偽プロフィールを作成した生徒以外の、実在の生徒の肖像や特徴を使ったプロフィールを指す。

- (iii) サイバー性的いじめの行為。

(I) この節の目的で、「サイバー性的いじめ」とは、電子的行為により、写真やその他の映像記録を、生徒が他の生徒または学校職員に広める、または広めることを勧誘または扇動する行為で、段落（1）の下位段落(A)から(D)までに記述された効果のうち1つ以上が起こった、あるいは、起こることが合理的に予測できるものである。上述の写真やその他の映像記録には、未成年者の裸体または半裸体の画像、または、性表現が露骨な写真やその他の映像記録で、その写真、映像記録、またはその他の電子的行為から、その未成年者が誰であるか判明できる場合が含まれるものとする。

(II) この節の目的で、「サイバー性的いじめ」には、まじめな文学的、芸術的、教育的、政治的、または科学的価値がある描写、肖像、または画像、あるいは、スポーツチームの行事または学校が認可した活動に関与するものは含まれない。

(B) 段落（1）と下位段落（A）に関わらず、電子的行為は、その行為がインターネットで送信された、あるいは現在インターネットに掲載されているというだけでは、まん延した行為とはならないものとする。

(3) 「分別のある生徒」とは、特別なニーズのある生徒を含むがこれに限らない生徒で、年齢相応に、または、その年齢でそのような特別なニーズがあるほかの生徒と比較して、平均的な注意、能力、判断力がある生徒を指す。

- (s) 生徒は、この項で列記されているいずれの行為に関しても、その行為が学校区の教育長または校長の管轄化にある学校内、あるいはその他の学校区内で起きている学校活動または学校出席に関連していない限り、停学や退学を受けることはないものとする。生徒は、この項で列記されていて、学校活動または学校出席に関連していて、以下を含むがこれに限らない状況で起きている行為に対し、停学または退学処分を受ける可能性がある：

- (1) 学校の敷地内にいる間。
- (2) 学校への登下校の途中。
- (3) キャンパス内外に関わらず、ランチの時間。
- (4) 学校が主催する活動の間、あるいはその活動に／から移動中。

- (t) 刑法第31項の定義に従い、他者に身体的傷害を負わせる、または負わせる試みを補助または教唆する生徒は、この項に従い、停学に科される可能性があるが、退学にはならないものとする。ただし、被害者が多大な身体的傷害または重大な身体的傷害を負った身体的暴力の犯罪に補助者または教唆者として加担したと、少年裁判所により判決を受けた生徒は、下位項目（a）に従って懲戒処分を受けるものとする。

(u) この項で使われている「学校の所有物」には、電子ファイルやデータベースも含まれるが、これに限るものではない。

(v) この項の下で懲戒を科される生徒に対して、学校区の教育長または校長は、第48900.5項で特定されているように、自身の裁量により、停学または退学処分に代わる、年齢相応で、その生徒の特定の不品行に対処しそれを正すように考慮された、代替的処분을科することができる。

(w) 不登校、遅刻、または、学校活動へのその他の形の欠席をする生徒に対しては、停学または退学処分に代わる処分が科されることが、州議会が意図するところである。

学校行事の間やそれに関連して起こった事件の捜査を、学校管理者やその代理人が実施しなければならないことが時折あります。カリフォルニア州最高裁判所の2001年8月13日の判決（Randy G. 被告、上訴）では、学校管理者が捜査を実施するために未成年を制止し質問する権利を与えています。以下に掲載したものは、捜査や不適切な行動の影響を処理する際に、各校の管理者や学部長が行う通常の手続きです。

- 捜査の経過中に、捜査されている生徒や目撃者に記述文の提出を求める必要がおこることがあります。これは、後日重要となるであろう情報の正確さや詳細を確保するためのものです。学校区が使用するフォームには、“偽証 罪”という言葉が含まれています。これはフォームが提出されるときに説明されます。保護者は事前にこのフレーズの意味についてお子さんと話し合っておくのがよいでしょう。生徒は記述文の提供を拒否することができます。
- 学校管理者が記述文を要請した場合、管理者は、生徒が記述を始める前に、フォームに記載された法律上の専門用語を読んで説明します。生徒や保護者は記述文のコピーを要請することができ、それは提供されます。
- 生徒が停学になる前に、非公式の“適正手続き”協議が持たれます。生徒は、その協議で本人に対する懲戒処分の理由やその証拠について知らされ、本人の見解や本人を弁護する証拠を提示する機会を与えられます。
- 停学に際しては、学校の職員が、生徒の保護者に会って、または電話で連絡を取るよう適切な努力をします。書面による停学通知書も郵送されます。
- 学校長または学校長代理人は、停学が実施される前に、その生徒が違反を行ったと判断しなければなりません。全ての証拠を検討し、懲戒処分を決定します。
- 生徒や両親は、申し立てられた違反が実際にあったとする十分な証拠があるか、もしくは違反に対して適切な処分が課されているかどうかについて疑問がある場合は、教育長またはその代理人とのミーティングを要請することができます。

上記のことは大切ですのでお子さんと確認し、話し合ってください。お互いに協力し合うことで、学校での安全で不安のない学習環境を維持することができます。

-AR§5144 - 管理者の責任- K-12年性の懲罰方針

生徒は、学校活動または学校への登下校に関わる行動に対し、停学または退学処分を受けることがある。この範囲は：
(a) 学校の敷地内で； (b) 登下校の途中において； (c) 校内、校外での昼食時において； (d) 学校が催す活動中、またはそれに行く途中、帰る途中、の行動を含むが、これに限るものではない。教育規定第49079項により、生徒が停学処分を受けた場合、教師は、停学の事実と、教育規定第48900項に示されている（喫煙を除く）、その原因となった違反行為に関して通知されなければならない。過去3年間の情報が、教師に対して内密に通知されるものとする。生徒は、過去3年間に受けた懲罰に対して責任を負うものとする。

以下の懲罰表には、それぞれの規則違反に対して課される懲罰を示している。これらの懲罰は、初回の違反にも繰り返しの違反にも該当する。違反行為によっては、それぞれの教育規定違反の中で違反回数を重ねるごとに厳しくなる懲罰が記されている。学校は、懲罰処置を学校区全体で統一するためのガイドとしてこの表を使用する。ここでの勧告は、生徒の素行記録や法的拘束の事実を知る専門職員の判断に代わるものではない。

違反行為	懲罰
<p>健康安全規定の第2章第10部に記載された規制薬物の販売 教育規定48900:C - 規制薬物の販売事 例タイプ: D - 規制薬物の販売</p> <p>刃物を振り回す 教育規定48900: B - 武器またはその他の危険物を振り回した 事例タイプ: C - 刃物を振り回す</p> <p>銃器の所持、販売またはその他の形での提供 教育規定48900: B - 武器またはその他の危険物を所持した 事例タイプ: C - 銃器の所持</p> <p>爆発物の所持 教育規定48900: B - 武器またはその他の危険物を所持した 事例タイプ: C - 爆発物の所持</p> <p>性的暴力または暴行またはその未遂 教育規定48900: N - 性的暴行または暴行 事例タイプ: B - 性的暴行</p>	<p>保護者面談 警察署への委託 退学の勧告があるまで、停学5日 - 48915(c) 違反</p>
<p>けんかで、他人に重大な身体的傷害を負わせた、あるいは試みた、あるいはそのように脅した 教育規定48900: A1 (相互闘争) 事例タイプ: B - けんか</p>	<p>初回違反: 保護者面談、その他の措置、停学1 - 3日、警察への委託可 2回目の違反: 停学3 - 5日、その他の措置、適応転校可、警察への報告可 3回目の違反: その他の実行可能な措置がない、何度も繰り返して不適切な行為を行った、あるいは、その行為の性質上、その生徒の存在がほかの者の身体的安全をおびやかす場合、退学勧告。</p>
<p>意図的に他人に暴力をふるった（自己防衛の場合を除く） - 攻撃的行動（犯罪レポート） 教育規定48900: A2 (攻撃的行動/攻撃) 事例タイプ: B - 攻撃的行動/けがを負わせようとした恐喝 教育規定48900: E 強盗 教育規定48900: G/ E 事例タイプ: B - 強盗/ 恐喝 学校職員に対する攻撃的行動または暴行 教育規定48900: A2; 48915 (E) 事例タイプ: B - 学校職員に対する攻撃的行動 学校関係者や学校資産に対する暴力主義的脅迫 教育規定48900: 7 事例タイプ: B - 暴力主義的脅迫</p>	<p>初回違反: 保護者面談、その他の措置、停学1 - 5日、適応転校可、警察への報告、および/または、その他の実行可能な措置がない、何度も繰り返して不適切な行為を行った、あるいは、その行為の性質上、その生徒の存在がほかの者の身体的安全をおびやかす場合、退学勧告可。 2回目の違反: 停学5日、その他の措置、その他の実行可能な措置がない、何度も繰り返して不適切な行為を行った、あるいは、その行為の性質上、その生徒の存在がほかの者の身体的安全をおびやかす場合、退学勧告可。 3回目の違反: その他の実行可能な措置がない、何度も繰り返して不適切な行為を行った、あるいは、その行為の性質上、その生徒の存在がほかの者の身体的安全をおびやかす場合、退学勧告。</p>

<p>刃物類の所持または販売</p> <p>教育規定48900: B- 武器/その他の危険物の所持事例タイプ: C- 刃物の所持</p> <p>武器模造品、爆発物模造品、催涙ガス/ペッパー Sprey/レーザーポインターまたはレーザースコープ、あるいはその他の危険な武器や危険物、または死や重大なけがをもたらすおそれのある物の所持、使用または販売 教育規定48900: B- 武器/その他の危険物の所持</p> <p>教育規定48900: M- 武器模造品の所持(初回違反では停学にはならない)</p> <p>事例タイプ: C- 武器/その他の危険物火事を起こす</p> <p>教育規定48900: A1, F, K</p> <p>事例タイプ: B, E, F</p>	<p>初回違反: 保護者面談、警察への委託、その他の措置、停学1-5日、適応転校可、 その他の実行可能な措置がない、何度も繰り返して不適切な行為を行った、あるいは、その行為の性質上、その生徒の存在がほかの者の身体的安全をおびやかす場合、退学勧告。</p> <p>2回目の違反: 停学 3-5 日、その他の措置、保護者面談、警察署への委託、適応転校可、 その他の実行可能な措置がない、何度も繰り返して不適切な行為を行った、あるいは、その行為の性質上、その生徒の存在がほかの者の身体的安全をおびやかす場合、退学勧告。</p> <p>3回目の違反: その他の実行可能な措置がない、何度も繰り返して不適切な行為を行った、あるいは、その行為の性質上、その生徒の存在がほかの者の身体的安全をおびやかす場合、退学勧告。</p>
<p>爆竹の所持または使用</p> <p>教育規定48900: B-武器/その他の危険物の所持</p> <p>事例タイプ: C- 爆発物の所持</p>	<p>初回違反: 保護者面談、弁償、停学1-3日、警察署および消防署への報告</p> <p>2回目の違反: 停学 5 日、その他の措置</p> <p>3回目の違反: 停学5日、その他の措置</p>
<p>健康と安全に関する規定の第10部第2章に列記された規制薬物またはアルコールの所持または使用、または提供をした、あるいはその影響下にある</p> <p>教育規定48900:</p> <p>C</p> <p>事例タイプ:</p> <p>D- 規制薬物の所持</p> <p>D- 規制薬物の影響下にある</p> <p>規制薬物またはアルコールに“類似したもの”の所持または提供</p> <p>教育規定48900: D</p> <p>事例タイプ: D- 規制薬物の所持</p>	<p>初回違反: 保護者面談、警察への委託、その他の措置、停学2-5日、介入プログラムへの参加および修了、その他の実行可能な措置がない、何度も繰り返して不適切な行為を行った、あるいは、その行為の性質上、その生徒の存在がほかの者の身体的安全をおびやかす場合、退学勧告。</p> <p>2回目の違反: 停学 5 日、警察への委託、適応転校可、その他の措置、介入プログラムへの参加および修了、その他の実行可能な措置がない、何度も繰り返して不適切な行為を行った、あるいは、その行為の性質上、その生徒の存在がほかの者の身体的安全をおびやかす場合、退学勧告。</p> <p>3回目の違反: その他の実行可能な措置がない、何度も繰り返して不適切な行為を行った、あるいは、その行為の性質上、その生徒の存在がほかの者の身体的安全をおびやかす場合、退学勧告。</p>

<p>公共物破壊、壁などへの落書き、学校または他人の所有物（本、コンピューター、電子ファイル、データベース、eメールなど）を傷つける行為 教育規定48900: F - 学校または個人所有物への危害事例タイプ: F - 公共物破壊/ 壁などへの落書き 学校または他人の所有物を盗むまたは盗もうとする行為、または盗まれたものと知りながら学校や個人の所有物を受け取る行為。 教育規定48900: G - 学校または個人の所有物を盗む 教育規定48900: L - 盗品を受け取る 事例タイプ: B - 盗み B - 盗品を受け取った</p>	<p>初回違反: 保護者面談、クラスからの除籍可、弁償、その他の措置、警察への委託 2回目の違反: 停学 3-5 日、その他の措置、警察への委託 3回目の違反: 停学5日、その他の措置、警察への委託、適応転校可</p>
<p>キャンパスでのタバコまたはサルヴィア、および/またはライターおよびマッチを含む道具の使用/または所持 教育規定48900: H - タバコの所持 事例タイプ: D - タバコの所持 麻薬道具の所持 教育規定48900: J 事例タイプ: D- 麻薬道具の所持</p>	<p>初回違反: 警告/および/またはディテンション、保護者面談、その他の措置、警察への委託、介入プログラムへの参加可 2回目の違反: 停学 1 - 3 日、その他の措置、介入プログラムへの参加 3回目の違反: 停学 3 - 5 日、その他の措置、介入プログラムへの参加</p>
<p>冒瀆的言葉、卑俗的言葉、不適当な言葉/服装、または他人に対する人種差別的な言葉。洋服や学用品に、他人に不快感をもたらすこと（もの）がかいてある場合を含む。 ジェスチャー—ギャングの暗号、特定の人種に対する中傷を含む 教育規定48900: I - 節度を欠いた行為、冒瀆的言葉や卑俗的言葉を常習的に使う 事例タイプ: E - 冒瀆的言葉/卑俗的言葉</p>	<p>初回違反: 警告、保護者面談、その他の措置、警察による召喚可 2回目の違反: 停学 1 - 3 日、その他の措置 3回目の違反: 停学 3-5 日、その他の措置、適応転校可</p>
<p>いじめ：特定の生徒または学校職員に対するいじめ。 第 32261 項の細目(f)および(g)に定義されている電子機器上でのいじめを含むがこれに限らない。 教育規定48900: R - いじめ 48900.4 - 嫌がらせ、いじめ (4-12年生) 事例タイプ: B - いじめ 苦情の証人または学校懲戒手続きにおける証人に対し、その生徒が証人となることを妨げる、あるいは、その生徒に報復する目的で、嫌がらせ、脅迫、あるいは威嚇する行為。 教育規定48900: O - 苦情の承認への嫌がらせ 事例タイプ: B- 承認への嫌がらせ/脅迫行為 他人に肉体的けがを負わせる、または肉体的けがを負わせようと試みる行為に対して手助けをしたりけしかけたりする 教育規定48900: T- 他人に肉体的けがを負わせる行為への手助け/けしかけ 事例タイプ: B - 他人に肉体的けがを負わせる行為への手助けまたはけしかけ</p>	<p>初回違反：保護者面談、ディテンション可、その他の措置、その他の実行可能な措置がない、何度も繰り返して不適切な行為を行った、あるいは、その行為の性質上、その生徒の存在がほかの者の身体的安全をおびやかす場合、退学勧告可 2回目の違反：停学1 - 3 日可、その他の措置、適応転校可、警察への委託可、その他の実行可能な措置がない、何度も繰り返して不適切な行為を行った、あるいは、その行為の性質上、その生徒の存在がほかの者の身体的安全をおびやかす場合、退学勧告可 3回目の違反：停学1 - 5 日、その他の措置、適応転校可、その他の実行可能な措置がない、何度も繰り返して不適切な行為を行った、あるいは、その行為の性質上、その生徒の存在がほかの者の身体的安全をおびやかす場合、退学勧告可</p>

<p>性的嫌がらせ（4-12年生）－敵対的な学習環境を作る、迷惑な性的誘いかけ 教育規定48900: .2 48900:N – 刑法の定義に従って、性的暴力または性的暴行を試みた/犯した 事例タイプ: B – 性的嫌がらせ</p>	<p>初回違反：保護者面談、停学1－5日可、その他の措置、適応転校可、その他の実行可能な措置がない、何度も繰り返して不適切な行為を行った、あるいは、その行為の性質上、その生徒の存在がほかの者の身体的安全をおびやかす場合、（重大性により）退学勧告可、警察への委託可 2回目の違反：停学1－5日、その他の措置、適応転校可、その他の実行可能な措置がない、何度も繰り返して不適切な行為を行った、あるいは、その行為の性質上、その生徒の存在がほかの者の身体的安全をおびやかす場合、（重大性により）退学勧告可、警察への委託可 3回目の違反：停学5日、および、その他の実行可能な措置がない、何度も繰り返して不適切な行為を行った、あるいは、その行為の性質上、その生徒の存在がほかの者の身体的安全をおびやかす場合、退学勧告</p>
<p>偏見による憎悪に基づく暴力（4－12年生）：嫌がらせ、からかう行為、恐喝、脅迫、いじめなど。これには、身体的または精神的障害、性別、国籍、人種、宗教、性的指向に基づく偏見を含むが、これに限るものではない。 教育規定48900: .3 – 偏見による憎悪に基づく暴力 事例タイプ: B – 偏見による憎悪に基づく暴力 B-Hazing（入会などのしきたりで新入生をいじめる行為） B – 嫌がらせ</p>	<p>初回違反：保護者面談、停学1－5日可、その他の措置、適応転校可、その他の実行可能な措置がない、何度も繰り返して不適切な行為を行った、あるいは、その行為の性質上、その生徒の存在がほかの者の身体的安全をおびやかす場合、（重大性により）退学勧告可、警察への委託可 2回目の違反：停学1－5日、その他の措置、適応転校可、その他の実行可能な措置がない、何度も繰り返して不適切な行為を行った、あるいは、その行為の性質上、その生徒の存在がほかの者の身体的安全をおびやかす場合、（重大性により）退学勧告可、警察への委託可 3回目の違反：停学5日および、その他の実行可能な措置がない、何度も繰り返して不適切な行為を行った、あるいは、その行為の性質上、その生徒の存在がほかの者の身体的安全をおびやかす場合、退学勧告</p>

<p>コンピューターの不当な使用 電子情報リソース契約AR372.1を参照 教育規定48900: K 事例タイプ: E - 妨害的行為</p>	<p>初回違反: 保護者面談、クラスからの除籍可、弁償、その他の措置、警察への委託可 2回目の違反: 停学1-3日、その他の措置、警察への委託可 3回目の違反: 停学3-5日、その他の措置、警察への委託可</p>
<p>盗用および電子機器の使用を含むクラスでの不正行為 教育規定48900: K 事例タイプ: E - 不正行為</p>	<p>初回違反: 保護者面談、その他の措置、テストまたは課題に不可の成績、シチズンシップのグレード“U”可、ディテンション可 2回目の違反: クラスからの除籍可、その他の措置 3回目の違反: 停学1日、その他の措置</p>
<p>服装規定違反 教育規定48900: K 事例タイプ: E - 服装規定</p>	<p>初回違反: 警告、保護者に連絡、着替えるまたは上に何か着て隠す 2回目の違反: ディテンション可、その他の措置 3回目の違反: 停学1日、その他の措置</p>
<p>教室/キャンパスでの妨害行為、反抗的行為 火災報知器を鳴らす 教育規定48900: K - 規則違反、学校活動の妨害 教育規定48900: K 事例タイプ: E - 妨害的行為 / E - 反抗的行為</p>	<p>初回違反: 教師との面談、保護者との面談、その他の措置、ディテンション可 2回目の違反: ディテンション、その他の措置、クラスからの除籍可 3回目の違反: 停学1日、クラスからの除籍</p>
<p>学校規則違反 教育規定48900: K 事例タイプ: E - クラス規則違反</p>	<p>初回違反: 警告、ディテンション可、保護者面談、その他の措置 2回目の違反: ディテンション、その他の措置 3回目の違反: 停学1日、その他の措置</p>
<p>スケートボード*、ローラースケート、ローラーブレードの使用。ラジオ、チェーン、許可されていない帽子/かぶり物の所持または使用。 カメラ、iポッド/MP3プレーヤー、携帯電話、ポケベル、その他電子機器の使用に関する学区方針の違反 教育規定48900: K 事例タイプ: E - 反抗的行為</p>	<p>初回違反: 警告、その日の間没収、保護者面談可、ディテンション可 2回目の違反: 没収（保護者面談にて返却する）、ディテンション、その他の措置、警察への委託可 3回目の違反: 学年度の終わりまで没収、停学1日可</p>
<p>正当な理由のない遅刻や欠席が多い。無断欠席、授業をサボる行為が多い。 事例タイプ: A - 欠席問題 A - 無断欠席 A - 遅刻 日中街をぶらつく行為（無断欠席） 事例タイプ: A - 遅刻 / 無断欠席</p>	<p>初回違反: その他の措置、警察への委託可 2回目の違反: 生徒出席審査委員会（SARB）への委託可</p>

提示:

承認: 2012年6月4日

改訂: 2013年3月4日; 2015年9月21日、2019年7月15日

特殊教育に関する告知:

生徒記録の破棄:

学校区は、IDEIAのパートB、つまり、3才以上で一般的には22才未満の児童および生徒に関連するIDEIAの条項の下で収集、管理、および/または使用された個人情報、その児童への教育サービスの提供のためにすでに必要でなくなったときに、そのことを保護者に知らせることが義務付けられています。

保護者または資格のある生徒からの、教育記録を閲覧あるいは破棄するという、有効な要請がなければ、連邦および州の記録保持期間が失効した時点で、生徒記録は、州の法律と規定により、破棄されることができます。カリフォルニアでは、これらの記録は、生徒がハイスクールまたはトランジション・プログラムから卒業した後4年間保管されます。

このような記録の閲覧または取得を希望する場合は、このプロセスに関して、特殊教育部のスタッフセクレタリー (310-972-6110) にお問い合わせください。

EC§56301; 20 USC §§1401(3); 1412(a)(3); 34 CFR §300.111(c)(d) - 児童見つけ出しシステム

季節労働家庭の子供、あるいはホームレスまたは州が後見人を付けた児童で障害をもつ生徒、および私立学校へ通う障害がある児童を含む、継続的な児童見つけ出しシステムの方針と手続きに関する書類を作成することが義務付けられています。

保護者がTUSD学区内に居住していて、子供に障害があることを疑う場合は、特殊教育部に連絡をとり、ガイダンスを求めることが奨励されます。連邦および州の法律により、公立学校は、障害があり、資格のある児童に対し、無料で適切な教育を提供することが義務付けられています。2才までの幼児で、聴覚、視覚、および/または重大な整形外科的な障害がある児童は、SELPA早期開始プログラムのサービスを受けられることがあります。3才から21才までの児童は、学校区の特殊教育プログラムを受ける資格がある可能性があります。

資格とサービス

特殊教育サービスを受ける資格は、現在の州および連邦の法律に従い、個別教育計画 (IEP) により決定されます。資格のある生徒の教育的ニーズをサポートするために、連続体として、さまざまなレベルのプログラム配置/サービスがあります。プログラム配置/サービスのオプションは、一般教育クラスでの補足的指導から、郡が運営するプログラム、非公立校、および/または非公立学校/機関まで、広い範囲にわたります。すべての生徒が、最も制限の少ない環境で、無料で適切な公教育を受ける権利があります。プログラム配置とサービスのレベルは、IEPチームによって決定されます。

払い戻しが受けられる健康サービス

トランス学校区には、カリフォルニア保健サービス局と教育局と提携し、資格のある特殊教育生徒に対して提供される特定の健康サービスについて、連邦Medicaidの金額の払い戻しを受けることが許されるプログラムがあります。このプログラムに参加するには、資格のある生徒のサービスに関するデータが、学校区の請求期間に内密に転送されることがあります。請求機関は、情報が不適切に公表されないことを確かにするための、秘密性に関する具体的な条項を含む契約書を保持します; ベンダーは、連邦HIPAAに順守しています。現在すべての生徒に提供されている学校の保健サービスは、このプログラムによって影響を受けることはありません。生徒は、学校に行くために義務付けられたサービスを拒否されることはなく、保護者は、学校区によって提供されたサービスに関して請求書を送られることはありません。

保護者の権利

特殊教育のプロセス/プログラムを利用している生徒の保護者には、特定の権利と責任があります。このような権利の完全な説明は、保護者の権利と手続き上の保障の通知の中で提供されており、特殊教育部 (310-972-6100) より入手できます。

8月					9月					10月					11月					12月					
月	火	水	木	金	月	火	水	木	金	月	火	水	木	金	月	火	水	木	金	月	火	水	木	金	
1	1	2	3	4					1	2	3	4	5	6			1	2	3					1	
7	8	9	10	11	* 4	5	6	7	8	# 9	10	11	12	13	6	7	8	9	10	4	5	6	7	8	
14	15	16	17	18	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	13	14	15	16	17	11	12	13	14	15	
21	[^] # 22	# 23	: 24	25	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	X 20	X 21	X 22	* 23	* 24	18	19	20	21	22	
28	29	30	31		X 25	26	27	28	29	30	31				27	28	29	30		* 25	X 26	X 27	X 28	* 29	
1月					2月					3月					4月					5月					
月	火	水	木	金	月	火	水	木	金	月	火	水	木	金	月	火	水	木	金	月	火	水	木	金	
* 1	X 2	X 3	X 4	X 5				1	2					1	X 1	X 2	X 3	X 4	X 5				1	2	3
8	9	10	11	12	5	6	7	8	9	4	5	6	7	8	8	9	10	11	12	6	7	8	9	10	
* 15	16	17	18	19	* 12	13	14	15	16	11	12	13	# 14	X 15	15	16	17	18	19	13	14	15	16	17	
22	23	24	25	26	* 19	20	21	22	23	18	19	20	21	22	22	23	24	25	26	20	21	22	23	24	
29	30	31			26	27	28	29		25	26	27	28	29	29	30				* 27	28	29	30	31	

6月				
月	火	水	木	金
3	4	5	6	7
10	11	12	» 13	+ 14
17	18	* 19	20	21
24	25	26	27	28

前期: 92日	後期: 89日	進捗状況報告書(ES): 10月13日 12月1日 3月22日	クォーター終了(HS/MS): 第1クォーター 11月3日 第1セメスター 1月26日 第3クォーター 3月29日 第2セメスター 6月13日	卒業式(プロモーション MS): アダルトスクール 5月30日 ハイスクール 6月12日 ミドルスクール 6月13日
^ 教師初出 8月22日 : 授業開始 8月24日 » 授業最終日 6月13日 + 教師勤務最終日 6月14日		達成度通知表(ES): 1月19日 6月13日	成人教育教師出勤 8月22日	
保護者懇談会(ES): 1月22日-1月31日 招待者のみ保護者懇談会(ES): 10月19日と10月20日 3月27日と3月29日				

教育規定S37220による祝日			2023/24の日		曜日	
*祝日	2023/24の日	曜日	毎年の日		# SBCP スタッフ研修日 生徒は休み(K-12)	
*独立記念日	7月4日	月	7月4日		# 8月22日	火
*レイバーデー	9月4日	月	9月の第1月曜日		# 8月23日	水
*退役軍人の日	11月10日	金	11月11日		# 10月9日	月
*感謝祭	11月23日	木	11月の第4木曜日		# 3月14日	木
*感謝祭の休み	11月24日	金	11月の第4金曜日		# 6月14日	金
*クリスマスイブ	12月22日	金	12月24日		X 9月25日	月
*クリスマス	12月25日	月	12月25日		X 11月 20-22日	月～水
*大晦日	12月29日	金	12月31日		X 12月26-28日と1月2-5日	金
*元旦	1月1日	月	1月1日		X 3月15日	
*M.L. King Jr. 記念日	1月15日	月	1月の第3月曜日		X 4月 1-5日	
*リンカーンの日	2月12日	月	2月12日			
*大統領の日	2月19日	月	2月の第3月曜日			
*メモリアルデー	5月27日	月	5月の最後の月曜日y			
*ジュンティアンス	6月19日	水	6月19日			